EPSON

MC-2000 ユーザーズガイド

User's Guide

● 本書は、プリンタの近くに置いてご活用ください
● 故障かな？と思ったら、巻末の「困ったときにお読みください」をご覧ください

4012169-00
XXX

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

はじめにお読みください

箱を開けてからまず始めにやるべきことを説明しています。
プリンタを梱包箱から取り出したときにお読みください。

安全にお使いいただくために/サービス・サポートのご案内

本製品を安全にご使用いただくための注意事項、および
サービス・サポートに関するご案内が記載されています。
製品の設置および**ご使用の前に、必ずご一読ください。**

セットアップガイド

プリンタの設置からプリンタドライバのインストール、印刷できるようにするまでの手順が記載されています。

ユーザーズガイド（本書）

機能、操作方法など、本プリンタを使用していく上で必要となる情報が詳しく記載されている説明書です。ご使用の目的に応じて、必要な章をお読みください。
なお、巻末部分には各種トラブルの解決方法が記載されています。「印刷できない」などのトラブルでインフォメーションセンターにお問い合わせいただく前に、お読みください。

今読んでる
取扱説明書
はこれ！

EPSON PhotoQuicker操作ガイド

デジタルカメラの写真データを簡単な操作で印刷・加工・保存できるアプリケーションソフトEPSON PhotoQuickerの操作ガイドです。ロール紙の印刷にも対応しています。いろいろなサイズの写真が印刷できますので、ぜひご活用ください。

カラーイメージングの世界へようこそ

Welcome to Color Imaging World

**さまざまな写真データを活用して、フォトマッハジェットプリンタで印刷した例です。
カラーで印刷することにより、より豊かで説得力のある表現が可能となります。これをヒントに、お客様ご自身のアイデアを盛り込んだ楽しいカラー印刷に挑戦してください。**

色の概念

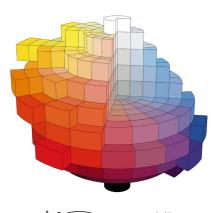
普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

色の要素

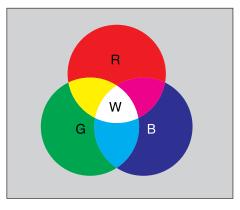
一般に「色」というと赤や青などの**色相(色合い)**を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相の他に**彩度**、**明度**という要素があります。

彩度はあざやかさの変化を表す要素です。彩度を上げるとよりあざやかな色になりますが、彩度を落とすに従ってくすんだ色(グレー)に変化します。

明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより明るく、逆に明度を落とせば暗くなります。

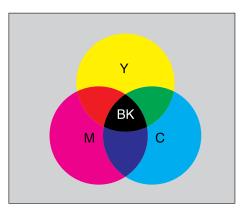
右の図(色立体と呼びます)は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

A : **色相**
B : **彩度**
C : **明度**

ディスプレイの発色プロセス＜加法混色＞

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、**赤(R)**、**緑(G)**、**青(B)** の3色の光が見えます。これは**「光の三原色」**と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態(すべてが0:黒)を起点に、すべての色が光っている状態(すべてが100:白)までを色を加えることで表現するため、CRTディスプレイで表現される色は、**加法混色(加色法)**と呼ばれます。

R:赤　G:緑　B:青　W:白

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。(正確には、当たった光のうち一部の色を吸収(減色)し､残りの色を反射することで色を表現します。)
例えば｢赤いインク｣の場合、次のようになります。
一般的に見られる｢光｣の中には、さまざまな色の成分が含まれています。この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体(インク)が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色のRGBではなく、混ぜると黒（光をまったく反射しない色）になるシアン(C)、マゼンタ(M)、黄色(Y)の3色です。この3色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

Y:黄　M:マゼンタ　C:シアン　BK:黒

理論的にはCMYの3色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では､より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、CMYBKの4色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRTディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

“光”の三原色で表示

“色”の三原色で印刷

この加法混色(RGB)→減法混色(CMY)変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの表示はディスプレイの調整状態によっても変化するため、ディスプレイ表示とプリンタからの出力結果を完全に一致させることはできません。このように発色方法の違いにより、ディスプレイ表示と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。
ただし、これらの差異をできる限り合わせこむことも可能です。
☞｢より高度な色合わせについて｣(12)ページ

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ ディスプレイ（RGB）→ 印刷(CMY)の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。

解像度について

より美しい画像を印刷するためには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データとプリンタの解像度について説明します。

解像度について

デジタルカメラなどの画像は、基本的にすべて点（ドット）の集まりで構成されています。ですから、この点が多ければ多いほどきめこまかい表現が可能になり、解像度が高いことになります。この解像度を示す単位として通常用いられるのが「dpi」(Dot per Inch)という単位で、これは、25.4mm(1インチ)当たりにどれだけ点が含まれているかを示しています。
例えば、本機の特長の一つである1440dpi印刷とは、25.4mm（1インチ）当たりに1440個のインクの点を打つことにより画像を構成していることを意味します。

画像データの解像度とプリンタの解像度の関係

本機の持つ1440dpi高記録解像度で印刷しても、画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。プリンタの解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。
基本的には、画像データの解像度を上げれば画質も必然的に向上するわけですが、ある一定以上に解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。

100dpi の画像データ　*240dpi の画像データ*　*400dpi の画像データ*

スーパーファイン印刷時の印刷結果

● 本機の各印刷モード（解像度）で理想的な印刷結果を出力するためには、下表の解像度の画像データをご用意ください。（カラー印刷の場合）

印刷モード（品質）	画像データの解像度の目安			
	100dpi	200dpi	300dpi	400dpi
ファイン印刷	←→	←→		
スーパーファイン印刷		←→	←→	
フォト印刷			←→	←→

←→最適な印刷結果が得られる解像度の範囲です。

※ 印刷解像度の整数分の一倍（例えば本機の1440dpiの6分の1である240dpiなど）を指定すると、ジャギー（線のギザギザ）が目立たなくなります。
※ 黒インクのみを使用してモノクロ印刷を行う場合は、印刷解像度と同じ解像度の画像データをご用意ください。

カラー印刷のポイント

8～16色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やパソコン環境の整備が必要です。

印刷サイズと解像度の関係

一つの画像データに含まれる点(ドット)の総数を画素数(ピクセル数)と呼びます。画素数は、アプリケーションソフトなどで調整しない限り拡大/縮小してもその数は変わりません。つまり、画素数の少ない画像データを大きなサイズに印刷すれば、画像を構成する点(ドット)も大きくなることで解像度が低下し、好ましい画像品質は得られません。逆に、画素数の多い画像データを小さなサイズに印刷すれば、解像度は上がりますが、印刷時間がかかるだけで見た目には画像品質の向上は認識できません。

画素数 1500x2100　印刷サイズ A6

解像度はおよそ 360dpi

画素数 1500x2100　印刷サイズ A4

解像度はおよそ 180dpi になります。

下表は、各入力装置で生成される画像データの基本的な画素数および画像データ容量(ファイルサイズ)と印刷サイズごとの画像品質の関係を示しています。△または＊ランクの場合は、画像データの解像度をアプリケーションソフトなどで調整する必要があります。
(下表は目安としてお使いください。実際の印刷においては、元となる画像データの質により、印刷結果に差異が生じます。)

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数(ピクセル)	画像データ容量	印刷サイズ						
					A6	A5	B5	A4	B4	A3	A3ノビ
デジタルカメラ	350,000 画素	ー	640 × 480	900KB	○	△	△	△	△	△	△
	870,000 画素	ー	1024 × 768	2.3MB	◎	○	○	△	△	△	△
	1,300,000 画素	ー	1290 × 960	3.52MB	◎	◎	○	○	△	△	△
	2,140,000 画素	ー	1600 × 1200	5.5MB	◎	◎	○	○	○	○	○
	3,140,000 画素	ー	2048 × 1536	9.0MB	＊	◎	◎	◎	○	○	○
フイルムスキャナ	1200dpi	ー	1700 × 1100	5.4MB	◎	◎	○	○	○	△	△
フラットベッドスキャナ	300dpi	4' × 6'	1200 × 1800	6.2MB	◎	◎	○	○	○	○	○
		A4	2550 × 3600	26.3MB	＊	＊	＊	◎	◎	◎	◎
	600dpi	4' × 6'	2400 × 3600	24.7MB	＊	＊	◎	◎	◎	◎	◎
		A4	5100 × 7200	105.1MB	＊	＊	＊	＊	＊	＊	◎
	1200dpi	4' × 6'	4800 × 7200	100MB	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
		A4	10200 × 14000	420MB	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
Photo CD	BASE	ー	768 × 512	1.1MB	○	△	△	△	△	△	△
	4BASE	ー	1536 × 1024	4.5MB	◎	◎	○	○	○	△	△
	16BASE	ー	3072 × 2048	18.0MB	＊	＊	◎	◎	◎	◎	◎

＊オーバースペック　用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨　用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。
○許容　用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
△推奨外　用紙サイズに対し画素数が少なすぎます。印刷結果の品質は期待できません。

スキャナから画像を取り込む場合のポイント

ハイライト / シャドウ / ガンマの設定に注意する

ハイライトは画像の階調を有して最も明るい部分、シャドウは階調を有して画像の最も暗い部分です。ガンマはこれらの傾きです。この3点を適切に設定して取り込むだけで、おおむねきれいな画像が得られます。
スキャナの取扱説明書を参照し、ハイライト/シャドウ/ガンマを正しく設定した上で画像を取り込んでください(画像中の暗い部分が黒くつぶれないように、明るい部分が白くとばないように注意してください)。詳しくは、お使いのスキャナの取扱説明書をご覧ください。

適切な設定

ハイライトが強い設定

シャドウが強い設定

Photo CDから出力する場合のポイント

Photo CDの画像を印刷で利用する場合、開いた画像をそのまま出力しても必ずしも高品位な出力結果は得られませんので、適切な処理が必要です(ハイライト/シャドウの設定、色かぶりの除去、シャープネス設定など)。
適切な処理をするためには、通常Photoshopなどのアプリケーションソフトで画像を補正しますが、本機のプリンタドライバで「オートフォトファイン!4」を使用して印刷すると、元データはそのままに出力する画像に対して適切な処理を施し、高画質化して印刷することができます。

処理すべき内容・方法については、「Photo CD プリプレスリファレンス*」などに詳しく記載されていますので、そちらを参照してください。
*Photo CD 制作サービスの窓口でお求めください。

環境を整える

圧縮をかけない画像解像度240dpiのフルカラーデータは、サイズによっては容量も膨大になります。大きなデータを扱うには、コンピュータの環境を整えることが必要になります。画像の読み書き・表示・印刷などの作業に影響を与える要素には、次のものが挙げられます。

メモリ・ハードディスクの容量

画像の読み書き・表示・印刷など、すべての作業効率に影響を与える重要な要素です。そのため、メモリやハードディスク(システムを起動しているドライブ、または仮想記憶領域を割り当てているドライブ)には十分な容量を確保してください。快適に作業するには、ハードディスクに、最低でも「扱う画像データ容量の2倍以上の空き容量」が必要です。高速なCPUを搭載していれば、さらに快適な作業が可能です。

ディスプレイアダプタの性能

フルカラーのデータを扱うには、WindowsではHigh Color(65000色)以上、Macintoshでは32000色以上の色数を表示できるディスプレイアダプタおよびディスプレイドライバが必要です。さらに、表示色数だけでなく、表示速度も作業効率に影響を与える重要な要素です。

アプリケーションソフトウェアの性能

メモリ・ハードディスクと同じく、画像の読み書き・表示・印刷など、すべての作業に影響を与える重要な要素です。画像の読み書きの速度は、アプリケーションソフトウェアによって差があります。また、カラーマッチング(表示および印刷)の点でも、モニタキャリブレーションの機能を持つものがベストな選択と言えます。
Photoshopなどの、本格的なグラフィックス向けのアプリケーションソフトを使用されることをお勧めします。

印刷解像度と用紙種類

印刷解像度や印刷する用紙の違いによっても、プリンタ出力の結果に大きな違いがあります。フォト印刷はもっとも美しく印刷できますが、同時に時間もかかります。使用目的にあわせて、最適な印刷解像度および用紙を選択してください。以下の印刷サンプルでは、印刷解像度と用紙種類による印刷の違いを確認していただけます。

印刷品質　：フォト
用紙種類　：MC写真用紙〈半光沢〉

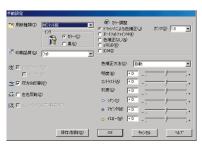
印刷品質　：スーパーファイン
用紙種類　：MCマット紙

印刷品質　：ファイン
用紙種類　：普通紙

カラー調整

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定モードは、通常「推奨設定」にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、あくまでも一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には「詳細設定」で微調整（設定変更）を行ってください。

● ***Windows ドライバ***

● ***Macintosh ドライバ***

オートフォトファイン!4

オートフォトファイン!4とは、エプソン独自の画像解析/処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する、業界初の機能です。
一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン!4」です。（印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。）
この機能は、1ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

- 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などについては効果が薄くなります。
- 256色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅いCPUを搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」（Windows）/「ColorSync」（Macintosh）を使用して印刷してください。
- EPSON製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン!4 は使用しないでください。

オートフォトファイン!4を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、このオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGBカラーバランスの補正 ➡ 色かぶりが補正されます。

オブジェクトのRGBごとのヒストグラムを分析し、RGBごとにトーンカーブ補正を行います。

解像度の補正 ➡ 低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。

画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。

明るさの補正 ➡ 暗すぎる(露出不足)画像などが修正されます。

オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。

コントラストの強調 ➡ 中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。

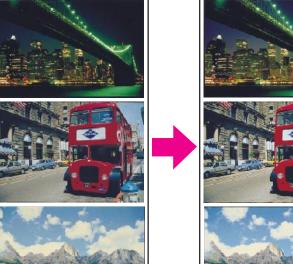
ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。

彩度の強調 ➡ 色あせた画像が鮮やかになります。

画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン!4 OFF　　*オートフォトファイン!4 ON*

● *明るさの補正*

● *コントラスト・彩度の強調*

● *RGB カラーバランスの補正*

※1ページの複数の画像に対して個別に適切な補正が行われます。

イメージ補正

明度の調整

プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて、色が暗い、または色が明るく飛んでしまうときに調整します。

設定−

設定0

設定+

コントラストの調整

画像全体の明暗の差がはっきりしない、プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて全体的にぼやけているときに調整します。

設定−

設定0

設定+

彩度の調整

プリンタ出力の結果を、もっと鮮やかに、色の深みを増したいときに調整します。

設定−

設定0

設定+

カラーコントロールの調整

※画像はISO/JIS-SCIDのものを使用しています。

シアン・マゼンタ・イエローの濃淡を調整して、色合いを変えたいときに行います。

シアンの調整

プラス(+)方向に上げると青緑色がかり、マイナス(−)方向に下げるとシアンの補色である赤みが強くなります。

設定−

設定0

設定+

マゼンタの調整

プラス(+)方向に上げると赤紫色がかり、マイナス(−)方向に下げるとマゼンタの補色である緑色が強くなります。

設定−

設定0

設定+

イエローの調整

プラス(+)方向に上げると黄色みが強くなり、マイナス(−)方向に下げるとイエローの補色である青みが強くなります。

設定−

設定0

設定+

より高度な色合わせについて

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるには、次の方法があります。

●ディスプレイを調整する（モニタキャリブレーション）

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像やPhoto CDなどの画像は適切な明るさや色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。
ディスプレイの調整については、次項を参照してください。

●カラーマネジメントシステムを使う

原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いを一致させるためのシステムとして、MacintoshではApple社の「ColorSync」、Windows95/98/2000ではMicrosoft社の「ICM」があります。カラーマネージメントシステムについては、次ページを参照してください。

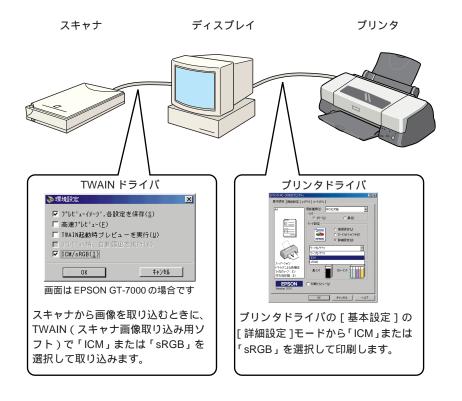
ディスプレイの調整

ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）は、本格的に行うと非常に手間のかかる作業で、また測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

> これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは原稿または印刷結果に近づけることができますが、すべてを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. **ディスプレイの電源をオンにし、30分以上おいてディスプレイの表示を安定させます。**
2. **室内の照明環境を一定にします。**
   自然光は避けて、なるべく一定の照明条件になるようにし、さらにフードを装着すると良いでしょう。
3. **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500°Kに調整します。**
4. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**
   ディスプレイで表示される「黒」が、「真っ黒」に近くなるように調整します。
5. **Macintoshをお使いで、コントロールパネルに「ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshopがインストールされている）場合は、ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。**
   ガンマ補正の値は、一般的な 1.8 に設定するのが良いでしょう。
6. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿またはプリンタの出力結果に近くなるように調整を行います。**
7. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

カラーマネージメントシステム「ICM」

スキャナから取り込んだ画像とプリンタでの印刷結果の色合いを近づけるために、Windows95/98/2000には、Microsoft社の「ICM」というカラーマネージメントシステムがあります。

ICMを使用した場合でも、ディスプレイ表示の色合いとそれぞれの機器の色合いを完全に一致させることはできません。
ただし、次の場合に、ディスプレイ表示の色合いを近づけることができます。

- ディスプレイ調整機能によって、ディスプレイをガンマ特性2.2、色温度6500°Kに調整した場合。（前ページを参照してください。）
- Windows98/2000をご利用で、ディスプレイメーカーからICCプロファイル(色特性データファイル)が提供されており、なおかつアプリケーションソフトが対応している場合。
  (詳細は、ディスプレイおよびアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。)

ポイント

- 「ICM」は、Windows95/98/2000 用のプリンタドライバでのみご利用になれます。
- TWAIN ドライバなどスキャナについての詳細は、スキャナの取扱説明書をご覧ください。
- Windows98/2000のICMはWindows95のICMよりも高い精度で色合いを近づけることができます。

カラーマネージメントシステム「ColorSync」

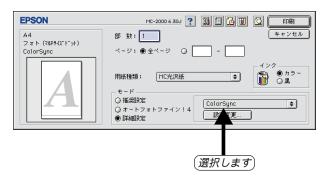
「ColorSync」は、原画（印刷データ）、ディスプレイの表示、印刷結果の色の合わせ込みを行うApple社のカラーマネージメント機能です。
以下に、「ColorSync」を使用しての、画像の取り込みから印刷までの流れを示します。

「ColorSync」を利用するには、Macintosh に「ColorSync」がインストールされている必要があります。

1. **まず始めに、お使いのディスプレイの特性を設定します。**
☞本書「ColorSync について」115 ページ

2. **スキャナから画像を取り込む場合は、TWAIN（スキャナの画像取り込み用ソフト）で、「ColorSync」を使用して画像を取り込みます。**

画面は GT-7000 の場合です。

3. **プリンタドライバで「ColorSync」を選択して、印刷します。**

- 「ColorSync」を選択して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせができません。
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます（Adobe PageMaker6.5J、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など）。ソフトウェア上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync」を選択せず、カラー調整の［色補正なし］を指定してください。

こんなこともできます

印刷を実行すると、印刷の状況やインク残量などの情報が確認できる画面をコンピュータのデスクトップ上に表示します。

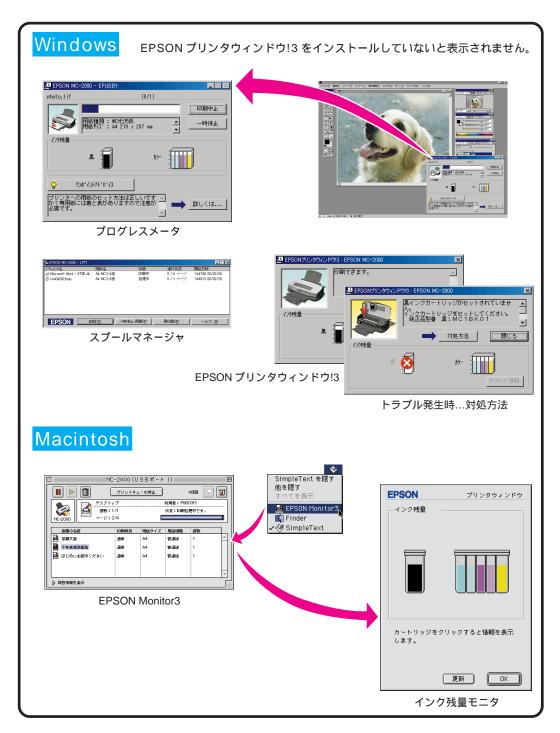
プログレスメータ

スプールマネージャ

EPSON プリンタウィンドウ!3

※トラブル発生時…対処方法

EPSON Monitor3

インク残量モニタ

トラブルチェック用印刷サンプル 1

以下の印刷サンプルを参照して、現在の状態に当てはまるものがあれば、解説を確認してください。
「トラブルチェック用印刷サンプル 2」を本書巻末に掲載していますので参照してください。

A クリーニングが必要と思われます。

正常

クリーニングが必要

手順 ➩ 本書「ヘッドクリーニング」136 ページ
解説 ➩ 本書 200 ページ

B インクカートリッジの状態、およびプリンタドライバの設定を確認する必要があると思われます。

正常

インクカートリッジとプリンタドライバの設定確認が必要

解説 ➩ 本書 201 ページ「印刷にムラがある、薄い、または濃い」

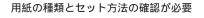
C 印刷している用紙、および用紙のセット方法を確認する必要があると思われます。

正常

用紙の種類とセット方法の確認が必要

解説 ➩ 本書 202 ページ「印刷がきたない、汚れる、にじむ」

D 排紙ローラのクリーニングが必要と思われます。

正常

排紙ローラのクリーニングが必要

手順 ➩ 本書「排紙ローラのクリーニング」141 ページ
解説 ➩ 本書 203 ページ「印刷がきたない、汚れる、にじむ」

もくじ

4 Macintoshでの印刷

5 ユーティリティの使い方

6 インクカートリッジの交換

7 付録

8 困ったときにお読みください

索引

本書中のタブ、マーク、表記について

このタブの付いているページは、Windowsをお使いの方のみお読みください。 Win

このタブの付いているページは、Macintoshをお使いの方のみお読みください。 Mac

マーク

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は、必ずお読みください。
なお、それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

ポイント お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

用語*1 わかりにくい用語の説明を、欄外に記載している事を示しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

用語集が 169 ページにあります。わかりにくい用語につきましては、そちらも併せてご覧ください。

表記

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows 2000と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows 2000を総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows95/98/2000」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

掲載している画面について

お使いの機種により表示される画面が異なる場合があります。

第１章

本機の特長と各部の名称

MC-2000 Features & Names of the Parts

ここでは、本機の特長と各部の名称を説明しています。

本機の特長

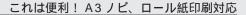
● 100年以上*色あせない高画質プリント

印刷した画像が色あせしません。新開発6色インクと専用紙により100年以上の耐光性を実現しています。しかも高耐水性。アルバムに入れたり、写真フレームに入れて飾ったりと、まさに写真として使えます。さらに絵画のような質感を出す専用紙も用意。新しいアートの世界を開拓します。本機は、写真やグラフィックスを高品質に印刷するように設計されており、文書ファイルなどのテキスト印刷には適していません。

* 試験条件(室内蛍光灯下の額縁保存状態を想定)
- 光源　　：白色蛍光灯 （70,000lux）
- 温湿度　：24℃、60%RH
- サンプル上に空気層と 2 mm厚のソーダライムガラス設置（UV カットなし）

判断基準
- 反射 OD 値（1.0）が 30%低下する積算照度をリミットポイント（OD = 1.0 → 0.7）

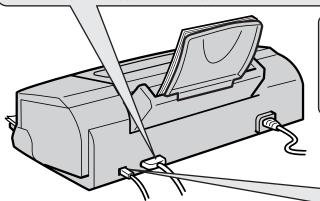
寿命推測
- 寿命（年数）＝積算照度÷（5,000lux・hour × 365）
（5001ux × 10 時間を 1 日の照射量）

●これは便利！ A3ノビ、ロール紙印刷対応

A3ノビ（329mm × 483mm）の用紙を使い、A3サイズのイラストやA4見開き原稿に、トンボを付けて印刷することができます。
また、専用のロール紙を使えば、写真高画質の連続印刷が可能です。
またハガキ、A4、A3ノビの定形紙、ロール紙では、左右余白なしで印刷することもできます。

●セミストレートペーパーパス

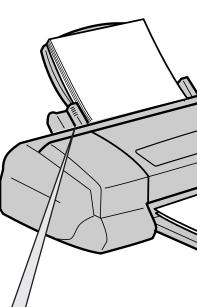
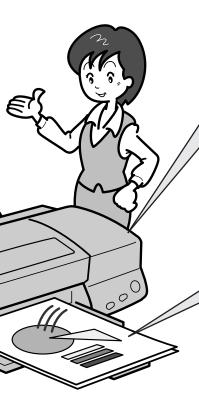
給紙経路が直線的なので､ハガキなど厚手の用紙送りがスムーズ。
用紙がカールしません。

●各種コンピュータに対応

EPSON PC シリーズ、NEC PC-9821 シリーズ、IBM PC シリーズ、および各社 DOS/V 仕様機に対応しています。

● PostScript対応

オプションのCPSソフトリッパー4（R4.8）の使用により、PostScriptプリンタとしてお使いいただけます。（型番 ： MJCPSR48）

● USB インターフェイスをサポート

シリアルインターフェイスの新しい規格であるUSB（Universal Serial Bus）をサポートしています。

●IC チップ搭載インクカートリッジ採用

IC チップを搭載したインクカートリッジを採用しています。IC チップがインク残量を正確に記憶するため、使用途中のカートリッジを取り外しても、再度取り付けて使用できます。

☞本書「インクカートリッジについて」146 ページ

● EPSONだから用紙も豊富

あらゆる要望に応えられるよう、さまざまな用紙をご用意いたしました。

☞ 本書「さまざまな用紙への印刷」9ページ

●かんたん最適オートフォトファイン!4

オートフォトファイン!4は、EPSON独自の画像解析/処理技術を用いて、自動的に画像を高画質化する、業界初の機能です。デジタルカメラなどで撮影したデータからPhoto CDのデータまで、クリックひとつで簡単に最適画像がプリントできます。

☞ 本書 Windows「基本設定」51 ページ、「手動設定」60 ページ
Macintosh「印刷ダイアログ」98ページ、「詳細設定ダイアログ」104ページ

●カラーマッチングに対応

原画とディスプレイ上の表示、および印刷結果とで、微妙に生じる色の差異を補正するカラーマッチング機能に対応しています。

「ICM」(Windows95/98/2000)/「sRGB」(Windows95/98/NT4.0/2000)/「ColorSync」(Macintosh)

☞ 本書 Windows「基本設定」51 ページ、「手動設定」60 ページ
Macintosh「ColorSyncについて」115ページ

●さらに充実。印刷機能とユーティリティ

特定のイメージを重ねて印刷できる「スタンプマーク」や、2 ページ /4 ページ分のデータを1ページにまとめて印刷する「割り付け印刷」などの印刷機能。コンピュータ上でプリンタの状態を監視できる「EPSON プリンタウィンドウ! 3」などのユーティリティ。使える機能がいっぱいです。

☞ 本書「便利な印刷機能について」 Windows 65 ページ
Macintosh 109 ページ

☞ 本書「ユーティリティの使い方」125 ページ

各部の名称と働き

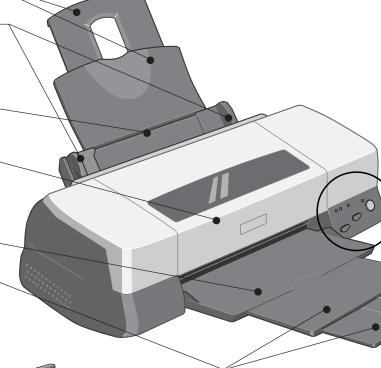
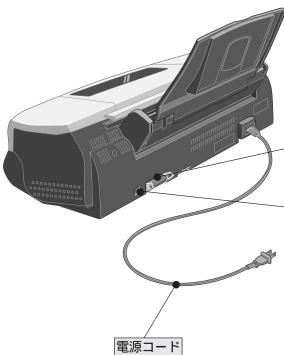
用紙サポート
印刷するための用紙を支えます。

エッジガイド
用紙が横にずれないようにします。左側のエッジガイドを用紙の側面に合わせます。

オートシートフィーダ
セットされた用紙を自動的に、連続して給紙します。

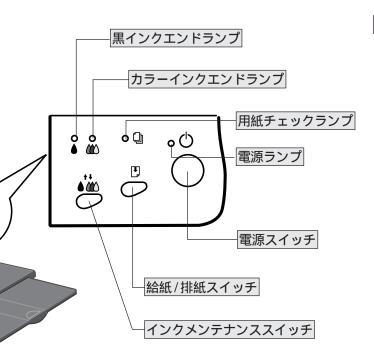
プリンタカバー
インクカートリッジの取り付けや交換時に開けます。通常は閉めて使います。

排紙トレイ

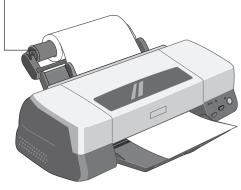
排紙サポート
排紙された用紙を保持します。

パラレルインターフェイスコネクタ
コンピュータからのパラレルインターフェイスケーブルを接続するコネクタです。

USB インターフェイスコネクタ
コンピュータからのUSB ケーブルを接続するコネクタです。

電源コード
AC100V の電源に接続します。

操作パネル上のランプおよびスイッチの詳細は、次ページ「スイッチとランプについて」を参照してください。

ロール紙ホルダ

ロール紙を使用する場合には、ロール紙ホルダを取り付ける必要があります。

☞本書「ロール紙への印刷」24ページ

アジャストレバー

封筒、厚い用紙を使用して印刷結果がこすれて汚れるときに、<+>位置にセットします。通常は<0>位置でご使用ください。

インクカートリッジ固定カバー

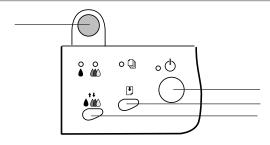
インクカートリッジを取り付けるときに操作します。左側が黒インクカートリッジ固定カバー、右側がカラーインクカートリッジ固定カバーです。

プリントヘッド

インクを用紙に吐出する部分です。
（下側にあるので、直接見ることはできません。）

インクカートリッジ交換位置

スイッチとランプについて

スイッチ

① 電源 スイッチ

プリンタの電源をオン / オフします。
プリンタの電源をオフにした後、約 10 秒以内に再度オンにした場合は、プリンタはバッファ[*1]をクリアし、電源投入時と同じ状態に戻します。(リセット)

*1 バッファ：処理するための印刷データを、一時的に蓄えるためのメモリ。

② 給紙 / 排紙 スイッチ

用紙がプリンタ内にない状態で押すと給紙し、用紙がプリンタ内にある状態で押すと排紙します。通常の印刷時は自動的に給紙/排紙されますので、このスイッチを押す必要はありません。
ロール紙への印刷実行後の場合は、1 回押すとロール紙に切り取りの目安を印刷して 20cm ほど紙送りします。用紙を切り取り、もう 1 回押すと印刷開始位置へ用紙を戻します。3 秒以上押し続けると用紙を 50cm ほど戻します。

ロール紙への印刷後、給紙/排紙スイッチを繰り返し押さないでください。給紙、排紙動作を繰り返すうちに、ロール紙の印刷面を傷つけるおそれがあります。

③ インクメンテナンス スイッチ

3 秒間押したままにすると、プリントヘッド[*2]のクリーニングを行います。

*2 プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

④ インクカートリッジ交換 スイッチ

インクカートリッジを取り付けるときに押すと、プリントヘッドをインクカートリッジの交換位置（左端）へ移動します。
交換後再度押すと、プリントヘッドを元の位置に戻し、ヘッドにインクを充てんします。

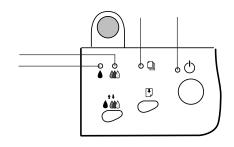
プリンタの動作確認（② 給紙/排紙 スイッチ＋① 電源 スイッチをオン）

プリンタ内部で持っているノズルチェックパターン[*3]を印刷する機能です。
コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷機能に問題がないかを確認できます。動作確認をする場合は、プリンタに A4 の普通紙をセットしてください。

*3 ノズルチェックパターン：プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。

排紙ローラのクリーニング（④ インクカートリッジ交換 スイッチ＋① 電源 スイッチをオン）

排紙ローラの汚れをクリーニングするためにクリーニングシートをゆっくりと給紙 / 排紙させます。
☞本書「排紙ローラのクリーニング」141 ページ

ランプ

①電源ランプ

印刷可能状態の時に点灯し、データの受信・処理中には点滅します。
また、インクカートリッジの交換作業中、およびクリーニング中にも点滅します。

②用紙チェックランプ

給紙動作後、用紙がないときに点灯し、紙詰まり状態のときに点滅します。
ロール紙を使用している場合に、給紙/排紙 スイッチを3秒以上押し続けて、ロール紙を取り除く位置まで戻した場合には点滅します。ロール紙を取り除いて 給紙 / 排紙 スイッチを押すとランプが消灯します。

ランプが点灯しているときは、用紙をセットしてから 給紙/排紙 スイッチを押してください。用紙が給紙され、ランプが消灯します。

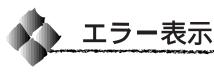
③インクエンド（黒）ランプ

黒インクが残り少なくなると点滅し、インクがなくなると点灯します。

④インクエンド（カラー）ランプ

カラーインクが残り少なくなると点滅し、インクがなくなると点灯します。

エラーが発生したときは、いくつかのランプが点滅 / 点灯します。
☞本書「エラー表示」次ページ

エラー表示

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、操作パネルのランプが点滅 / 点灯して知らせます。

点灯　点滅　● 消灯

ランプ	エラー内容と処置方法
● ● 点灯 点滅	内容：用紙がありません。 処置：オートシートフィーダに用紙をセットして[給紙/排紙]スイッチを押して給紙します。
● ● 点滅 点灯	内容：用紙がプリンタ内部で詰まっています。 処置：[給紙/排紙]スイッチを押して排紙します。それでもエラーが解除されない場合はプリンタカバーを開け、詰まった用紙を取り除き、オートシートフィーダの用紙をセットし直して[給紙/排紙]スイッチを押してください。 処置：ロール紙の場合、印刷結果を切り離し、[給紙/排紙]スイッチを3秒以上押します。用紙が取り除ける位置まで戻ったら用紙を取り除き、電源を入れ直してください。 用紙を取り除くときに詰まっている用紙を強く引き抜かないでください。プリンタが故障するおそれがあります。また、用紙が切れてプリンタ内部に残らないように気を付けてください。用紙が切れてプリンタ内部に残り、取れなくなってしまった場合は、無理に取ろうとしたりプリンタを分解せずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
点滅 ● ● 点灯	内容：黒インクカートリッジのインクが、残り少なくなりました。 処置：インクがなくなるまで、印刷できます。新しいインクカートリッジ（EPSON 純正品型番：MC1BK01）を準備してください。
● 点滅 ● 点灯	内容：カラーインクカートリッジのインクが、残り少なくなりました。 処置：インクがなくなるまで、印刷できます。新しいインクカートリッジ（EPSON 純正品型番：MC5CL01）を準備してください。
点灯 ● ● 点灯	内容：黒インクカートリッジのインクがなくなったか、インクカートリッジがセットされていません。または、本製品では使用できないインクカートリッジがセットされています。 処置：新しいインクカートリッジ（EPSON 純正品型番：MC1BK01）に交換してください。 本書「インクカートリッジの交換」149 ページ
● 点灯 ● 点灯	内容：カラーインクカートリッジのインクがなくなったか、インクカートリッジがセットされていません。または、本製品では使用できないインクカートリッジがセットされています。 処置：新しいインクカートリッジ（EPSON 純正品型番：MC5CL01）に交換してください。 本書「インクカートリッジの交換」149 ページ
点灯 点灯 点滅 点滅	内容：キャリッジ（プリントヘッドが載っている部分）が正常に動作していません。 処置：一旦[電源]スイッチをオフにしてください。再度電源をオンにしてもエラーが発生する場合は、再度[電源]スイッチをオフにしてください。その後、輸送用の保護具が残っていないか、プリンタ内部に異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べて、異常の原因を取り除き、[電源]スイッチを入れ直してください。
点滅 点滅 点滅 点滅	内容：プリンタ内部の部品調整が必要です。 処置：一旦[電源]スイッチをオフにしてください。プリンタケーブルを外して再度、[電源]スイッチをオンにしてもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

処置した後もエラー表示が続く場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。エプソンの修理窓口に関する詳細は同梱の「サービス・サポートのご案内」を参照してください。

第２章

さまざまな用紙への印刷

MC-2000
Priting on Paper

ここでは、本機で印刷できる用紙の詳細と、各用紙への印刷の手順について説明します。

用紙について

*1 100年以上の耐光性：試験条件については2ページを参照してください。

本機には、プリンタ性能を十分に発揮させるために専用紙が用意されています。専用紙を使用すれば従来のエプソンプリンタの高画質に加え、プロフェッショナル、業務用途でも利用していただける100年以上の耐光性[*1]、耐水性に優れた印刷を行うことができます。
専用紙には質感の異なった用紙をいくつか用意しており、目的に合わせて選択していただくことができます。
さらに、写真データの連続印刷や長尺印刷に対応したロール紙も用意されています。

ポイント

通常、写真やポスターなどの印刷物は照明（光源）の違いなどによって、色の見え方が異なります。本機で印刷した結果につきましても、光源の種類によって色が異なって見える場合がありますのでご注意ください。光源には太陽光、蛍光灯、白熱灯などの種類があります。

使用できる用紙の種類

用紙の種類と品質は印刷の仕上がりに大きく影響します。ご使用の前に以下の説明をお読みいただき、用途に合った用紙をご使用ください。

ポイント

- **高品質な印刷結果を得るためには、専用紙を使用する必要があります。普通紙は試し印刷やレイアウト確認などの用途で使用してください。**
- **用紙の印刷面には触れないように注意してください。手の水分や油分が、印刷品質に影響します。**
- **各種用紙（事務用普通紙を除く）は、一般の室温環境下（温度15～25℃、湿度40～60%）で使用してください。**

2000年5月1日現在

印刷に使用できる用紙および特長			サイズ	EPSON推奨品型番
定形紙	**EPSON製**	**MC光沢紙** 写真の印刷に適した光沢紙です。耐光性にも優れていますので長期の保存が可能です。	A4 A3 A3ノビ	KA420MK KA320MK KA3N20MK
		●一度にセットできる量は、1枚です。 複数枚の用紙を一度にセットすることはできません。 ●続けて印刷する場合は、1枚ごとに排紙サポートから用紙を取り去り、用紙を重ねないようにしてください。 ●印刷面はより光沢のある白い面です。		
		MCマット紙 厚手の非光沢紙です。写真、グラフィックの印刷に適しています。耐光性にも優れていますので長期の保存が可能です。	A4 A3 A3ノビ	KA450MM KA320MM KA3N20MM
		●一度にセットできる量は、A4は20枚、A4以外は1枚です。 ●用紙に添付された給紙補助シートを組み合わせてプリンタにセットしてください。 ●続けて印刷する場合は、1枚ごとに排紙サポートから用紙を取り去り、用紙を重ねないようにしてください。 ●印刷面はより白い面です。		
		MC写真用紙〈半光沢〉 もっとも写真の風合い（質感）に近い厚手の専用紙（微光沢紙）です。写真の印刷に適しています。耐光性にも優れていますので長期の保存が可能です。	A4 A3 A3ノビ	KA420MSH KA320MSH KA3N20MSH
		●一度にセットできる量は、A4は20枚、A4以外は1枚です。 ●続けて印刷する場合は、1枚ごとに排紙サポートから用紙を取り去り、用紙を重ねないようにしてください。 ●印刷面はより光沢のある面です。		

定形紙	EPSON製	**MC 画材用紙** 写真とは異なる質感を持った画材用紙です。新しいアートの世界を見せることができます。耐光性にも優れていますので長期の保存が可能です。	A3 ノビ	KA3N20MG
		● 一度にセットできる量は、1 枚です。 複数枚の用紙を一度にセットすることはできません。 ● 続けて印刷する場合は、1枚ごとに排紙サポートから用紙を取り去り、用紙を重ねないようにしてください。 ● 印刷面はより白く凹凸の少ない面です。		
		上質普通紙 EPSON 製の普通紙です。	A4	KA4250NP
		● 一度にセットできる量は、エッジガイドの▼マークまででです。 ● レーザープリンタやコピー機では、使用しないでください。		
	市販品	**事務用普通紙** 複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙、または再生紙です。 ＊ 坪量 64 〜 90g/m²、厚さ 0.08 〜 0.11mm の範囲のものを使用してください。	—	—
		● 一度にセットできる量は、エッジガイドの▼マークまででです。		
ハガキ	官製	**官製ハガキ/官製往復ハガキ/官製ハガキ（インクジェット紙）** 往復ハガキは、中央に折り目のないものを使用してください。	—	—
		● 一度にセットできるハガキの量は、30 枚まででです。 ● 市販の再生紙ハガキなどを使用すると正常に給紙できない場合があります。 ● ハガキをプリンタ内部へ押し込まないでください。正常に給紙できなくなる場合があります。		
封筒		**封筒（市販品）** 表面に糊付、リボン、フック、凹凸、コーティングなど加工の施されていない封筒をお使いください。	長形 3 号・4 号 洋形 1 号・2 号・3 号・4 号	—
		● 一度にセットできる封筒の量は、10 枚までです。 ● 印刷可能な封筒、封筒のセット方法についての詳細は以下のページを参照してください。 ☞本書「封筒への印刷」20 ページ		
ロール紙		**MCマット紙ロールタイプ** 厚手の無光沢紙です。写真、グラフィックの印刷に適しています。耐光性にも優れていますので長期の保存が可能です。	89mm × 7m 100mm × 8m	K89ROLMM K100ROLMM
		● ロール紙ホルダにセットして使用します。 ● 印刷面はより白い面です。		
		MC 写真用紙〈半光沢〉ロールタイプ 最も写真の風合い（質感）に近い厚手の専用紙（微光沢紙）です。写真の印刷に適しています。耐光性にも優れていますので長期の保存が可能です。	89mm × 7m 100mm × 8m 210mm × 10m 329mm × 10m	K89ROLMSH K100ROLMSH KA4ROLMSH KA3NROLMSH
		● ロール紙ホルダにセットして使用します。 ● 印刷面はより光沢のある面です。		

ロール紙の取り扱いについて

ロール紙を取り扱う場合には、印刷面に傷をつけないように次の点に注意してください。

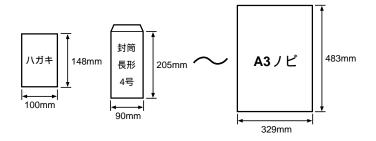
- 購入時のロール状態より小さく丸めたり、折り曲げない。
  ロール紙の反りを修正する場合には、反り修正用フィルムを使い切断面で印刷面に傷をつけないように注意する。
  ☞本書「ロール紙への印刷」-「ロール紙のカットと反りの修正」27 ページ
- 用紙の印刷面には触れないように注意する。手についている水分や油が印刷品質に影響します。

保管時のご注意

- 高温、多湿、直射日光を避けて水平な状態で保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 開封後の専用紙は、袋に戻して保管してください。

印刷可能用紙サイズ（定形紙）

プリンタにセットして印刷することのできる定形紙のサイズは
最小で 100mm x 148mm（ハガキ）、90mm x 205mm（封筒長形 4 号）、
最大で 329mm x 483mm（A3 ノビ）です。

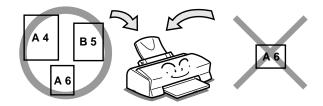
ポイント

プリンタドライバでは、ユーザー定義サイズとして最小 89mm × 89mm、最大で 329mm × 1117.6mm（WindowsNT4.0/2000 では 329mm × 3276.7mm）の用紙サイズが設定できます。

☞ 本書 Windows「用紙設定」54 ページ
本書 Macintosh「用紙サイズの登録 / 変更」97 ページ

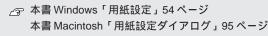
ただしこの設定可能範囲には通紙保証外のサイズも含まれますので、上記いずれかの定形紙サイズにフィットページ[*1] 設定をして印刷することをお勧めします。

☞ 本書 Windows「拡大 / 縮小して印刷するには」65 ページ
本書 Macintosh「自動的に拡大 / 縮小して印刷するには」109 ページ

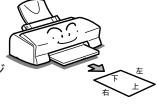
*1 フィットページ：設定した用紙サイズに合わせて、データを自動的に拡大 / 縮小して印刷する機能。

用紙のセット方向について

用紙は（往復ハガキを除く）すべて、縦方向にセットしてください。横方向にセットすると、正常に印刷や排紙ができません。

- **往復ハガキのみ横方向にセットしてください。**
- **横向きの印刷データを印刷する場合も、用紙は縦方向にセットしてください。その場合は、プリンタドライバで印刷方向を［横］に設定します。**

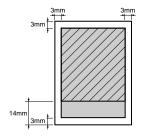
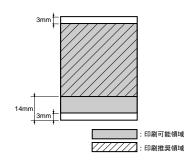
本書 Windows「用紙設定」54 ページ
本書 Macintosh「用紙設定ダイアログ」95 ページ

印刷推奨領域と印刷可能領域

本機で印刷できる領域は、次の通りです。
封筒およびロール紙へ印刷する場合は、
以下のページを参照してください。

本書「封筒の印刷領域」21 ページ
本書「ロール紙の印刷領域と余白」26ページ

印刷推奨領域

下図の の部分が印刷推奨領域です（上 3mm、下 14mm を除く範囲）。通常はこの領域にのみ印刷されます。
プリンタドライバで［給紙方法］（Windows）/［給紙装置］（Macintosh）に［オートシートフィーダ（左右余白無し）］を選択すると左右の余白を 0mm にして印刷します。

［オートシートフィーダ］選択時

［オートシートフィーダ（左右余白無し）］選択時

- **［オートシートフィーダ］選択時、用紙幅が 329mm を超える場合は、右側の余白が 3mm 以上になります。**
- **［オートシートフィーダ（左右余白無し）］選択時に印刷可能な用紙サイズは［ハガキ］、［A4］、［A3 ノビ］［Letter］、［Legal］だけです。これ以外の用紙サイズを選択することはできません。**
- **左右余白無し印刷を行う画像データは、用紙の幅より多少大きめ（4mm 以上を推奨）に作成してください。**
  例えば A4（210mm 幅）に印刷するときは、214mm 幅の画像データを作成します。この画像を印刷すると、きれいに左右余白無し印刷が行えます。ただし用紙からはみ出した部分の画像は印刷されません。

印刷可能領域

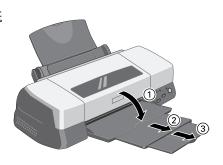
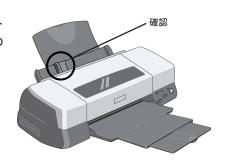
上図の の部分が印刷可能領域です。
上下の各 3mm を除く部分に印刷することができます。

- この印刷可能領域いっぱいに印刷するためには、プリンタドライバで印刷領域を［最大］に設定する必要があります。
  ☞ 本書 Windows 「用紙設定」54 ページ
  本書 Macintosh「用紙設定ダイアログ」95 ページ
- 用紙の種類や印刷データの内容によっては、用紙下端の 14mm ～ 3mm（印刷推奨領域外）において印刷品質が低下する場合があります。

MC 写真用紙〈半光沢〉、MC 画材用紙、封筒に印刷する場合は、［最大］を選択しないでください。［最大］を選択して印刷すると、用紙の下端が汚れる場合があります。

定形紙への印刷

ここでは、定形紙への印刷手順を説明します。

排紙トレイを手前に倒し、排紙サポートを引き出します。

左側のエッジガイドを、セットする用紙の紙幅よりやや広めの位置まで移動します。

用紙を図のようによくさばき、端をそろえます。

一枚ずつセットしなければならない用紙を使用する場合には、この作業は不要です。

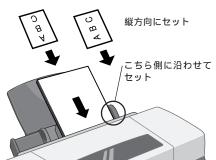
☞本書次ページ

ポイント

- **MC 写真用紙〈半光沢〉を使用する場合には、さばいたり反りの修正を行わないでください。**
- **印刷領域を「最大」に設定して印刷するときは、特に用紙の反りを厳密に修正してください。**
  用紙が反ったまま使用すると、用紙の下端がプリントヘッドとこすれて汚れる場合があります。

- **MC 写真用紙〈半光沢〉、MC 画材用紙に印刷する場合には、印刷領域を「最大」に設定しないでください。［最大］を選択して印刷すると、用紙の下端が汚れる場合があります。**

印刷する面を手前側にして、用紙を右側のエッジガイドに沿わせて縦方向にセットします。

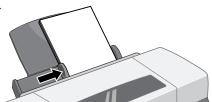
給紙補助シートが必要な場合（下表参照）は、先に給紙補助シートをセットして、その上に用紙を重ねてセットします。

用　紙	セット可能枚数	印刷面	給紙補助シートの有無
事務用普通紙	▼マークまで	—	必要ありません
上質普通紙	▼マークまで	—	必要ありません
MC 光沢紙	1枚ずつ	より光沢のある面	必要ありません
MC マット紙	1枚ずつ（A4は20枚）	より白い面	必要です
MC 写真用紙〈半光沢〉	1枚ずつ（A4は20枚）	より光沢のある面	必要ありません
MC 画材用紙	1枚ずつ	より白く凹凸の少ない面	必要ありません

※「給紙補助シート」は、ご購入いただいた用紙に添付されています。

注 意

- **「給紙補助シート」は、セットした用紙（複数枚セットした場合は最後の1枚）を正しく給紙するために使用するシートです。補助シートの使用が指定されている場合は、必ずご使用ください。**
- **用紙が反っている場合は、反りを修正してからプリンタにセットしてください。**
- **厚い用紙を使用すると、用紙とプリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。このような場合には、アジャストレバーを〈+〉位置に設定してください。**
  ☞本書「厚紙へ印刷するときは」37ページ

左側のエッジガイドを、セットした用紙の側面に合わせます。

ポイント

左側のエッジガイドは、用紙の側面にすき間なく当ててください。すき間が開いていると、正常に紙送りされないことがあります。

プリンタドライバで［給紙方法］（Windows）/［給紙装置］（Macintosh）［用紙サイズ］、［用紙種類］を選択します。

Windows

本書「用紙設定」54 ページ

本書「基本設定」51 ページ

Macintosh

本書「用紙設定の手順」91 ページ

本書「印刷設定の手順」92 ページ

用紙	［用紙サイズ］	［用紙種類］
事務用普通紙	A6・A5・B5・A4・B4・A3・A3 ノビ	普通紙
上質普通紙	A4	普通紙
MC 光沢紙	A4・A3・A3 ノビ	MC 光沢紙
MC マット紙	A4・A3・A3 ノビ	MC マット紙
MC 写真用紙〈半光沢〉	A4・A3・A3 ノビ	MC 写真用紙〈半光沢〉
MC 画材用紙	A3 ノビ	MC 画材用紙

印刷を実行すると、自動的に用紙が給紙されます。

Windows　：［OK］ボタンをクリックし設定画面を閉じて、印刷を開始します。

Macintosh　：［印刷］ボタンをクリックします。

印刷が終了すると、自動的に用紙が排紙されます。

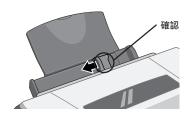
完全に排紙されるまでお待ちください。用紙の種類によっては最大 15 秒程度かかります。

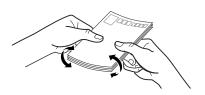
ポイント

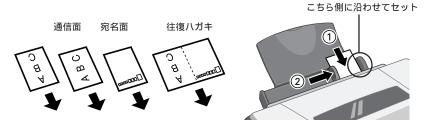
- **印刷が終了したMC光沢紙、MC写真用紙〈半光沢〉、MC画材用紙は、1枚ずつ取り出して乾かしてください。**
- **印刷された専用紙を保管する場合は、用紙の間に普通紙をはさんでください。**

ハガキへの印刷

ここでは、ハガキへの印刷手順を説明します。

左側のエッジガイドを、セットするハガキの紙幅よりやや広い位置まで移動します。

用紙	セット可能枚数	給紙補助シート
官製ハガキ	30 枚	必要ありません

ハガキを図のように指で 3 〜 4 回さばいてから、反りをなくします。

印刷領域を［最大］に設定して印刷可能領域いっぱいに印刷する場合は、右図のように多少反りを付けてください。

印刷する面を手前側にして、ハガキを右側のエッジガイドに沿わせてセットします。続いて、左側のエッジガイドをセットしたハガキの側面に合わせます。

左側のエッジガイドは、ハガキの側面にすき間なく当ててください。すき間が開いていると、正常に紙送りされないことがあります。

プリンタドライバで［用紙サイズ］と［用紙種類］を選択し、印刷を実行します。

Windows　：本書「用紙設定」54 ページ 「基本設定」51 ページ

Macintosh ：本書「用紙設定の手順」91ページ 「印刷設定の手順」92ページ

用　紙	［用紙サイズ］	［用紙種類］
官製ハガキ（通信面・宛名面）	ハガキ（100 x148mm）	普通紙
官製往復ハガキ（通信面・宛名面）	往復ハガキ（200 x 148mm）	普通紙
官製ハガキ（インクジェット紙）（通信面）	ハガキ（100 x 148mm）	MC マット紙
官製ハガキ（インクジェット紙）（宛名面）	〃	普通紙

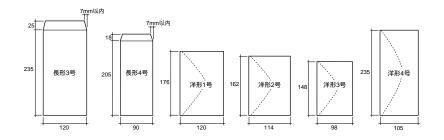
印刷が終了すると、自動的にハガキが排紙されます。

完全に排紙されるまでお待ちください。

印刷されたハガキがたまると、排紙トレイから落ちることがあります。早めに排紙トレイからハガキを取り除いてください。

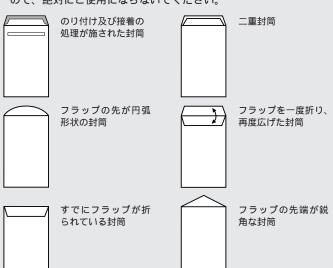
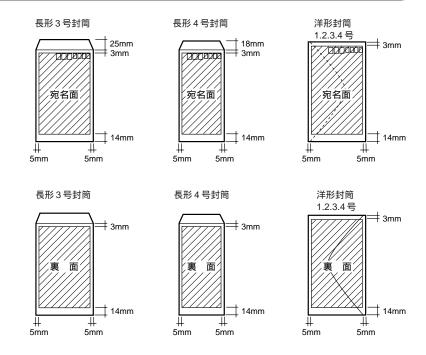
封筒への印刷

印刷できる封筒のサイズと印刷領域について説明します。封筒に印刷する前に、必ずご確認ください。

印刷可能な封筒のサイズ

*1 フラップ：
封を閉じる折り返しの部分。

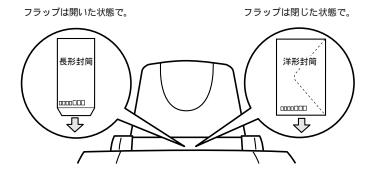
- 上記の封筒であってもフラップ[*1]のサイズが異なる封筒をご利用いただく場合は、ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定してから印刷してください。
- ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定する場合、用紙の長さは、フラップを含めた長さに設定してください。

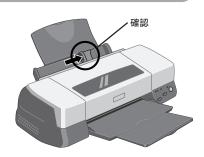
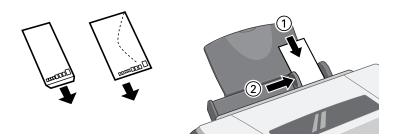
☞本書 Windows「用紙設定」54 ページ
Macintosh「用紙サイズの登録 / 変更」97 ページ

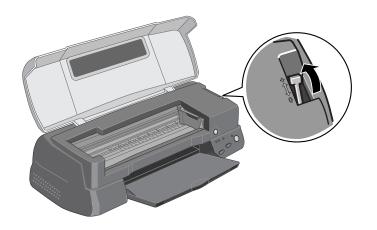
- ご利用の封筒によっては、上記の定形サイズの封筒またはユーザー定義サイズで設定した封筒で印刷したにも関わらず、印刷開始位置がずれることがあります。印刷前には必ず試し印刷されることをお勧めします。試し印刷をして、印刷開始位置がずれる場合は、アプリケーションソフトで余白の設定を調整してください。
- 印刷可能なサイズの封筒であっても、以下の封筒はご使用になれません。無理にご使用になると、給紙機構に悪影響を及ぼすおそれがありますので、絶対にご使用にならないでください。

封筒の印刷領域

長形封筒の場合、アプリケーションソフトで余白の設定をする場合は、フラップの部分も余白に含めて設定してください。

封筒のセット方法

封筒は、以下の向きにしてプリンタへセットしてください。

フラップは開いた状態で。　　**フラップは閉じた状態で。**

封筒への印刷方法

左側のエッジガイドを、セットする封筒の紙幅よりやや広めの位置まで移動します。

2 印刷する面を手前側にして､封筒を右側のエッジガイドに沿わせてセットし、左側のエッジガイドを封筒の側面に合わせます。

左側のエッジガイドは、封筒の側面にすき間なく当ててください。すき間が開いていると正常に紙送りされないことがあります。

プリンタカバーを開け、アジャストレバーを＜＋＞位置へ倒します。
☞本書「厚紙へ印刷するときは」37 ページ

プリンタドライバで［用紙サイズ］と［用紙種類］を選択します。

Windows

☞本書「用紙設定」54 ページ

☞本書「基本設定」51 ページ

Macintosh

☞本書「用紙設定の手順」91 ページ

☞本書「印刷設定の手順」92 ページ

封筒種類	［用紙サイズ］	［用紙種類］
長形封筒	長形 3 号封筒・長形 4 号封筒	普通紙
洋形封筒	洋形 1 号封筒・洋形 2 号封筒・洋形 3 号封筒・洋形 4 号封筒	

ポイント

- **複数枚の封筒に印刷をする場合は、事前に試し印刷をして、印刷結果を確認していただくことをお勧めします。**
- **プリンタドライバで、［印刷可能領域］を［最大］に設定しないでください。用紙の下端がプリントヘッドとこすれて汚れる場合があります。**

印刷を実行すると、自動的に用紙が給紙されます。

Windows　：OK ボタンをクリックし設定ダイアログを閉じて、印刷を開始します。

Macintosh：印刷 ボタンをクリックします。

印刷が終了すると、自動的に封筒が排紙されます。

完全に排紙されるまでお待ちください。

ポイント

印刷終了後は、アジャストレバーの位置を必ず〈0〉位置へ戻してください。

ロール紙への印刷

ロール紙を使用すれば写真などの画像データの連続印刷や長尺印刷が可能になります。
ロール紙はロール状のままロール紙ホルダにセットして印刷してください。

取り扱い上のご注意

- 用紙を折り曲げたり、印刷面に傷をつけないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないように注意してください。手についた水分や油が、印刷品質に影響します。

ポイント

取り扱いは、用紙の端を持って行ってください。また、取り扱い時には綿製の手袋をしていただくことをお勧めします。

- この用紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。
- この用紙はインクジェットプリンタ専用です。レーザープリンタやコピー機などではご使用にならないでください。故障の原因となります。
- 個装箱や個装袋は用紙の保管時に使用しますので、なくさないでください。

印刷時のご注意

- 印刷面に印刷してください。
- 用紙の反りを修正してから、プリンタにセットしてください。
- プリンタ前面のスペースを十分に開けてください。
- プリンタの排紙トレイを倒した状態で、排紙サポートを収納して印刷してください。
- 用紙の先端が長辺に対して垂直でまっすぐな切り口になっていることを確認してください。斜めになっていたり切り口がデコボコしていると、正しく給紙されなかったり、用紙からはみ出して印刷されることがあります。
- 印刷後の用紙は、インクを十分に乾燥させてください。
- 印刷終了後 給紙 / 排紙 スイッチを押すと、印刷結果を切り離すための切り取りの目安が印刷されます。印刷結果は必ず切り離してください。切り離さずに 給紙 / 排紙 スイッチを 3 秒以上押すなどしてプリンタ内の給紙経路を通して引き抜くと、印刷面が傷つくおそれがあります。
- 印刷結果を切り離す場合は、切り取りの目安より内側（プリンタ側）で切り離さないでください。給紙不良などの原因になります。
- ロール紙の印刷後、給紙/排紙 スイッチを繰り返し押さないでください。給紙、排紙動作を繰り返すうちに、印刷面を傷つけるおそれがあります。
- プリンタドライバの［給紙方法］（Windows）/［給紙装置］（Macintosh）の設定に［オートシートフィーダ］を選択しないでください。印刷の実行後、不必要に用紙を給紙します。
  誤って実行してしまった場合は、プリンタの後部で用紙を切り離し、給紙/排紙 スイッチを押して用紙を取り除いて電源を入れ直します。

- A4サイズなどの定形紙をセットした状態で 給紙 / 排紙 スイッチを3秒以上押さないでください。紙詰まり状態になります。誤って実行してしまった場合は、電源を一度オフにしてください。
- 印刷を実行する前に、ロール紙の残量をご確認ください。印刷の途中でロール紙がなくなると、印刷中の残りのデータは自動的に削除されます。印刷の実行中にロール紙がなくなった場合は、以下の手順に従ってください。
  1. プリンタの電源をオフにします。
  2. コンピュータ上に印刷待ちのデータがある場合は、印刷待ちのデータを削除します。
     * 複数の印刷待ちデータがある場合は、すべて削除してください。
  3. 新しいロール紙をセットして、もう一度印刷を実行してください。
- ロール紙の残り20cmくらいの領域には印刷しないでください。画像にスジが入るなど印刷品質が低下することがあります。
- 印刷の途中でも「プリントヘッドのクリーニング」や「インクカートリッジの交換」を行うことはできますが、印刷品質が変わってしまう場合があります。印刷を実行する前に、「ノズルチェック」と「インク残量の確認」を行うことをお勧めします。
  ☞本書「ノズルチェック」135ページ
  ☞本書「[プリンタ詳細]ウィンドウ」(Windows)128ページ
  ☞本書「インク残量モニタ」(Macintosh)133ページ

ポイント

ロール紙へ印刷する場合は、連続印刷も長尺印刷に対応したアプリケーションソフトをご使用ください。

保管上のご注意

- 使用しない用紙は、きちんと巻き直してから梱包されていた個装袋に包み、個装箱に入れてください。
- 高温・多湿・直射日光を避けて暗所に保管してください。
- 印刷後の用紙を保存する場合は、色合いを保つために、高温・多湿・直射日光を避けて暗所に保存することをお勧めします。

ロール紙の印刷領域と余白

ロール紙に印刷する場合の余白は、プリンタドライバでの設定によって変わります。

プリンタドライバで［給紙方法］/［給紙装置］に［ロール紙］を選択	
左 3mm 右 3mm 20mm 約 36mm	• 印刷終了後、給紙/排紙スイッチを1回押すと印刷データの下端から約12mmのところに切り取りの目安を印刷します。 • もう一度給紙/排紙スイッチを押してから次の印刷を実行すると印刷データ間の余白を約36mmにします。
左 3mm 右 3mm 20mm 0mm 0mm 約 36mm	• 複数ページに渡るデータや複数部印刷する場合､連続して印刷を実行する場合、ページ間の余白は0mmになります。
プリンタドライバで［給紙方法］/［給紙装置］に［ロール紙（左右余白無し）］を選択	
左 0mm 右 0mm 20mm 約 36mm	•［ロール紙（左右余白無し）］を選択すると左右の余白を0mmにして印刷します。 • 印刷終了後、給紙/排紙スイッチを1回押すと印刷データの下端から約12mmのところに切り取りの目安を印刷します。 • もう一度給紙/排紙スイッチを押してから次の印刷を実行すると、印刷データ間の余白を約36mmにします。
左 0mm 右 0mm 20mm 0mm 0mm 約 36mm	• 複数ページに渡るデータや複数部印刷する場合､連続して印刷を実行する場合、ページ間の余白は0mmになります。左右の余白も0mmですので、全面印刷が可能になります。

左右余白無し印刷を行う場合には次の点に注意してください。

- **画像データを作成する場合、印刷する際の左右方向の長さを、ロール紙の幅より少し大きめ（4mm以上を推奨）に設定してください。**
  例えば89mm幅のロール紙を使用する場合には、93mm幅の画像データを作成します。この画像を印刷すると、きれいに左右余白無し印刷が行えます。ただしロール紙の幅からはみ出した部分の画像は印刷されません。
- **画像データを連続して印刷したときなどに、画像と画像の間に余白が入る場合は、用紙サイズの設定に問題がある可能性があります。用紙サイズに「ハガキ」などを選択している場合、これより小さい画像を印刷すれば、画像のない部分が余白として印刷されてしまいます。このような場合には、画像サイズに合わせたユーザー定義サイズまたはカスタム用紙を設定する必要があります。**

ロール紙のカットと反りの修正

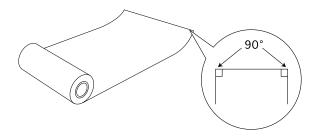
ロール紙を使用する場合は、必ずロール紙の先端を直角にし、反りを修正してください。

印刷面を下にして、用紙を作業台の上に広げます。

ポイント

- **作業台の上が汚れていると、印刷面に汚れ・ゴミがつき、印刷品質に影響します。台の上をきれいにしてから作業を始めてください。**
- **用紙と作業台がこすれると、印刷面に傷がつきます。作業台の上で用紙がずれないようにご注意ください。**

用紙の切断面が図のように端面に対して90°になっているか確認します。
斜めにカットされている場合などは、90° になるようにカットします。用紙をカットするときは、定規などを使用して、必ず垂直に切断してください。切断面が斜めになっていたり波打っていたりすると、給紙不良の原因となります。

ポイント

- **用紙は良く切れるカッターナイフなどを使用して、切断面にバリが出ないようにカットしてください。切断面にバリがあると、給紙不良の原因となります。**
- **用紙をカットするときは、広く安定した場所で作業をしてください。また、手などを切らないように注意してください。**

用紙を裏返しにして、印刷面を上に向けます。

同梱の反り修正用フィルムを使用して、図のようにロール紙の先端の反りを修正します。

反り修正用フィルムで用紙を挟んで巻くことにより、切断面が印刷面を傷つけることを防ぎます。

ポイント

反り修正用フィルムを紛失した場合には、同梱の「安全にお使いいただくために」のような普通紙の薄い冊子を利用してください。

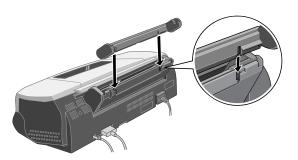
ロール状の用紙の場合

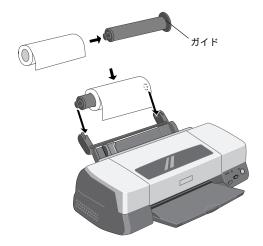
反り修正用フィルム

ロール紙ホルダの取り付け

用紙サポートを取り外します。

ロール紙ホルダの受けの部分を図の向きにして、用紙サポートが取り付けられていた部分に取り付けます。

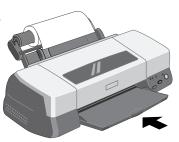
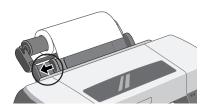
図の溝の部分に、上から落とし込むようにしてはめます。

ロール紙ホルダのシャフト部（筒状の部品）を図の向き（ガイドのある方が右側）にして、ロール紙を通し、受けの部分に載せます。

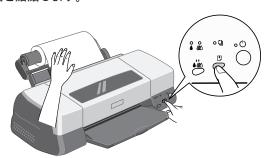
ロール紙にたるみが発生した場合は、巻き取ってください。

再び定型紙を使用する場合は、シャフト部のみ取り外し、図のように用紙サポートを取り付けます。

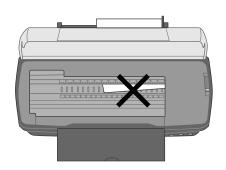
ロール紙のセット

ポイント

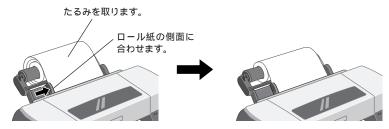
ロール紙に印刷する場合は、排紙された用紙が障害物にあたらないように、手前に十分なスペースを取ってください。

排紙サポートを 1 段目まで収納します。

左側のエッジガイドを、ロール紙の幅より少し広い位置まで移動します。

ロール紙を右側のエッジガイドに沿わせてセットし、左側のエッジガイドをロール紙の側面に合わせます。

ロール紙の中央を左手で軽く押さえながら、給紙/排紙 スイッチを押してロール紙を給紙します。

プリンタカバーを開けて、ロール紙が斜めに給紙されていないか確認します。

ロール紙が斜めに給紙されてしまった場合は、 給紙 / 排紙 スイッチを3秒以上押したままにします。ロール紙が取り除ける位置まで戻りますので一度ロール紙を抜き取ります。 給紙 / 排紙 スイッチを押して操作パネルの用紙チェックランプの点滅を消灯させてから、再度ロール紙を給紙し直してください。

ロール紙にたるみが発生したときは、巻き取ってください。

図のように、ロール紙にたるみが発生した場合は、巻き取ってから印刷を実行してください。

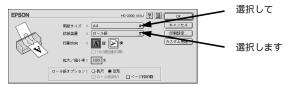
また、左側のエッジガイドは、ロール紙の側面にきっちりと合わせてください。

これでロール紙のセットは完了です。続いてプリンタドライバの設定をして、印刷を実行します。

印刷の設定と実行

プリンタドライバの設定画面（プロパティ画面）を開きます。

[給紙方法]/ [給紙装置] と [ページサイズ] /[用紙サイズ]を選択します。

Windows：[用紙設定] タブをクリックし、[給紙方法] を選択してから
[ページサイズ] を選択します。

Macintosh：[用紙設定] ダイアログで、[用紙サイズ] と [給紙装置] を
選択します。

[給紙方法] ／[給紙装置]

ロール紙	通常、ロール紙に印刷する場合はこちらを選択します。
ロール紙（左右余白無し）	左右余白無し印刷をする場合に選択します。左右余白を0mmにして印刷します。

[ページサイズ] ／[用紙サイズ]

89mm 幅のロール紙	[L 版]、[名刺]を選択します。また[ユーザー定義サイズ]で紙幅を89mm に設定しても構いません。 ＊[給紙方法]／[給紙装置]に[ロール紙（左右余白無し）]を選択すると、全面印刷を行います。
100mm 幅のロール紙	[4 × 6 版]、[ハガキ]を選択します。また[ユーザー定義サイズ]で紙幅を 100mm に設定しても構いません。 ＊[給紙方法]／[給紙装置]に[ロール紙（左右余白無し）]を選択すると、全面印刷を行います。
A4 幅のロール紙	[A4] を選択します。また[ユーザー定義サイズ]で紙幅を 210mm に設定しても構いません。 ＊[給紙方法]／[給紙装置]に[ロール紙（左右余白無し）]を選択すると、全面印刷を行います。
A3 ノビ幅のロール紙	[A3 ノビ] を選択します。また[ユーザー定義サイズ]で紙幅を 329mm に設定しても構いません。 ＊[給紙方法]／[給紙装置]に[ロール紙（左右余白無し）]を選択すると、全面印刷を行います。

- **多くのアプリケーションソフトの場合、[ファイル] メニュー内の [用紙設定] や [ページ設定] などの項目をクリックすると表示される画面で確認、設定ができます。**
- **[ページサイズ]/[用紙サイズ]の指定には、次の2通りの方法があります。**

891mm
210mm | A4 | A4 | A4

592mm
100mm | ハガキ | ハガキ | ハガキ | ハガキ

(1) [ページサイズ] / [用紙サイズ] に定形紙やユーザー定義サイズを選択して、それを仮想的につなぎ合わせることで長尺紙として設定します。

891mm
210mm

592mm
100mm

(2) ユーザー定義サイズなどで、任意のサイズを設定して長尺紙とします。

- **ロール紙をセットした状態で、[給紙方法] / [給紙装置] に [オートシートフィーダ] を選択して印刷を実行しないでください。余分に用紙を排紙して、エラーが発生します。誤って実行してしまった場合は、プリンタの後部で用紙を切り離し、ロール紙を排紙してプリンタの電源を入れ直してください。**

[ロール紙オプション]の設定をします。

Windows

ロール紙オプション
長尺モード(B)　定形モード(C)
ロール紙節約(O)
ページ枠印刷(F)

Macintosh

ロール紙オプション：　長尺　定形
ロール紙節約　ページ枠印刷

長尺モード／長尺	[ロール紙節約]の項目を選択可能にします。
定形モード／定形	[ページ枠印刷]の項目を選択可能にします。
ロール紙節約	印刷データの最後に余白部分がある場合に、余白部分の印刷を少なくします。データの最後の余白が不必要な場合に選択してください。
ページ枠印刷	印刷データが複数ページに渡る場合や複数部印刷する場合などに、ページを区切るための線を印刷します。ページごとの色調が同一なため、ページの区切りが不明な場合などに選択すると、後で切り取る際に便利です。

ロール紙への印刷時は、[180度回転印刷]、[印刷可能領域ー最大]、[印刷可能領域ーセンタリング] および [レイアウト] 画面の各機能は使用できません。

用紙の種類を選択します。

用紙	[用紙種類]
MC マット紙ロールタイプ	MC マット紙
MC 写真用紙〈半光沢〉ロールタイプ	MC 写真用紙〈半光沢〉

Windows　：[基本設定]タブをクリックして、[用紙種類]のリストボックスから用紙を選択します。

Macintosh：[印刷]ダイアログで、[用紙種類]から用紙を選択します。

印刷を実行します。

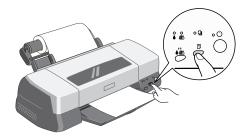
Windows：　OK ボタンをクリックして設定画面を閉じ、印刷を開始します。

Macintosh：印刷 ボタンをクリックして印刷を実行します。

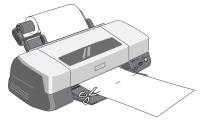
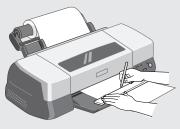
最初の印刷が終了したら、次のステップに進みます。

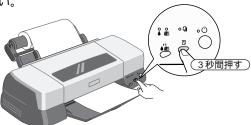
ロール紙の切り離し

給紙／排紙 スイッチを押します。

プリンタは切り取りの目安を印刷し、印刷結果が切り離しやすい位置（約 20cm）まで紙送りします。
印刷を続行する場合は、もう一度 給紙 / 排紙 スイッチを押します。印刷開始位置までロール紙を戻し、印刷データ待ちの状態になります。

印刷終了後、最大 15 秒は 給紙 / 排紙 スイッチが効かないことがあります。これはインクが乾くのを待っているためです。しばらくしてから押し直してください。

給紙／排紙 スイッチを繰り返し押さないでください。印刷開始位置と用紙の切り離し位置への移動を繰り返すうちに、用紙の表面が傷つくおそれがあります。

印刷結果に印刷されている、切り取りの目安に沿って、印刷結果を切り離します。

- **用紙は必ず、切り取りの目安より印刷結果側で切り離してください。切り取りの目安よりプリンタ側で切り離すと、給紙不良やインクの空打ちの原因となります。**
- **用紙をきれいに切り離すために、切り取りの目安に沿って、定規とマジックなどを使用して切り取り線を描いてから切り取られることをお勧めします。**

給紙／排紙 スイッチを 3 秒以上押したままにします。

用紙が取り除きやすい位置まで戻ります。戻らない場合は、この手順を繰り返してください。

- **必ず、印刷した部分を切り離してから実行してください。印刷結果を切り離さないまま実行すると、用紙の給排紙動作中に印刷面を傷つけるおそれがあります。**
- **A4サイズなどの定形紙をセットしている場合は、給紙／排紙 スイッチを3秒以上押さないでください。紙詰まりが発生します。誤って紙詰まりを起こした場合は、電源をオフにしてください。**

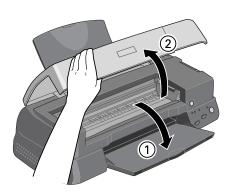
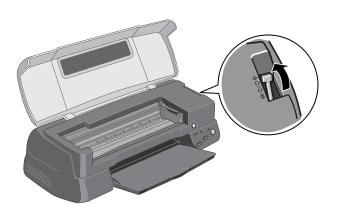
用紙をゆっくり引き抜きます。

給紙／排紙 スイッチを押すと、操作パネルの用紙チェックランプの点滅が消灯します。

以上で印刷の手順は終了です。

厚紙へ印刷するときは

厚い用紙を使用すると、用紙とプリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。このような場合には、アジャストレバーを＜＋＞位置に設定してください。
アジャストレバーを＜＋＞位置に設定すると、プリントヘッドと用紙との間が広くなります。

排紙トレイを手前に倒し、プリンタカバーを開けます。

アジャストレバーを＜＋＞位置へ倒します。

プリンタカバーを閉じます。

- **印刷終了後、アジャストレバーの位置は必ず＜0＞位置へ戻してください。アジャストレバーを＜＋＞位置のまま、普通の用紙に印刷すると、印刷結果がぼけたようになる場合があります。**
- **アジャストレバーを＜＋＞位置にした場合、双方向印刷は行わないでください。なお、印刷品質の設定によっては、双方向印刷をオフにできません。この場合は、双方向印刷をオフに指定できる印刷品質に設定を変更してください。**
  ☞本書 Windows「手動設定」60 ページ
  Macintosh「高度な印刷設定について」102 ページ

第 3 章

Windows での印刷

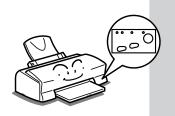
MC-2000 Windows

ここでは、Windows で印刷する場合の手順や、プリンタドライバの詳細な内容などについて説明しています。

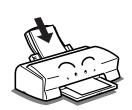
印刷までの流れ

1 印刷データを作成します

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。
または作成済みのデータファイルを開きます。

2 プリンタの電源をオンにします

インクは充分にありますか？
操作パネルのランプでプリンタの状態がわかります。

☞本書「スイッチとランプについて」6 ページ

3 用紙をセットします

☞本書「定形紙への印刷」15 ページ
☞本書「ハガキへの印刷」18 ページ
☞本書「封筒への印刷」20 ページ
☞本書「ロール紙への印刷」24 ページ

4 プリンタドライバで印刷条件を設定します

☞本書「印刷の設定と実行」41 ページ
☞本書「プリンタドライバの設定項目について」50ページ
☞本書「便利な印刷機能について」65 ページ

5 印刷を実行します

☞本書「印刷を実行すると」45 ページ
☞本書「印刷の中止方法」47 ページ

印刷の設定と実行

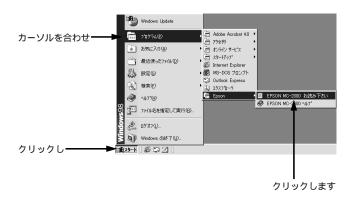
ここでは、プリンタドライバと同時にインストールされる「EPSON MC-2000 お読み下さい」というファイルを開いてから印刷を実行するまでの手順をもとに、基本的な印刷の方法について説明します。

Win

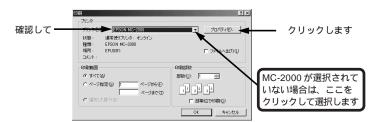
ポイント

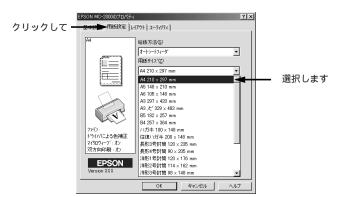
プリンタドライバの設定画面の開きかたは、各アプリケーションソフトによって異なります。詳細は、各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここではWindowsに添付の「ワードパッド」を例に説明します。

スタート ボタンをクリックし、[プログラム] - [Epson] にカーソルを合わせ [EPSON MC-2000お読み下さい] をクリックします。

ワードパッドまたはMicrosoft Wordが起動し、ファイルが表示されます。

2 **[ファイル] メニューをクリックし、[印刷] をクリックします。**

MC-2000が選択されていることを確認し、プロパティ ボタンをクリックします。

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

[用紙設定] タブをクリックして、[用紙サイズ] のリストボックスから [A4 210x297mm] を選択します。

ここでは、印刷するデータの用紙サイズ（ページサイズ）を設定します。（「EPSON MC-2000 お読み下さい」ファイルは A4 サイズのデータです。）

[基本設定] タブをクリックして、各項目を設定し、OK ボタンをクリックします。

ここでは、試し印刷に向いた印刷速度の速い設定にします。

用紙種類	普通紙
インク	カラー
モード設定	推奨設定 - 速い

44 ページへ続きます。

ポイント

通常は、用紙種類と用紙サイズを設定するだけで十分な品質の印刷結果を得ることができますが、さらに印刷品質を向上させる方法として、以下の 3 つの設定方法があります。

方法 1. 印刷品質を向上させるには

用紙種類	プリンタにセットした専用紙
インク	カラー
モード設定	推奨設定ーきれい

- **印刷する用紙を「MC光沢紙」などの専用紙にします。**
  本書「用紙について」10 ページ
- **用紙の種類によっては「きれい/速い」の選択ができないことがあります。**

方法 2. 用途に合わせたプリセットメニューで印刷するには

用紙種類	プリンタにセットした用紙
インク	カラー
モード設定	オートフォトファイン!4/ 詳細設定 リストボックスから選択します。

- **各メニューの詳細については以下のページを参照してください。**
  本書「基本設定」51 ページ
- **詳細設定では、用紙種類により、選択できるプリセットメニュー[*1] が異なります。**

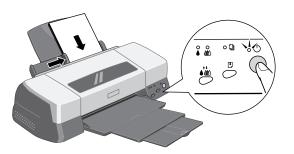
*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている、用途別の選択肢。リストボックスの中に、一覧で表示される。

方法 3. 独自に調整して印刷するには

モード設定	詳細設定 設定変更ボタンをクリックします。

- **各メニューの詳細については以下のページを参照してください。**
  本書「手動設定」60 ページ

プリンタの電源をオンにして、A4 サイズの「普通紙」を 6 枚以上セットします。

(「EPSON MC-2000 お読み下さい」ファイルは複数ページあります。)
用紙のセット方法は、「さまざまな用紙への印刷」を参照してください。
☞本書「定形紙への印刷」15 ページ

OK ボタンをクリックして印刷を実行します。

画面上にプログレスメータ[*1]が表示され（EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストールされている場合)、印刷が始まります。
Windows95/98 の場合は、スプールマネージャ[*2]も同時に起動します。
☞本書「印刷を実行すると」次ページ

*1 プログレスメータ：印刷の進行状況やインク残量などを表示するダイアログボックス。

*2 スプールマネージャ：印刷データを一時的に蓄えるアプリケーションソフト。スプールマネージャが印刷処理を実行するため、印刷中でもコンピュータは別の作業をすることが可能となる。

電源ランプの点滅が点灯に変わり、プリンタの動作音がしなくなれば印刷は終了です。

ポイント

- **ここで印刷した「EPSON MC-2000 お読み下さい」ファイルには、プリンタドライバに関する最新の情報が記載されています。必ず内容をご確認ください。**
- **正常に印刷できなかった場合は、お問い合わせいただく前に以下のページを参照してください。**
  ☞本書「困ったときにお読みください」175 ページ

印刷を実行すると

印刷を実行するとスプールマネージャ（Windows95/98）が起動し、プログレスメータが表示されます。

スプールマネージャ（ Windows95/98 ）

印刷データはスプールマネージャに蓄えられ、そこからプリンタに出力されます。これによって、印刷実行中も別の作業をすることができます。

印刷を実行すると､タスクバー上に EPSON MC-2000 ボタンが表示されます｡このボタンをクリックすると、スプールマネージャが表示されます。

EPSON MC-2000 - EPU... | EPSON MC-2000 - EPU...

クリックします

①印刷ジョブ一覧

印刷中のデータの名称、用紙サイズ、状態、進行状況、印刷実行日時が表示されます。

② 削除

印刷を中止して削除します。削除する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。印刷データが選択されていない場合は、一番上の印刷データが削除されます。

③ 一時停止 / 再開

印刷を一時停止/再開します｡停止する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。

④ 再印刷

現在印刷中のページを再印刷します。

⑤ ヘルプ

ヘルプ情報を表示します｡このボタンをクリックすると､スプールマネージャの詳細を参照できます。

Win

プログレスメータ

EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされている場合は、印刷を実行するとプログレスメータが表示されます。プログレスメータは印刷の進行状況（コンピュータの処理状況）を表示するダイアログです。

①印刷データ情報

印刷しているファイルの名称と出力ページ数および印刷中のページを表示します。

②状態表示

アイコンによって現在の状態を表示します。

③進行状況

印刷の進行状況（コンピュータの処理状況）をグラフィックで表示します。

④印刷制御ボタン

印刷を制御するボタンです。

[印刷中止]：印刷を中止して削除します。

[一時停止]：印刷を一時停止します。クリックすると、[印刷再開]に変わります。

[印刷再開]：印刷を再開します。

⑤インク残量

インク残量の目安を表示します。インク残量の詳細は以下を参照してください。

☞本書「[プリンタ詳細] ウィンドウ」128ページ

⑥ [ワンポイントアドバイス]

プリンタを使用する上でのポイントとなるアドバイス情報の表示/非表示を切り替えます。[詳しくは…]ボタンをクリックすると、操作方法などのさらに詳しい情報が表示されます。

プログレスメータは、EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされていないと表示されません。

☞本書「EPSONプリンタウィンドウ!3」126ページ

印刷の中止方法

印刷は次の方法で中止します。

通常の中止方法

「プログレスメータ」の 印刷中止 ボタンをクリックします。

ポイント

ロール紙をご使用の場合は、この後、次の手順に従ってください。
本書「ロール紙への印刷」-「ロール紙の切り離し」35 ページ

印刷の強制終了（Windows95/98）

何らかの理由により文字化けなどが発生した場合は、次の手順で印刷を強制終了させてください。

プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの 電源 スイッチをオフにします。印刷中の用紙は排紙されます。

ポイント

プリンタの 電源 スイッチをオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。必ずプリンタの 電源 スイッチをオフにしてください。

キャンセル ボタンをクリックします。

以下の画面が表示されるまでには少し時間がかかります。

ポイント

- **キャンセル ボタンをクリックした後に、以下の画面が表示された場合は、印刷を中止する印刷データをクリックし、削除 ボタンをクリックしてください。**

- **ロール紙をご使用の場合は、この後プリンタの電源をオンにしてから、次の手順に従ってください。**

☞本書「ロール紙への印刷」-「ロール紙の切り離し」35 ページ

印刷の強制終了（WindowsNT4.0/2000）

何らかの理由により文字化けなどが発生した場合は、次の手順で印刷を強制終了させてください。

プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの 電源 スイッチをオフにします。印刷中の用紙は排紙されます。

ポイント

プリンタの 電源 スイッチをオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。必ずプリンタの 電源 スイッチをオフにしてください。

［プリンタ］フォルダを開き、［MC-2000］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタ］フォルダは、画面左下の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックして開きます。

ダブルクリックします

［プリンタ］メニュー内の［印刷ドキュメントの削除］（WindowsNT4.0）/［すべてのドキュメントの取り消し］（Windows 2000）をクリックします。

クリックします

ポイント

- プリントマネージャからプリンタへのデータ転送が終了している場合、プリントマネージャに印刷データは表示されません。その場合は、プリンタの 電源 スイッチをオフにするだけで印刷は正常に中止されます。
- 特定の印刷データだけを削除する場合は、印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。
- ロール紙をご使用の場合は、この後プリンタの電源をオンにしてから、次の手順に従ってください。
  ☞本書「ロール紙への印刷」-「ロール紙の切り離し」35 ページ

プリンタドライバの設定項目について

Win

プリンタドライバの設定項目は、いくつかのメニュー（ダイアログボックス）に分れています。ここではそれらのメニューの関係と項目の概要を説明しています。

ポイント

プリンタドライバの設定画面は、[プリンタ] フォルダ*のプリンタアイコンを右クリックして表示されるメニューからも開くことができます。ここでの設定は、アプリケーションソフトなどでプリンタドライバを設定する際の初期値（デフォルト値）となります。最もよく使う設定をしておくと、印刷の際に設定する必要がなくなり便利です。

Windows95/98の場合［プロパティ］

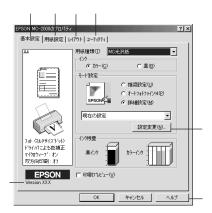
クリックします

WindowsNT4.0の場合[ドキュメントの既定値]

クリックします

Windows2000 の場合［印刷設定］

クリックします

＊「プリンタ」フォルダは、スタートボタンをクリックして［設定］-［プリンタ］をクリックすると開きます。

① [基本設定] ———— 51 ページ
② [用紙設定] ———— 54 ページ
③ [レイアウト] ——— 57 ページ
④ [ユーティリティ] — 58 ページ

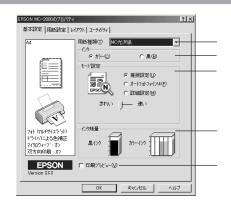
⑤ 設定変更ボタン
（[手動設定]）——— 60 ページ
[詳細設定]をクリックしてから設定変更ボタンをクリックします。

⑥ バージョン情報
プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

⑦ OK
設定の内容を保存して、設定を終了します。

キャンセル
設定の変更内容を保存せずに、設定を終了します。

ヘルプ
プリンタドライバのヘルプを開きます。

基本設定

①用紙種類

印刷する用紙の種類を、リストボックスの中から選択します。

②インク

インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。

③モード設定

[推奨設定]

用紙種類、インク、用紙サイズを設定するだけで自動的に最適な設定で印刷します。用紙種類によっては、きれい／速いを選択できないものもあります。

きれい ：印刷品質を重視した設定で印刷します。
速い　 ：印刷速度を重視した設定で印刷します。

[オートフォトファイン!4]

ビデオ、デジタルカメラ、スキャナなどから取り込んだ画像や PhotoCD データなどを自動的に補正して印刷します。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正を加え、高画質化して印刷します。[詳細設定]では、さらに詳細な設定を行うことができます。

Win

リストボックス

標準　　　　　　　：EPSON 標準の色調にして印刷します。
人物　　　　　　　：人物が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷します。
風景　　　　　　　：風景が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷します。
ソフトフォーカス　：画像が柔らかいタッチになるような補正を加えて印刷します。
セピア　　　　　　：画像をセピア調にして印刷します。

デジタルカメラ

デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正を加えて印刷します。

[詳細設定]

印刷の設定を手動で行います。[詳細設定]をクリックして選択すると、プリセットメニュー*1のリストボックスと設定変更ボタンが有効になります。

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている、用途別の選択肢。リストボックスの中に、一覧で表示される。

プリセットメニュー

用途に合わせてリストボックスの中から選択します。①で設定した[用紙の種類]により、選択できるメニューが異なります。

ワープロ / グラフ　：ワープロなどで作成したカラーのデータを印刷する場合に選択します。
エコノミー　　　　：印刷品質にこだわらない場合に選択します。普通紙でのみ選択できます。
ICM　　　　　　　 ：Windows の ICM (Image Color Matching) 機能を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタでの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します。
sRGB　　　　　　　：スキャナやディスプレイなどの機器がsRGB*2に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します。ご利用の機器がsRGBに対応しているかは、各機器のメーカーにお問い合わせください。

*2 sRGB：Microsoft 社とヒューレット・パッカード社が共同で制定したRGB の色の規格。

設定変更 ボタン

このボタンをクリックすると、[手動設定]ダイアログが開きます。詳細な設定は、この画面で行います。

☞本書 「手動設定」60 ページ

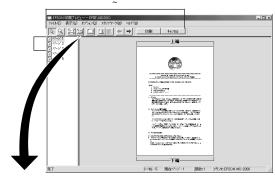
④インク残量

EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされている場合、インク残量の目安を表示します。インク残量の詳細は以下を参照してください。

☞本書 「[プリンタ詳細] ウィンドウ」128 ページ

⑤印刷プレビュー

チェックボックスをチェックして印刷を実行すると、印刷イメージを表示する[プレビュー]ダイアログが開きます。

プレビューダイアログ

①：スタンプマークを移動する場合にクリックしてください。

②：表示している画像の拡大/縮小表示ができます。拡大する場合は、ボタンをクリックしてから拡大したいところへカーソルを移動させマウスをクリックします。縮小したい場合は、マウスの右ボタンをクリックします。

③：画面のサイズいっぱいに拡大して表示します。

④：最大の倍率で拡大して表示します。

⑤：印刷データの余白境界線をグレーのラインで示します。実際の印刷結果には印刷されません。クリックすると表示は消えます。

⑥：印刷データにスタンプマークを印刷するためのメニューを開きます。

☞本書 「スタンプマークを印刷するには」66ページ

⑦：⑥で設定したスタンプマークの設定を解除します。

⑧：表示するページを切り替えます。

⑨ 印刷 ：印刷を実行します。

⑩ キャンセル ：印刷を中止して、[プレビュー]ダイアログ、[印刷]ダイアログともに閉じます。

⑪ ﾍﾟｰｼﾞ1 ﾍﾟｰｼﾞ2 ﾍﾟｰｼﾞ3 ：印刷するページ／印刷しないページを切り替えることができます。対象のページをクリックして選択してから、[オプション]メニューをクリックして、「印刷する / しない」を切り替えてください。

用紙設定

①給紙方法

給紙方法を選択します。

オートシートフィーダ / オートシートフィーダ（左右余白無し）：
定形紙に印刷する場合に選択します。

ロール紙 / ロール紙（左右余白無し）：
ロール紙に印刷する場合に選択します。

「左右余白無し」を選択すると、左右余白を 0mm で印刷します。

[オートシートフィーダ]
[ロール紙]

[オートシートフィーダ（左右余白無し）]
[ロール紙（左右余白無し）]

②用紙サイズ /ページサイズ

作成した印刷データの用紙サイズをリストボックスの中から選択します。
[給紙方法] で選択した給紙方法によって、セットできる用紙サイズが異なります。

ポイント

- **プリンタにセットしてある用紙よりも大きな用紙サイズのデータを印刷する場合は、必ず「レイアウト」ダイアログボックスで縮小（フィットページ）の設定を行ってください。**
  セットしてある用紙よりも大きな用紙サイズ設定のまま印刷を行うと、プリンタ内部がインクで汚れます。
  本書「拡大 / 縮小して印刷するには」65 ページ
- **「用紙サイズ」でA3ノビよりも大きなサイズの用紙を選択すると右の画面が表示されます。プリンタにセットしてある用紙サイズを「出力用紙」のリストボックスから選択してください。自動的に縮小して印刷します。**
- **ユーザー定義サイズを選択すると定形外の用紙サイズを登録することができます（最大 30 個）。**
  「用紙サイズ名」「用紙幅」「用紙長さ」を入力して 保存 ボタンをクリックします。
- **[給紙方法] が [オートシートフィーダ（左右余白無し）] の場合は、ユーザー定義サイズは選択できません。**

③印刷部数

印刷の部数（コピー数）を入力します。2部以上印刷する場合は印刷方法を選択します。最大 9999 枚まで入力できます。

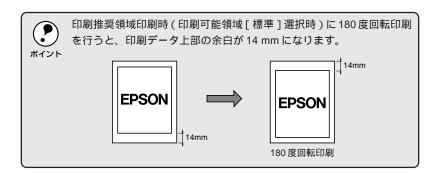
部単位で印刷 ： 1 部ずつ、入力した部数を印刷します。
逆順印刷 ： 最終ページから印刷します。

④印刷方向

印刷データを［縦］/［横］どちらで印刷するか選択します。［横］を選択すると印刷イメージを 90 度回転して印刷します。

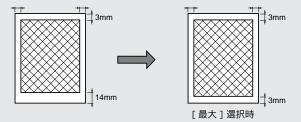
180 度回転印刷 ：印刷イメージを 180 度回転して、印刷データの下端から印刷します。

印刷推奨領域印刷時（印刷可能領域［標準］選択時）に 180 度回転印刷を行うと、印刷データ上部の余白が 14 mm になります。

180 度回転印刷

⑤印刷可能領域

印刷する領域（位置）を選択します。［給紙方法］で［オートシートフィーダ］を選択した場合に設定できます。

標準 ： 左上を起点にして、印刷推奨領域内へ印刷します。
最大 ： 左上を起点にして、印刷可能領域内へ印刷します。
センタリング ： 用紙の中央に印刷します。

- **本プリンタは紙送りの機構上、印刷データの下部に余白が必要です。印刷可能領域の［最大］を選択することで 14mm の余白を 3mm にして印刷することができます。ただし、印刷するデータの内容によっては、用紙の下部において印刷品質が低下することがあります。**
  ☞本書「印刷推奨領域と印刷可能領域」13 ページ

［最大］選択時

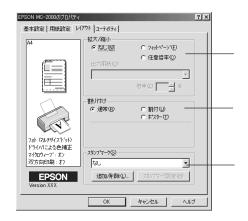
- **MC 写真用紙〈半光沢〉、MC 画材用紙、封筒に印刷する場合は、［最大］を選択しないでください。［最大］を選択して印刷すると、用紙の下端が汚れる場合があります。**

⑥ロール紙オプション

①の[給紙方法]に[ロール紙]または［ロール紙（左右余白無し)］を選択すると、ロール紙オプションが有効になります。
☞本書「ロール紙への印刷」24ページ

長尺モード　：［ロール紙節約］の項目を選択可能にします。
定形モード　：［ページ枠印刷］の項目を選択可能にします。
ロール紙節約　：データの最後に余白部分がある場合に、余白部分の印刷を少なくします。データの最後の余白が不必要な場合に選択してください。
ページ枠印刷　：印刷データが複数ページに渡る場合や複数部印刷する場合などに、ページを区切るための線を印刷します。
ページごとの色調が同一なため、ページの区切りが不明な場合などに選択すると、後で切り取る際に便利です。

Win

レイアウト

①拡大 / 縮小

印刷データを10～400%の比率で拡大 / 縮小して印刷することができます。
☞本書「拡大 / 縮小して印刷するには」65 ページ

②割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小し、割り付けて印刷することができます。（割付）
☞本書「1 ページに複数ページのデータ印刷するには」69 ページ
また、印刷データを自動的に拡大して、プリンタにセットした用紙に分割して印刷することもできます。（ポスター）
☞ 本書「A3 ノビサイズより大きな用紙に印刷するには（ポスター印刷）」70 ページ

③スタンプマーク

あらかじめ用意したマークを印刷データに重ね合わせて印刷する機能です。
☞本書「スタンプマークを印刷するには」66 ページ

- **レイアウトの各機能の詳細については以下のページを参照してください。**
  ☞本書「便利な印刷機能について」65 ページ
- **ロール紙への印刷時は使用できません。**

ユーティリティ

①EPSON プリンタウィンドウ!3

プリンタの状態を監視できる「EPSON プリンタウィンドウ!3」が起動します。EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールしていない場合は、機能しません。

②ノズルチェック

プリントヘッドのノズルの目詰まりを確認するパターンを印刷します。

③ヘッドクリーニング

プリントヘッドをクリーニングするときにクリックします。

④ギャップ調整

双方向印刷時に縦の罫線がずれたり、ピントがぼけたような印刷結果になる場合に調整します。

⑤プリンタ情報

色の再現性を向上させるためのプリンタID情報を取得する場合にクリックします。EPSON プリンタウィンドウ!3 をインストールしている場合は、自動的に取得されるため実行する必要はありません。

⑥環境設定

印刷速度やプログレスメータ表示、EPSONプリンタポートに関する設定をします。

☞本書「環境設定」次ページ

ユーティリティの詳細は「ユーティリティの使い方」(125ページ)をご覧ください。

環境設定

Windows95/98

WindowsNT4.0/2000

ポイント

環境設定ダイアログを開く場合は、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］タブの 環境設定 ボタンをクリックします。プリンタドライバの開き方は 50 ページを参照してください。

①部数印刷高速化

1 部目の印刷処理データをハードディスクに保存し、2 部目以降は、そのデータを使用することで印刷速度を高速化します。チェック（✔印）を外すと、ハードディスクの使用量が減ります。通常はチェックして（✔印を付けて）使用してください。

②プログレスメータ表示

印刷実行時に印刷の進行状況を表示します。

③EPSON プリンタポート使用（DOS/V 機、Windows95/98 のみ）

EPSON プリンタポートドライバを使用して、印刷を高速化します。通常はチェックして（✔印を付けて）使用してください。USB ケーブル接続時（EPUSB ポート接続時）は、ご利用いただけません。

④ モニタの設定 ボタン

EPSON プリンタウィンドウ!3 のモニタ設定画面を開きます。

⑤DMA 転送（DOS/V 機、Windows95/98 のみ）

DMA 転送の状態を表示します。詳細は以下のページを参照してください。USB ケーブル接続時（EPUSB ポート接続時）はご利用いただけません。
☞本書「印刷を高速化するには」73 ページ

⑥常にRAWデータをスプールする

チェックすると（✔印を付けると）、ご利用のアプリケーションソフトによっては高速に印刷できる場合があります。

⑦フォルダ選択

スプールファイルや部数印刷高速化機能を使用する際に、一時的にデータを保存するフォルダを選択できます。通常は、設定の必要はありません。

Win

手動設定

- ［手動設定］ダイアログは、［基本設定］の詳細設定モードを選択し、設定変更ボタンをクリックして開きます。
- 「用紙種類」「印刷品質」などの設定の組み合わせで、選択できる項目が変わります。

①用紙種類

印刷する用紙の種類を、リストボックスの中から選択します。

②インク

インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。

③印刷品質

印刷の品質を、リストボックスの中から選択します。

ドラフト	：インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。レイアウト確認などの試し印刷に向いています。普通紙でのみ選択できます。
ファイン	：印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスがとれた印刷を行います。普通紙でのみ選択できます。
スーパーファイン	：印刷時間は多少かかりますが、高品質な印刷結果が得られます。専用紙でのご使用をお勧めします。
フォト	：印刷時間は多少かかりますが、マルチサイズドット[*1]機能を使用して、さらに美しい写真品質の印刷を行います。MC写真用紙〈半光沢〉、MC光沢紙選択時に［フォト］を選択するとマイクロウィーブのスーパーのチェックボックスが有効になります。

*1 マルチサイズドット：ヘッドから吐出するインクの量を、大、中、小と3タイプに吹き分けることによって、印刷ムラのない美しい出力を可能にしたエプソン独自の機能。

④マイクロウィーブ

行ごとのムラを少なくし､より高品質なグラフィックスイメージを表現できる機能です。

スーパー ： フォト印刷時に設定できます｡チェックボックスをチェックすると､ムラのない写真品質の印刷結果が得られますが､印刷時間は長くなります。

⑤双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので、より高速に印刷できます。ただし、印刷品質が多少低下する場合があります。

⑥左右反転

左右を反転させて印刷する場合は､このチェックボックスをチェックします。

⑦スムージング（文字 / 輪郭）

テキストデータや線画の輪郭を、なめらかに印刷します。印刷時間は多少長くなります。

⑧ドライバによる色補正

次の｢色補正方法｣の設定に従い､印刷するデータの色バランスを整えます。

自動 ：文書内のオブジェクト[*1]に対して最適な色処理をします。通常はこの設定でご使用ください。

自然な色あい ：より自然な発色状態になるように色処理します。

あざやかな色あい ：彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理をします。

*1 オブジェクト ： 対象物。ここでは、色補正を行う際に対象となるものを指している。

ガンマ

1.5 ：ガンマ値 1.8 に比べ柔らかい感じの画像を印刷します。

1.8 ：通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます。

2.2 ：sRGB対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。⑪の［sRGB］を選択しても同様の結果が得られます。

Win

⑨オートフォトファイン!4（カラー印刷の場合のみ）

ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像やPhotoCDのデータなどを自動的に補正して印刷します。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正を加え、高画質化して印刷します。
［オートフォトファイン!4］をクリックしてチェックすると、ポップアップメニューが有効になります。

オートフォトファイン!4 選択時

色調　：印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］［色調補正なし］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。

効果　：印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］［なし］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。

デジタルカメラ用補正
：デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

ポイント

- **画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。**
- **オートフォトファイン!4は1677万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して、最も有効に機能します。256色などの少ない色情報の画像データには、有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。**
- **EPSON製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン!4は使用しないでください。**

⑩色補正なし

ドライバでは色補正を行いません。ICM用プロファイル[*1]を作成する際の基準色を印刷する場合や、アプリケーションソフト上で色合わせの設定をして印刷する場合に選択します。通常は選択しないでください。

*1 プロファイル：各機種固有の色情報が記された、色補正用データ。

⑪ sRGB

*1 sRGB：Microsoft社とヒューレットパッカード社が共同で制定したRGBの色の規格。

スキャナやディスプレイなどの機器がsRGB[*1]に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します。
ご利用の機器がsRGBに対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。

⑫ ICM（Image Color Matching）（Windows95/98/2000のみ）

ICM機能を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタでの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します。

⑬ 各スライドバーについて

明度：画像全体の明るさをバーで調整します。標準を0として、－25～＋25%の間で、マイナス〈－〉方向には暗く、プラス〈＋〉方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。

コントラスト：画像の明暗比をバーで調整します。標準を0として、－25～＋25%の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度：画像の彩度（色の鮮やかさ）をバーで調整できます。標準を0として、－25～＋25%の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。「インク」で［黒］を選択した場合は調整できません。

シアン/マゼンタ/イエロー
：それぞれの強さだけをバーで調整できます。標準を0として、－25～＋25%の間で調整します。「インク」で［黒］を選択した場合は調整できません。

コントラスト	＜－＞← 0 →＜＋＞	
シアン	赤みを強くします。	青緑（シアン）を強くします。
マゼンタ	緑色を強くします。	赤紫（マゼンタ）を強くします。
イエロー	青色を強くします。	黄色（イエロー）を強くします。

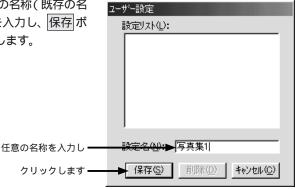
⑭ 保存/削除 ボタン

手動設定ダイアログの設定値を保存または削除します。このボタンをクリックすると、ユーザー設定ダイアログが表示されます。
最大10個のユーザー設定値を保存できます。

Win

ユーザー設定の登録方法

手動設定ダイアログで各項目を設定し、保存/削除ボタンをクリックします。

[設定名] に任意の名称（既存の名称以外の名称）を入力し、保存ボタンをクリックします。

これで基本設定ダイアログのリストボックスに設定が加えられました。

ポイント

- 設定を削除する場合は、「設定リスト」から削除するリストをクリックして選択し、削除ボタンをクリックします。
- プリセットメニューは削除できません。

便利な印刷機能について

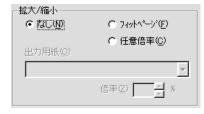
ここでは[レイアウト]画面で設定できる便利な印刷機能について説明します。

ロール紙への印刷時は使用できません。

拡大 / 縮小して印刷するには

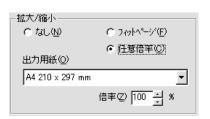
印刷データを10%～400%の比率で拡大 / 縮小して印刷することができます。

●なし

印刷データを拡大 / 縮小しません。等倍（100%）で印刷します。

●フィットページ

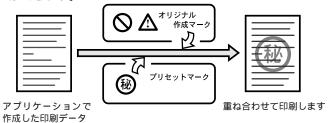
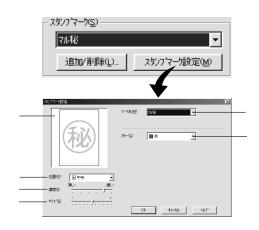
「出力用紙」（プリンタにセットした用紙）を設定することで、自動的に印刷倍率を設定して印刷します。印刷倍率は、[用紙設定]ダイアログの「用紙サイズ」で設定されている用紙サイズに対して設定されます。

●任意倍率

「倍率」「出力用紙」とも手動で設定します。

- **拡大/縮小印刷をした場合、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。**
- **印刷データの印刷領域が本機の印刷可能領域を超える、または同等の場合、レイアウトが変わることがあります。**
  ☞本書「印刷推奨領域と印刷可能領域」13 ページ

Win

スタンプマークを印刷するには

印刷データに「㊙」や「重要」などのマークを重ね合わせて印刷することができます。

［スタンプマーク］のリストボックスから印刷するマークを選択し、スタンプマーク設定 ボタンをクリックします。

単語（テキスト）のマーク名選択時

①マーク名　：印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。
②カラー　：マークの印刷カラーをリストボックスから選択できます。
ただし、新規に登録したマークの色指定はできません。
③レイアウト　：設定したイメージを表示します。
④位置　：マークの印刷位置をリストボックスから選択できます。
⑤濃度　：印刷する際のマークの濃さを調整できます。
⑥サイズ　：マークの印刷サイズを設定することができます。

⑦フォント設定：登録した単語のフォントおよびスタイル（形状）をリストボックスの中から選択することができます。

⑧回転　　　　：単語マークの角度の設定ができます。入力欄に直接入力するか、スライドバーをスライドさせるか、またはボタンをクリックしてレイアウト画面でドラッグして回転させることもできます。

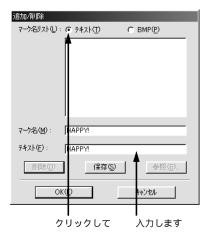
オリジナルマークの登録方法

プリセットマークの他にお好みの画像（BMP[*1]）や任意の単語を登録することもできます。最大登録数は10個です。

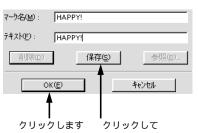
*1 BMP：画像データを保存する際のファイル形式のひとつ。Windows 上でもっとも一般的に使用されている。

単語の登録方法

追加 / 削除 ボタンをクリックします。

［マーク名］リストの［テキスト］のラジオボタンをクリックして選択してから、［テキスト］に登録したい単語を入力します。

保存 ボタンをクリックして、OK ボタンをクリックします。

これでマーク名のリストの単語が加わりました。

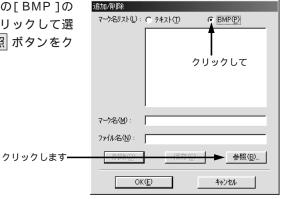
Win

画像の登録方法

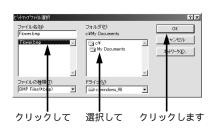
アプリケーションソフトでオリジナルデータを作成し、BMP 形式で保存します。

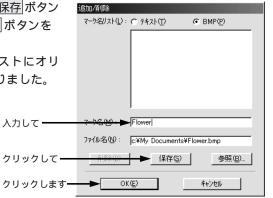
ファイル形式にはBMP、TIFF、JPGなど多くのファイル形式があります。保存の際に BMP を選択して保存してください。

追加 / 削除 ボタンをクリックします。

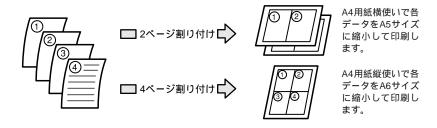
スタンプマーク(S)
マル秘
クリックします
追加/削除(L)...
スタンプマーク設定(M)

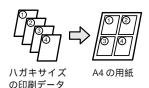
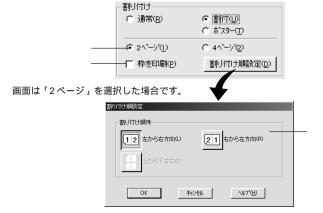
［マーク名］リストの［BMP］のラジオボタンをクリックして選択してから、 参照 ボタンをクリックします。

マークを保存したディレクトリをダブルクリックして選択し、登録するマークをクリックして、OK ボタンをクリックします。

WindowsNT4.0/2000 の場合は、開く ボタンをクリックします。

［マーク名］を入力し、保存 ボタンをクリックして、OK ボタンをクリックします。

これでマーク名のリストにオリジナルマークが加わりました。

1ページに複数ページのデータを印刷するには（割り付け）

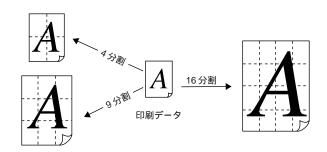
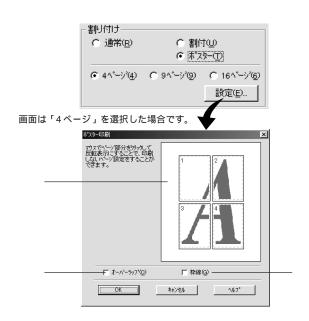
2ページまたは4ページ分の連続した印刷データを縮小して、1ページにまとめて印刷できます。

● A4サイズで作成した印刷データを割り付け印刷する場合

拡大/縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。

画面は「2ページ」を選択した場合です。

①割付　　　　：何ページ分のデータを1ページに割り付けるか選択します。
②枠を印刷　　：割り付けたページに枠線を描きます。
③割り付け順序：割り付ける順番を選択します。割り付け順を示す数字のアイコンをクリックして OK ボタンをクリックしてください。

A3ノビサイズより大きな用紙に印刷するには（ポスター印刷）

ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大して、プリンタにセットした用紙に分割して印刷することのできる機能です。印刷したものをつなぎ合わせれば、大きなポスターやカレンダーも思いのままです。

画面は「4ページ」を選択した場合です。

①印刷面の選択　：分割したページを印刷する/しないをクリックすることで選択できます。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、グレーで表示されます。印刷するページ分の用紙が必要です。

②オーバーラップ：印刷結果をつなぎ合わせる際に部分的に用紙を重ねられるように、部分的に重複して印刷します。

③枠線　：余白部分を切り取る際のガイド線を自動的に印刷します。

ドライバの削除

プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行う場合は、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）してください。

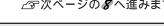
※以下の説明では、Windows98の画面を使用しています。

プリンタの電源をオフにし、ケーブルを取り外します。

画面左下の スタート ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ、[コントロールパネル] をクリックします。

[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

削除するドライバを選択してダブルクリックします。

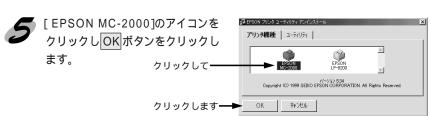
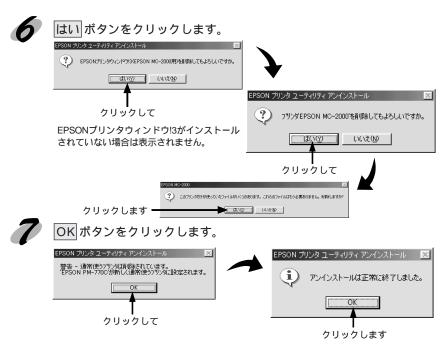
- プリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ!3を削除する場合
  [EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ] をダブルクリックします。
  ☞次の5へ進みます。
- USB デバイスドライバを削除する場合
  [EPSON USBプリンタデバイス] をダブルクリックします。
  ☞次ページの8へ進みます。

- **[EPSON USB プリンタデバイス] は Windows98 で USB 接続をご利用の場合のみ表示されます。**
- **USB デバイスドライバを削除する場合は、先にプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ!3 を削除してください。**

ポイント

プリンタドライバの削除

[EPSON MC-2000] のアイコンをクリックし OK ボタンをクリックします。

6 はい ボタンをクリックします。

7 OK ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。
プリンタドライバを再インストールする場合はコンピュータを再起動させてください。

プリンタドライバは、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットしたときに自動的に表示される画面からも削除することができます。

USB デバイスドライバの削除

USBデバイスドライバは、Windows98でUSB接続をご利用の場合にのみ必要なドライバです。

USB デバイスドライバを削除する場合は、先にプリンタドライバとEPSON プリンタウィンドウ!3 を削除してください。

8 はい をクリックします。
コンピュータが再起動します。
これでUSBデバイスドライバの削除は終了です。

印刷を高速化するには

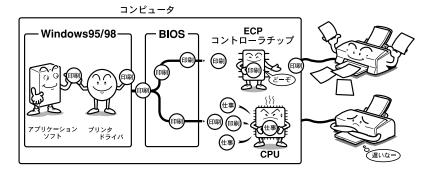
本機をパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合は、データの転送方法に「DMA（ディーエムエー）転送」を使用することで、印刷を高速化することができます。Windows 2000では、この機能は使用できません。

DMA転送とは

通常、印刷データは、コンピュータの頭脳であるCPU（Central Processing Unit）を通してプリンタへ送られます。しかし、CPUは同時に幾つもの処理をこなしているため、この方法ではCPUに負担がかかり効率的にプリンタへデータが送られません。

コンピュータにECP[*1]コントローラチップを搭載した機種の場合は、印刷データの流れの設定を変更することで印刷データをCPUを介することなくプリンタへ直接送ることができます。これにより、処理工程が少なくなり、効率的にプリンタへ印刷データが送られるため、結果として印刷速度が向上することになります。

このようなデータ転送の形式を、DMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

*1 ECP(イーシーピー)：（Extended Capability Port）パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA転送を設定する前に

プリンタドライバでDMA転送を行う前に以下の項目の確認、設定が必要です。

①

- **ご利用のコンピュータはDOS/V機でECPコントローラチップが搭載されていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

②

- **ご利用のコンピュータでDMA転送が可能ですか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

*1 BIOS(バイオス)：(Basic Input/ Output System) コンピュータの基本的な動作を命令するプログラム。

③

- **BIOS[*1] セットアップでパラレルポートの設定が「ECP」または「ENHANCED」になっていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただきBIOSの設定をしてください。BIOS 設定は、MC-2000 プリンタドライバを一度削除してから行ってください。設定後再度プリンタドライバをインストールしてください。
  ☞本書「ドライバの削除」71 ページ

④

- **パラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？**
  USBインターフェイスケーブルでは、DMA 転送機能はご利用いただけません。

DMA 転送の設定（Windows95/98）

ポイント

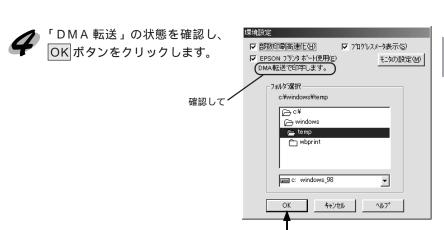
- **お使いのコンピュータに ECP コントローラチップが搭載されているかどうか、またDMA転送が可能かどうかは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。**
- **PC-9800/9821 シリーズのコンピュータは、ご利用になれません。**

※以下の説明では、Windows98 の画面を使用しています。

画面左下の スタート ボタンをクリックし、[設定]にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。

MC-2000を右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

[ユーティリティ]タブをクリックし、 環境設定 ボタンをクリックします。

4 **「DMA 転送」の状態を確認し、OK ボタンをクリックします。**

「DMA 転送で印字します」	すでにDMA転送が設定されています。OK ボタンをクリックして設定を終了してください。
「DMA 転送の設定を行うと、より高速な出力が可能になります。」	次のステップに進みます。
「何も表示されない場合」	DMA 転送できません。

- **上記ステップで何も表示されない場合、コンピュータのBIOS設定でパラレルポートを「ECP」または「ENHANCED」に設定すると、「DMA転送」による印字が可能になる場合があります。各コンピュータメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせの上、BIOSのパラレルポート設定を行ってください。**
- **BIOSのパラレルポート設定を行う場合は、MC-2000のプリンタドライバを削除してから設定し、再度プリンタドライバをインストールしてください。**
  ☞本書「ドライバの削除」71 ページ

5 **画面左上の［マイコンピュータ］を右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。**

6 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

Win

[ポート（COM&LPT)] アイコンをダブルクリックし、MC-2000が接続されているポートをダブルクリックします。

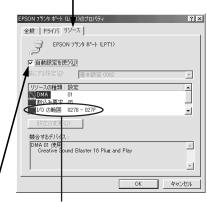
プリンタの接続先を変更していない場合は、[LPT1] を選択します。

①ダブルクリックして

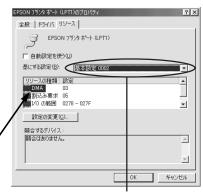
②ダブルクリックします

[リソース] のタブをクリックし、[自動設定を使う] のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

自動設定時に設定されているI/Oポートアドレスが、次のステップで必要になります。メモ用紙などに控えておいてください。

①クリックして

②クリックします　メモしてください

「基にする設定」または「設定の登録名」のリストボックスの中から、自動設定時に設定されていたI/Oポートアドレスが変更されずに「DMA」「IRQ」(割込み要求）の設定が表示される基本設定を探します。

②画面表示を確認します

①リストボックスの中から選択します

OK ボタンをクリックします。

これで、データの転送方法が「DMA 転送」に変更されました。

ポイント

- **BIOS の設定を変更した場合は、プリンタドライバを削除した後、再度インストールしてください。**
- **一部のコンピュータでは、上記の設定をしたにもかかわらず、DMA転送がご利用になれない場合があります。この場合は、お使いのコンピュータのメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせください。**

DMA 転送の設定（WindowsNT4.0）

Win

WindowsNT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポートの設定を「ECP」モードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールすることにより DMA 転送をご利用いただくことができます。
本機のプリンタドライバをインストールすると、自動的にDMA転送が設定されます。DMA 転送を使用しない場合は、以下の手順に従ってください。

ポイント

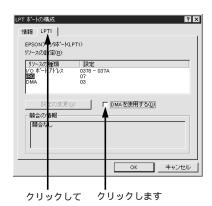
- **BIOS の設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。**
- **お使いのコンピュータに ECP コントローラチップが搭載されているかどうか、また、DMA 転送が可能かどうかはご利用のコンピュータメーカーにお問い合わせください。**
- **PC-9800/9821 シリーズのコンピュータはご利用になれません。**

DMA 転送を使用しない場合の設定方法

画面左下の スタート ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ [プリンタ] をクリックします。

MC-2000アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

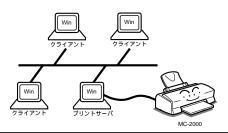
「ポート」のタブをクリックし、ポートの構成 ボタンをクリックします。

［LPT1］のタブをクリックします。
［DMA を使用する］のチェックボックスをクリックしてチェック（✔印）を外すと、DMA 転送を行いません。

ポイント

拡張スロットに LPT が装着されている場合のみ、LPT2、LPT3 が表示されます。
LPT2、LPT3 の構成情報には、拡張ボードで設定されている I/O アドレスが表示されます。IRQ、DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。
設定方法は、［リソースの設定］の［IRQ］［DMA］をダブルクリックするか、［IRQ］［DMA］をクリックして、設定の変更ボタンをクリックして設定してください。

ネットワーク上でプリンタを共有するには

Windows をご利用の場合、ネットワーク環境下において、Windows の機能を使用することで本機をネットワークプリンタ（共有プリンタ）としてお使いいただくことができます。
このように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタを共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。

ポイント

- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。
- 以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築され、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にある場合です。
- プリントサーバー、クライアントに MC-2000 のプリンタドライバをインストールしてください。

プリントサーバ側の設定（Windows95/98）

ピアトゥピア接続では、共有するプリンタを接続するコンピュータがサーバ[*1]の役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

*1 サーバ：ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能をもつハードウェアやソフトウェア。（クライアント=サービスを受ける側のコンピュータ。）

画面左下の スタート ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ、[コントロールパネル] をクリックします。

[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

ファイルとプリンタの共有 ボタンをクリックします。

[プリンタを共有できるようにする]のチェックボックスをチェックし、OKボタンをクリックします。

ネットワークの設定画面でOKボタンをクリックします。

ポイント

- Windows の CD-ROM を要求する画面が表示された場合は、Windows の CD-ROM をコンピュータにセットし、OKボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、6の手順から設定してください。

コントロールパネルで[プリンタ]アイコンをダブルクリックします。

[MC-2000]アイコンを右クリックし、表示されたメニュー内の[共有]をクリックします。

[共有する]をクリックして、必要に応じて各項目を入力し、OKボタンをクリックします。
これでプリントサーバ側の設定は終了です。

ポイント

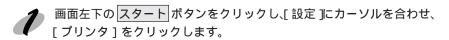
エラーが発生する場合がありますので、共有名には□(スペース)や-(ハイフン)を使用しないでください。
× MC□2000、MC-2000
○ MC_2000、MC2000 など

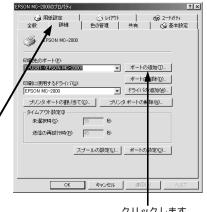
クライアント側の設定（Windows95/98）

Win

ここでは、共有するプリンタを利用するコンピュータをクライアントと呼びます。

1 画面左下の スタート ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。

2 [MC-2000] アイコンを右クリックし、表示されたメニューの [プロパティ] をクリックします。

①右クリックして　②クリックします

3 [詳細] タブをクリックして、 ポートの追加 ボタンをクリックします。

①クリックして　②クリックします

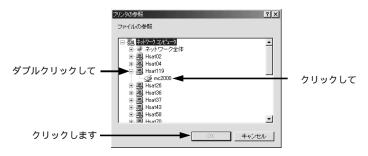
[ネットワーク] のラジオボタンを選択してから、 参照 ボタンをクリックします。

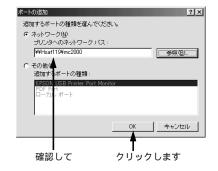
ご利用の環境のネットワーク構成図が表示されます。

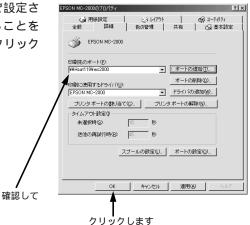
①選択して　②クリックします

Win

共有するMC-2000を接続しているコンピュータをダブルクリックし、[mc2000]をクリックして、OKボタンをクリックします。

プリントサーバ側の設定で共有名をmc2000以外に設定している場合があります。プリントサーバ側の設定を確認してください。

6 **OKボタンをクリックします。**

[プリンタへのネットワークパス]の欄に[¥¥共有プリンタを接続しているコンピュータ名(プリントサーバ)¥共有プリンタ名]が入力されます。

7 **[印刷先のポート]が6で設定されたポートになっていることを確認して、OKボタンをクリックします。**

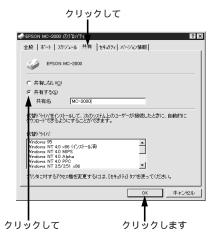
以上で設定は終了です。

プリントサーバ側の設定（WindowsNT4.0/2000）

ピアトゥピア接続では、共有するプリンタを接続するコンピュータがサーバの役割をします。ここではそのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

画面左下の スタート ボタンをクリックし、[設定]にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。

[MC-2000]アイコンを右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。

[共有] のタブをクリックしてから、[共有する] をクリックし、OK ボタンをクリックします。
必要に応じて共有名を入力してください。
これで、プリントサーバ側の設定は終了です。

ポイント

WindowsNT4.0/2000の場合、[代替ドライバ] のリストボックスは選択しないでください。

クライアント側の設定（WindowsNT4.0/2000）

Win

以降の手順は、ローカルマシンの管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログオンする必要があります。

1 画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

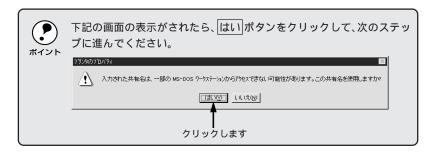
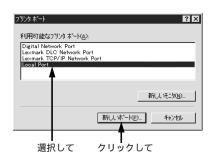
2 ［MC-2000］アイコンを右クリックして、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして、［ポートの追加］ボタンをクリックします。

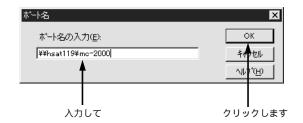
①クリックして

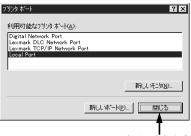
②クリックします

4 ［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

①選択して　②クリックして

プリンタを共有しているコンピュータ名と共有されているプリンタの共有名を、以下の書式で入力し、OK ボタンをクリックします。
すべての文字は半角文字で入力します。書式や名称が正しくないと次のステップに進めません。

￥￥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名￥共有プリンタ名

①入力して　②クリックします

WindowsNT4.0では［ネットワークコンピュータ］アイコンをダブルクリックして開くとコンピュータ名を確認することができます。Windows 2000では［マイネットワーク］をダブルクリックし、さらに［近くのコンピュータ］をダブルクリックするとコンピュータ名を確認することができます。各コンピュータのアイコンにつけられている名前がコンピュータ名です。目的のコンピュータ名のアイコンをダブルクリックして開くと共有プリンタ名を確認することができます。ダブルクリックして開いた画面内のプリンタアイコンにつけられている名称が共有プリンタ名です。

閉じる ボタンをクリックします。

クリックします

「印刷するポート」の一覧に設定した名前が表示され、チェックボックスがチェックされていることを確認して、OK ボタンをクリックします。
以上でクライアント側の設定は終了です。

①確認して　②クリックして

プリンタ接続先の設定

Win

*1 ポート：プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタやソケット。

プリンタを接続しているコンピュータ側のポート[*1]を変更します。ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。
Windows98/2000をご利用の場合、USBケーブルとパラレルインターフェイスケーブルでは印刷先のポートが異なります。接続ケーブルに応じて印刷先のポートを変更してください。

ポイント

- **プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能設定を確認してください。**
- **ここで設定した内容が、アプリケーションソフトなどからプリンタドライバの設定画面を開いた場合の初期設定値になります。**

画面左下の スタート ボタンをクリックし、[設定]にカーソルを合わせ、[プリンタ]をクリックします。

[MC-2000]アイコンを右クリックし、表示されたメニュー内の[プロパティ]をクリックします。

[詳細]のタブをクリックし、設定を変更して OK ボタンをクリックします。
各項目の詳細については次ページ以降をご覧ください。これで接続先の設定は終了です。

Win

①印刷先のポート

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。パラレルインターフェイスケーブルをコンピュータのプリンタポートに接続した場合は、LPT1のままでお使いください。

PRN　：EPSON PCシリーズ/NEC PC-9800シリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。このPRNが表示されない場合はLPT1を選択します。

LPT　：プリンタポートです。DOS/Vシリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中のLPT1を選択します。

EPUSB：Windows98をご利用で本機をUSBケーブルで接続した場合に選択します。

FILE　：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

②ポートの追加

新しいポートやネットワークパスを指定するときにクリックします。

③ポートの削除

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

④印刷に使用するドライバ

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種が選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

⑤ドライバの追加

プリンタドライバを、追加するときにクリックします。

⑥プリンタポートの割り当て

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

⑦プリンタポートの解除

ネットワークドライブに割り当てたポートを削除するときにクリックします。

⑧タイムアウト設定

タイムアウトの［未選択時］、［送信の再試行時］の時間を設定します。

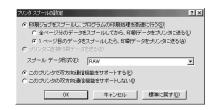
未選択時　：プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。ここで指定した時間を経過してもプリンタが印刷できる状態にならないと、エラーが表示されます。

送信の再試行時：プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。ここで指定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。

- **ポートによってはこのタイムアウト時間は変更できません。**
- **通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合やネットワークなど複数のコンピュータで共有している場合、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に［送信の再試行時］を長く設定してください。**

*1 スプール：プリンタ出力などで印刷データを一時的にディスクに保存してからプリンタに送信する出力の手法。

⑨スプール[*1]の設定

印刷データのスプール方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。

印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う：
印刷データのスプール方法には2つの方法がありますが、どちらを選択しても、印刷速度は変わりません。
プリンタに直接印刷データを送る：
印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。
スプールデータ形式：
通常は変更しないでください。
このプリンタで双方向通信機能をサポートする：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように指定します。
本プリンタに添付のEPSONプリンタウィンドウ!3は、双方向通信機能により動作可能なユーティリティのため、使用する際は必ず「サポートする」をクリックしてください。
このプリンタで双方向通信機能をサポートしない：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように指定します。

⑩ ポートの設定

通常は設定を変更する必要はありません。
MS-DOSの印刷ジョブをスプール：
MS-DOS アプリケーションソフトの印刷データを Windows にてスプールします。
印刷前にポートの状態をチェック：
印刷先のポートが印刷可能な状態かどうかを、印刷を行う前にチェックします。

第 4 章

Macintosh での印刷

MC-2000 Macintosh

ここでは、Macintosh で印刷する場合の手順や、プリンタドライバの詳細な内容などについて説明しています。

印刷までの流れ

Mac

セレクタで MC-2000 を選択します

1

☞セットアップガイド「❹プリンタドライバをインストールします！（Macintosh）」

ポイント

MacintoshとプリンタをUSBケーブルで接続している場合は、セレクタの画面を開く前にプリンタの 電源 スイッチをオンにしてください。

用紙を設定して印刷データを作成します

2

アプリケーションソフトを起動してから用紙サイズを設定します。その後、印刷データを作成します。

☞本書「用紙設定の手順」91 ページ

プリンタの電源をオンにして用紙をセットします

3

☞本書「スイッチとランプについて」6 ページ
☞本書「さまざまな用紙への印刷」9 ページ

プリンタドライバで印刷条件を設定します

4

☞本書「印刷設定の手順」92 ページ
☞本書「高度な印刷設定について」102 ページ
☞本書「便利な印刷機能について」109 ページ

印刷を実行します

5

☞本書「バックグラウンドプリントについて」117ページ
☞本書「印刷の中止方法」119 ページ

印刷の設定と実行

ここでは、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されている「はじめにお読みください」というファイルを開いてから印刷を実行するまでの手順をもとに、基本的な印刷の方法について説明します。

用紙設定の手順

実際に印刷する前に、プリンタドライバで印刷方向や拡大/縮小率の設定をします。新規に印刷データを作成する場合は、データを作成する前に用紙サイズを設定します。

- **アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。**
- **普通紙・専用紙などの用紙種類は、印刷する前に印刷ダイアログで設定しますので、ここで設定する必要はありません。**

セレクタで、MC-2000は選択されていますか？選択されていない場合は、セレクタを開いてMC-2000を選択してください。
☞セットアップガイド「④プリンタドライバをインストールします」

プリンタの 電源 スイッチをオンにして、Macintoshを起動します。

EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをMacintoshにセットします。

［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックして開き、「はじめにお読みください」アイコンをダブルクリックします。

［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタ設定］など）を選択します。

各項目を設定します。

ここでは用紙サイズが［A4］、印刷方向が［縦］に設定されていることを確認します。各項目については、以下のページを参照するか、? ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。

☞本書「用紙設定ダイアログ」95 ページ

OK ボタンをクリックして、用紙設定ダイアログを閉じます。

次に、用紙種類などの設定をして、印刷を実行します。引き続き、以降の手順へお進みください。

印刷設定の手順

> **アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。**

［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

各項目の内容は以下のページを参照するか、? ボタンをクリックしてください。

☞本書「印刷ダイアログ」98 ページ

［印刷］ダイアログ内の各項目を設定します。

ここでは試し印刷に向いた設定にします。用紙種類が［普通紙］、インクが［カラー］、モード設定が［推奨設定-速い］であることを確認します。

94 ページへ続きます。

Mac

ポイント 通常は、用紙種類と用紙サイズを設定するだけで十分な品質の印刷結果を得ることができますが、さらに印刷品質を向上させる方法として、以下の3つの設定方法があります。

方法 1. 印刷品質を向上させるには

用紙種類	プリンタにセットした専用紙
インク	カラー
モード設定	推奨設定ーきれい

- **印刷する用紙を「MC 光沢紙」などの専用紙にします。**
  本書「用紙について」10 ページ
- **用紙の種類によっては「きれい/速い」の選択ができないことがあります。**

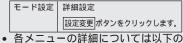
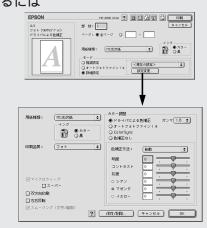
方法 2. 用途に合わせたプリセットメニューで印刷するには

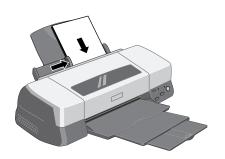
用紙種類	プリンタにセットした用紙
インク	カラー
モード設定	オートフォトファイン!4/ 詳細設定 ポップアップメニューから 選択します。

- **各メニューの詳細については以下のページを参照してください。**
  本書「印刷ダイアログ」98 ページ
- **詳細設定では、用紙種類により、選択できるプリセットメニュー[*1]が異なります。**

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている、用途別の選択肢。ポップアップメニューの中に、一覧で表示される。

方法 3. 独自に調整して印刷するには

モード設定	詳細設定 設定変更 ボタンをクリックします。

- **各メニューの詳細については以下のページを参照してください。**
  本書「詳細設定ダイアログ」104 ページ

Mac

A4サイズの普通紙を6枚以上セットします。

[印刷]ボタンをクリックして、印刷を実行します。

セレクタで「バックグラウンドプリント」を［入］に設定していた場合は、画面上にEPSON Monitor3の画面が表示され、印刷が始まります。

☞本書「バックグラウンドプリントについて」117ページ

電源ランプの点滅が点灯に変わり、プリンタの動作音がしなくなれば印刷は終了です。

ポイント

正常に印刷できなかった場合は、お問い合わせいただく前に以下のページを参照してください。

☞本書「困ったときにお読みください」175ページ

用紙設定ダイアログ

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをポップアップメニュー[*1]の中から選択します。メニュー以外の用紙サイズを使用する場合は、⑧の中の カスタム用紙 ... ボタンをクリックして用紙サイズを登録してください。

*1 ポップアップメニュー：枠内をクリックすることにより、複数の選択肢が表示されるメニュー。

ポイント

プリンタにセットした用紙サイズよりも大きな用紙サイズのデータを印刷する場合は、必ずプリンタにセットした用紙に合うように縮小して印刷してください。
縮小せずに印刷を行うと、プリンタ内部がインクで汚れます。
☞本書「自動的に拡大 / 縮小して印刷するには」109 ページ

②給紙装置

給紙方法を選択します。

オートシートフィーダ / オートシートフィーダ（左右余白無し）：
定形紙に印刷する場合に選択します。
ロール紙 / ロール紙（左右余白無し）：
ロール紙に印刷する場合に選択します。

「左右余白無し」を選択すると、左右余白を 0mm で印刷します。

③印刷方向

用紙の挿入方向に対する印刷方向を選択します。ボタンをクリックすると印刷データを 90 度回転させて印刷します。

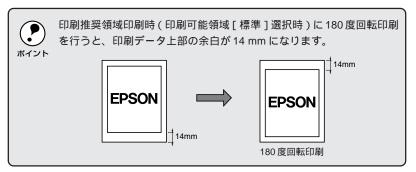
④180 度回転印刷

印刷実行時に 180 度回転して印刷します。

ポイント

印刷推奨領域印刷時（印刷可能領域［標準］選択時）に 180 度回転印刷を行うと、印刷データ上部の余白が 14 mm になります。

180 度回転印刷

Mac

⑤拡大 / 縮小率

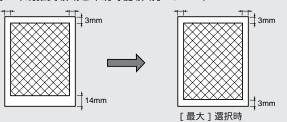
印刷するときの拡大 / 縮小率を 25 ～ 400% まで 1% 単位で設定できます。ただし、特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては、拡大 / 縮小の設定範囲が変わることがあります。

⑥印刷可能領域

印刷する領域（位置）を選択します。

標準　　　　：左上を起点にして、印刷推奨領域に印刷します。
最大　　　　：左上を起点にして、印刷可能領域に印刷します。
センタリング：上下左右の余白を均等にして印刷します。

ポイント

- **通常、本プリンタは紙送りの機構上、印刷データの下部に余白が必要です。印刷可能領域の［最大］を選択することで 14mm の余白を 3mm にして印刷することができます。ただし、用紙の下部において印刷品質が低下することがあります。**
  ☞本書「印刷推奨領域と印刷可能領域」13 ページ

［最大］選択時

- **MC写真用紙〈半光沢〉、MC画材用紙、封筒に印刷する場合は、［最大］を選択しないでください。［最大］を選択して印刷すると、用紙の下端が汚れる場合があります。**

⑦ロール紙オプション

②の給紙装置で［ロール紙］または、［ロール紙（左右余白無し）］を選択すると有効になります。

☞本書 「ロール紙への印刷」24 ページ

長尺　　　　：［ロール紙節約］の項目を選択可能にします。
定形　　　　：［ページ枠印刷］の項目を選択可能にします。
ロール紙節約：データの最後に余白部分がある場合に、余白部分の印刷を少なくします。データの最後の余白が不必要な場合に選択してください。
ページ枠印刷：印刷データが複数ページに渡る場合や複数部印刷する場合などに、ページを区切るための線を印刷します。ページごとの色調が同一なため、ページの区切りが不明な場合などに選択すると、後で切り取る際に便利です。

⑧各種ボタン

OK	：変更した設定を有効にして設定を終了するボタンです。
キャンセル	：変更した設定を無効にして設定を終了するボタンです。
印刷設定 ...	：印刷オプションが設定できます。印刷する直前に印刷ダイアログでも同様の項目が設定できます。 ☞本書「印刷ダイアログ」98 ページ
カスタム用紙 ...	：このボタンをクリックすると、用紙サイズ登録ダイアログが表示され、用紙サイズを登録できます。詳しくは下記の「用紙サイズの登録 / 変更」を参照してください。
?	：ヘルプ情報を表示するボタンです。
(ユーティリティボタン)	：各種ユーティリティを実行するユーティリティダイアログを表示するボタンです。 ☞本書「ユーティリティの使い方」125 ページ

Mac

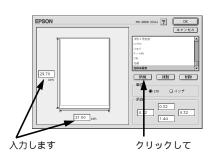
用紙サイズの登録 / 変更

用紙サイズ登録ダイアログでは、新しい用紙サイズを登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

用紙設定ダイアログの カスタム用紙 ... ボタンをクリックします。

新規 ボタンをクリックしてから用紙のサイズを入力します。

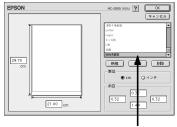
以前に登録した内容を変更するときは、右側のリストの用紙サイズ名をクリックします。

ポイント

- **すでに登録されている用紙サイズを複製したい場合は、右側のリストから用紙サイズを選択し、複製 ボタンをクリックしてください。**
- **用紙サイズ名を指定してから 削除 ボタンをクリックすると、その用紙サイズを削除することができます。**
- **ここでは、印刷推奨領域での余白の設定もできます。余白の入力欄に直接入力するか、左側のプレビュー部でグレーのラインをドラッグしたまま移動して設定します。**
- **指定できるサイズの範囲は次の通りです。**
  用紙幅 : 8.89 ～ 55.88cm（3.5 ～ 22.00 インチ）
  用紙長 : 8.89 ～ 111.76cm（3.5 ～ 44.00 インチ）

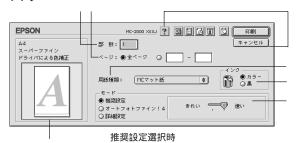
リスト内の［名称未設定］をダブルクリックし、登録したい用紙サイズ名を入力します。

OK ボタンをクリックして画面を閉じると、登録は終了です。

ダブルクリックし、入力します

ポイント

- **A3ノビを超える幅の用紙サイズを指定する場合は、印刷を実行する前にプリンタドライバで縮小率を設定するか、またはフィットページ機能を使用してください。**
  ☞本書「用紙設定ダイアログ」95 ページ
  ☞本書「自動的に拡大 / 縮小して印刷するには」109 ページ
- **登録できる用紙サイズは 100 までです。**

印刷ダイアログ

推奨設定選択時

①部数

印刷する部数を直接入力して指定します。

②ページ

印刷ページを指定します。［全ページ］を選択すると、文書の全ページを印刷します。印刷するページを指定するときは、右側のラジオボタンをクリックしてページ指定ボックスに指定ページを入力します。

③用紙種類

印刷する用紙の種類をポップアップメニューの中から選択します。

④インク

インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。

Mac

⑤ モード設定

[推奨設定]

用紙種類、インクを設定するだけで自動的に最適な設定で印刷します。
用紙種類によっては、きれい / 速いを選択できないものもあります。
　きれい：印刷品質を重視した設定で印刷します。
　速い　：印刷速度を重視した設定で印刷します。

[オートフォトファイン!4]

ビデオ、デジタルカメラ、スキャナなどから取り込んだ画像や PhotoCD データなどを自動的に補正して印刷します。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正を加え、高画質化して印刷します。
[詳細設定]では、さらに詳細な設定を行うことができます。

ポップアップメニュー

　標準　　　　　　：EPSON 標準の色調にして印刷します。
　人物　　　　　　：人物が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷します。
　風景　　　　　　：風景が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷します。
　ソフトフォーカス：画像が柔らかいタッチになるような補正を加えて印刷します。
　セピア　　　　　：画像をセピア調にして印刷します。
デジタルカメラ用補正
　　　　　　　　　：デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正を加えて印刷します。

[詳細設定]

印刷の設定を手動で行います。[詳細設定]をクリックして選択すると、プリセットメニュー[*1]のポップアップメニューと 設定変更 ボタンが有効になります。

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている、用途別の選択肢。ポップアップメニューの中に、一覧で表示される。

Mac

プリセットメニュー
用途に合わせてポップアップメニューの中から選択します。
③で設定した[用紙の種類]により、選択できるメニューが異なります。

ワープロ / グラフ ：ワープロなどで作成したカラーのデータを印刷する場合に選択します。
エコノミー ：印刷品質にこだわらない場合に選択します。普通紙でのみ選択できます。
ColorSync ：ColorSyncを使用して画面上の表示に最も近い色で印刷します。

設定変更 ボタン
[詳細設定]ダイアログを開くボタンです。高度な印刷設定は、このダイアログで行います。
☞本書 「高度な印刷設定について」102 ページ

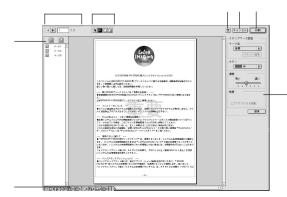
⑥各種ボタン

印刷 ：設定した内容で印刷を開始するボタンです。
キャンセル ：設定した内容を無効にして、印刷を中止するボタンです。
：印刷 ボタンの表示を プレビュー ボタンに切り替えます。プレビュー ボタンをクリックすると印刷イメージを表示するプレビューダイアログを開きます。ボタンをクリックすると プレビュー ボタンが ファイル保存 ボタンに切り替わります。ファイル保存 ボタンをクリックすると印刷データをファイルとして保存することができます。保存したファイルは、ダブルクリックするだけでアプリケーションソフトを起動することなく印刷することができます。ボタンをクリックすると 印刷 ボタンに戻ります。
☞本書「プレビューダイアログ」次ページ
：クリックするとEPSON プリンタウィンドウが起動します。インクの残量などを確認することができます。
☞本書「EPSON プリンタウィンドウ」133 ページ
：クリックするとバックグラウンドプリントなどを設定するダイアログを表示します。バックグラウンドプリントについては以下のページを参照してください。
☞本書「バックグラウンドプリントについて」117 ページ
：スタンプマーク印刷や割り付け印刷をするためのレイアウトダイアログを開くボタンです。
：「EPSON プリンタウィンドウ」や「ヘッドクリーニング」などの各種ユーティリティを実行するためのダイアログを表示するボタンです。
☞本書「ユーティリティの使い方」125 ページ
：ヘルプ情報を表示するボタンです。

⑦現在の設定

現在設定されている内容が確認できます。

プレビューダイアログ

Mac

① ：印刷するページ/印刷しないページを切り替えることができます。対象のページをクリックして選択してから ボタンをクリックして印刷するしないを設定します。

② 1 / 1：表示するページを切り替えます。三角のボタンをクリックするか入力欄に直接入力します。

③ ：スタンプマークを移動したり回転させる（単語のみ）場合にクリックしてください。

④ ：表示している画像の拡大/縮小表示ができます。拡大する場合は、ボタンをクリックしてから拡大したいところへカーソルを移動させクリックします。
縮小したい場合は、[option]キーを押しながらプレビュー画面をクリックします。

⑤ ：印刷データの余白境界線をグレーのラインで示します。実際の印刷結果には印刷されません。もう一度クリックすると表示は消えます。

⑥ ：印刷データにスタンプマークを印刷するためのメニュー⑪を開きます。
☞本書「スタンプマークを印刷するには」110ページ

⑦ ：ヘルプ情報を表示するボタンです。

⑧ キャンセル ：設定した内容を無効にして、印刷を中止するボタンです。

⑨ 印刷 ：設定した内容で印刷を開始するボタンです。

⑩ ：印刷データ（1ページ単位）の全体を表示します。
：印刷結果と同等のサイズで表示します。
：印刷データを拡大して表示します。

⑪スタンプマーク印刷メニュー
：スタンプマークを印刷するためのメニューです。復帰ボタンをクリックすると、スタンプマークの設定を無効にして、プレビュー画面を開いた直後の状態に戻します。各設定項目については、以下を参照してください。
☞本書「スタンプマークを印刷するには」110ページ

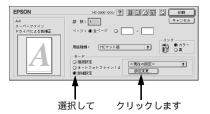
高度な印刷設定について

ここでは、高度な印刷設定（詳細設定）の設定方法や設定項目について説明します。

設定の手順

［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

「モード設定」で［詳細設定］を選択し、設定変更...ボタンをクリックします。

詳細設定ダイアログが開きます。

ダイアログ内の各項目を設定します。

各項目の内容は以下のページを参照するか、ヘルプボタンをクリックしてください。

☞本書「詳細設定ダイアログ」104 ページ

設定内容を保存する場合は、保存 / 削除ボタンをクリックします。

表示されたダイアログに、任意の名称を入力します。

- **以前保存した設定名を選択して、削除ボタンをクリックすると、登録されている設定名を削除することができます。**
- **最大 10 個の設定を保存できます。**

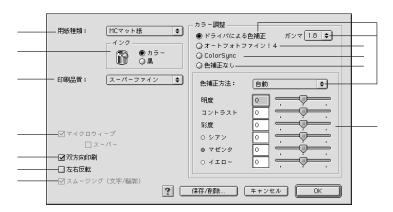
登録ボタンをクリックします。

Mac

ここで保存した内容は、印刷ダイアログで［詳細設定］を指定したときに、ポップアップメニューから呼び出すことができるようになります。

OKボタンをクリックします。

印刷ボタンをクリックして印刷を実行します。

詳細設定ダイアログ

ダイアログ内の各項目は、「用紙種類」「印刷品質」などの組み合わせで選択できる項目が変わります。

①用紙種類

印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。

②インク

インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。

③印刷品質

印刷の品質を、ポップアップメニューの中から選択します。

ドラフト：インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。レイアウト確認などの試し印刷に向いています。普通紙でのみ選択できます。

ファイン：印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスがとれた印刷を行います。普通紙でのみ選択できます。

スーパーファイン：印刷時間は多少かかりますが、高品質な印刷結果が得られます。専用紙でのご使用をお勧めします。

フォト：印刷時間は多少かかりますが、マルチサイズドット[*1]機能を使用して、さらに美しい写真品質の印刷を行います。MC写真用紙〈半光沢〉、MC光沢紙選択時に［フォト］を選択すると、マイクロウィーブのスーパーのチェックボックスが有効になります。

*1 マルチサイズドット：ヘッドから吐出するインクの量を大中小と3タイプに吹き分けることによって印刷ムラのない美しい出力を可能にしたエプソン独自の機能。

Mac

④ マイクロウィーブ

行ごとのムラを少なくし､より高品質なグラフィックスイメージを表現できる機能です｡

スーパー：フォト印刷時に設定できます｡チェックボックスをチェックすると､ムラのない写真品質の印刷結果が得られますが､印刷時間は長くなります｡

⑤ 双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので､より高速に印刷できます｡ただし､印刷品質が多少低下する場合があります｡

⑥ 左右反転

左右を反転させて印刷する場合は､このチェックボックスをチェックします｡

⑦ スムージング（文字/輪郭）

テキストデータや線画の輪郭を､なめらかに印刷します｡印刷時間は多少長くなります｡

⑧ ドライバによる色補正

次の「色補正方法」の設定に従い､印刷するデータの色バランスを整えます｡

自動：文書内のオブジェクト[*1]に対して最適な色処理をします｡通常はこの設定でご使用ください｡

自然な色あい：より自然な発色状態になるように色処理します｡

あざやかな色あい：彩度（あざやかさ）を上げ､色味を強くする処理をします｡

*1 オブジェクト：対象物｡ここでは､色補正を行う際に対象となるものを指している｡

ガンマ

1.5 ：ガンマ値 1.8 に比べ柔らかい感じの画像を印刷します｡

1.8 ：通常はこの設定で印刷してください｡ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます｡

2.2 ：sRGB対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください｡

Mac

⑨オートフォトファイン!4（カラー印刷の場合のみ）

ビデオ、デジタルカメラ、スキャナなどから取り込んだ画像やPhotoCDのデータなどを自動的に補正して印刷します。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正を加え、高画質化して印刷します。［オートフォトファイン!4］をクリックしてチェックすると、ポップアップメニューが有効になります。

色調　：印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。

効果　：印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。

デジタルカメラ用補正
：デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

ポイント

- **画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。**
- **オートフォトファイン!4は1677万色（32bit）の色情報を持った画像データに対して、最も有効に機能します。256色などの少ない色情報の画像データには、有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。**
- **EPSON製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン!4は使用しないでください。**

⑩ ColorSync

ColorSync によるカラーマッチングを行います。
［プロファイル］と［マッチング方法］を選択します。
［プロファイル］のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。通常は、［EPSON 標準］を選択してください。

EPSON 標準　：本機からの印刷用に最適化されたプロファイルです。

その他　：通常は選択することができません。アプリケーションソフトなどによってはプロファイルが添付されているものがあり、それらをインストールした場合にのみ、選択可能となります。
通常の印刷では［EPSON標準］以外を選択する必要はありません。

［マッチング方法］のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。

自然な色あい　：より自然な発色状態になるように処理をします。写真などの印刷に適しています。

あざやかな色あい：画面の彩度（鮮やかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。グラフや図表などの印刷に適しています。

特定色マッチ　：特定色（例えばコーポレートカラーなど）を印刷する際に選択します。それぞれの特定色が、できる限り正しく印刷されるような色処理を行います。

- **［ColorSync］の設定は、カラー印刷の場合にのみ選択できます。**
- **ColorSync についての詳細は、以下のページを参照してください。**
  ☞本書「ColorSync について」115 ページ

*1 プロファイル：各機種固有の色情報が記された色補正用データ。

Mac

⑪色補正なし

ドライバでは色補正を行いません。ColorSync用プロファイル*1を作成する際の基準色を印刷する場合や、アプリケーションソフト上で色合わせの設定をして印刷する場合に選択します。通常は選択しないでください。

⑫各スライドバーについて

明度　：画像全体の明るさをバーで調整します。標準を0として、－25～＋25%の間で、マイナス〈－〉方向には暗く、プラス〈＋〉方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。

コントラスト：画像の明暗比をバーで調整します。標準を0として、－25～＋25%の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度　：画像の彩度（色の鮮やかさ）をバーで調整できます。標準を0として、－25～＋25%の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。

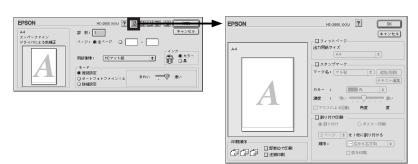
シアン / マゼンタ / イエロー

：それぞれの強さだけをバーで調整できます。
標準を0として、－25～＋25%の間で調整します。
［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。

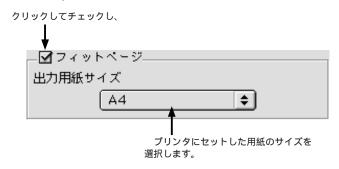
コントラスト	<－> ← 0 → <＋>	
シアン	赤みを強くします。	青緑（シアン）を強くします。
マゼンタ	緑色を強くします。	赤紫（マゼンタ）を強くします。
イエロー	青色を強くします。	黄色（イエロー）を強くします。

便利な印刷機能について

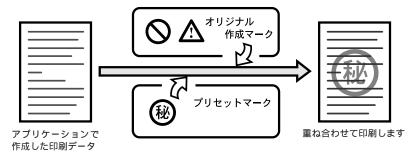
ここでは［レイアウト］ダイアログで設定する便利な印刷機能について説明します。レイアウトダイアログは印刷ダイアログの ボタンをクリックすると開きます。

ポイント　**ロール紙への印刷時は使用できません。**

自動的に拡大 / 縮小して印刷するには

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小して印刷します。印刷倍率は用紙設定ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。

ポイント

- **印刷倍率を手動で設定するときは、用紙設定ダイアログで設定してください。**
- **印刷データの印刷領域が本機の印刷可能領域を超える、または同等の場合、レイアウトが変わることがあります。**
  本書「印刷推奨領域と印刷可能領域」13 ページ

スタンプマークを印刷するには

印刷データに「㊙」などのイメージを重ね合せて印刷することができます。

スタンプマークを印刷するには、ポップアップメニューから印刷するスタンプマークを選択します。

①マーク名　：印刷したいマークをポップアップメニューから選択します。
追加 / 削除 ボタンをクリックすると、オリジナルマークや任意の文章を登録または削除できます。
☞本書「オリジナルマークの登録方法」次ページ

②カラー　：マークの印刷色が選択できます。ただし、新規に登録したマークの色指定はできません。

③濃度　：印刷する際のマークの濃さを調整できます。

④マウスによる回転　：追加 / 削除 ボタンをクリックして任意の単語（[テキスト]）を登録した後、マーク名に登録した単語を選択すると有効になります。入力欄に数値を入力するとマークの角度調整をすることができます。

⑤テキスト編集　：追加 / 削除 ボタンをクリックして任意の単語（[テキスト]）を登録した後、マーク名に登録した単語を選択すると有効になります。登録した任意の単語を編集することができます。

ポイント

ダイアログ上に表示されているスタンプマークにカーソルを移動し、カーソルがマークに変わる所でドラッグ[*1]するとスタンプマークの移動と拡大/縮小ができます。
：スタンプマークを移動できます。
：スタンプマークを拡大 / 縮小できます。

*1 ドラッグ：
マウスのボタンをクリックすることにより対象となるアイコンやオブジェクトを掴み、マウスのボタンを押したままマウスを動かして、アイコンやオブジェクトを移動させること。

*1 PICT：
画像データを保存する際のファイル形式のひとつ。Macintoshでもっとも一般的に使用されている。

オリジナルマークの登録方法

プリセットマークの他にお好みの画像（PICT[*1]）や任意の単語を登録することもできます。最大登録数は画像、単語それぞれ10個です。

Mac

画像の登録方法

アプリケーションソフトでオリジナルデータを作成し、PICT形式で保存します。

ファイル形式にはBMP、TIFF、JPGなど多くのファイル形式があります。保存の際にPICTを選択して保存してください。

[レイアウト] ダイアログを開き、[スタンプマーク]のチェックボックスをチェックしてから追加/削除ボタンをクリックします。

ピクチャ追加ボタンをクリックします。

マークを保存したディレクトリを選択し、登録するマークを選択して開くボタンをクリックします。

OKボタンをクリックします。

これでオリジナルマークがポップアップメニューに加わりました。

ポイント

ユーザーマークのリストに表示されているマーク名をクリックすると、マーク名を変更することができます。

Mac

単語の登録方法

[レイアウト]ダイアログを開き、[スタンプマーク]のチェックボックスをチェックしてから 追加 / 削除 ボタンをクリックします。

テキスト追加 ボタンをクリックします。

登録したいテキストを入力し、使用するフォントや効果を選択して OK ボタンをクリックします。

この画面は、あとで[レイアウト]ダイアログの テキスト編集 ボタンをクリックすることでも開くことができます。

OK ボタンをクリックします。

これでオリジナルマークがポップアップメニューに加わりました。

ユーザーマークのリストに表示されているマーク名をクリックすると、マーク名を変更することができます。

印刷順序を設定するには

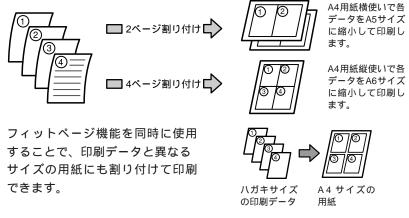
同じ印刷データを複数枚印刷する際の印刷順序を設定します。

①部単位で印刷　：1部ずつ設定した部数を印刷します。
②逆順印刷　　　：最終ページから印刷します。

1ページに複数ページのデータを印刷するには（割り付け）

2ページまたは4ページ分の連続した印刷データを縮小して、1ページにまとめて印刷できます。

● A4 サイズの印刷データを割り付け印刷する場合

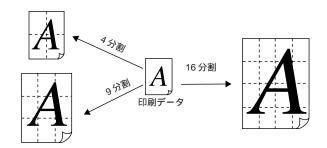
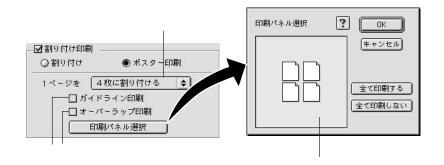
フィットページ機能を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。

①ページ数　：1ページに割り付けるページ数を設定します。
②順序　　　：割り付ける順序を選択します。
③枠　　　　：チェックボックスをチェックすると、割り付けたページに枠線を描きます。

ポイント

印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合があります。

Mac

A3 ノビサイズより大きな用紙に印刷するには（ポスター印刷）

ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大して、プリンタにセットした用紙に分割して印刷することのできる機能です。印刷したものをつなぎ合わせれば、大きなポスターやカレンダーも思いのままです。

①割り付けページ数	：データを何分割して印刷するかポップアップメニューの中から選択します。
②ガイドライン印刷	：余白部分を切り取る際のガイド線を自動的に印刷します。
③オーバーラップ印刷	：印刷結果をつなぎ合わせる際に部分的に用紙を重ねられるように、部分的に重複しています。
④印刷面の選択	：分割したページを印刷する / しないをクリックすることで選択できます。 全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、薄いグレーで表示されます。 印刷するページ分の用紙が必要です。

ColorSyncについて

本機のプリンタドライバは ColorSync に対応しています。

Mac

ColorSyncとは

スキャナ、ディスプレイ、プリンタの色の表現は、それぞれのメーカー・モデルごとに異なるため、原画とディスプレイ表示、および印刷結果の色を一致させることは非常に困難でした。
例えば、ディスプレイには赤っぽく表示するディスプレイもあれば、逆に青っぽく表示するディスプレイもあります。これに対してプリンタは、ディスプレイの表示色に合わせて印刷しているわけではないのでディスプレイ上に表示される色と、プリンタから印刷される色との間で食い違いが生じてしまうわけです。
これに対応して、機器間のカラーマッチング（色合わせ）を行い、原画とディスプレイ表示、および印刷結果を一致させるための方法の一つがColorSync と呼ばれるものです。

- **原画と印刷結果の色合わせを行うためには、画像入力機器・画像取り込みアプリケーションソフトがColorSyncに対応している必要があります。スキャナなどから画像を取り込む際に ColorSync の指定ができる場合は、指定してください。**
- **巻頭カラーページにカラーマッチングについての説明が記載してありますので、併せてご覧ください。**
  ☞巻頭カラーページ「より高度な色合わせについて」（12）ページ

ColorSyncを使用するときの準備作業

ColorSync を使用する場合は、以下の手順により、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。
以下はバージョン 2.6.1 の ColorSync を使用した場合の例です。バージョンによっては操作が異なります。

コントロールパネル内の［ColorSync］アイコンをダブルクリックします。

ColorSync

ダブルクリックします

ご使用のディスプレイタイプが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、［システム特性］のポップアップメニューから選択します。

Mac

ディスプレイタイプがポップアップメニューの中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合わせください。

以上で準備作業は終了です。

実際に ColorSync のカラーマッチングを使用して印刷をする場合は、プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログで［ColorSync］を選択して印刷を実行してください。
☞本書「詳細設定ダイアログ」104 ページ

- **ColorSyncを使用して色合わせを行う場合は、RGBの画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせを行うことができません。**
- **ColorSync を使用して印刷したにもかかわらず、ディスプレイ上の色合いと印刷結果が異なる場合は、次の理由が考えられます。**
  1）ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）が正しく行われていない。
  2）ディスプレイの経年変化（劣化）により、色表示にズレが生じている。
  このような場合は、巻頭カラーページのカラーマッチングについての記載を参照して、印刷した結果に合わせるようにディスプレイの調整（モニタキャリブレーション）を行ってください。
  ☞巻頭カラーページ「より高度な色合わせについて」（12）ページ
- **一部のアプリケーションソフトウェアでは、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます（Adobe PageMaker6.5J、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など）。ソフトウェア上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは［ColorSync］を選択せず、［色補正なし］を指定してください。**

バックグラウンドプリントについて

本機のプリンタドライバは印刷時にEPSON Monitor3を経由することで、印刷作業をバックグラウンドで行い、Macintoshを他の作業に使えるようにします。

バックグラウンドプリントを使用するには

バックグラウンドプリントの設定は、セレクタで「バックグラウンドプリント」を［入］にします。

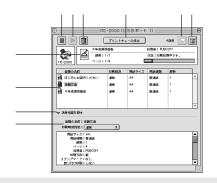
また印刷ダイアログからも、バックグラウンドプリントの設定をすることができます。

バックグラウンドプリントを行うと、Macintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷に時間がかかる場合があります。

EPSON Monitor3の機能

EPSON Monitor3は、バックグラウンドプリントのほかに、現在印刷している書類やこれから印刷される書類を確認したり、印刷を中止することができます。

EPSON Monitor3は、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択すると、ウインドウが前面に表示されます。印刷していないときは、機能拡張フォルダにある［EPSON Monitor3］アイコンをダブルクリックすることで開くことができます。

① ボタン

印刷中の書類、または印刷待ちの書類を保留状態にします。

② ボタン

保留状態を解除します。

③ ボタン

印刷中の書類、または印刷待ちの書類を削除します。

④プリントキューの開始 / 停止

すべての印刷を停止します。（印刷データは、Macintoshを終了してもすべて保持されます。）この場合、［プリントキューの開始］を選択することで、印刷が開始されます。

⑤ボタン

プリントヘッドのノズルをクリーニングします。印刷中は実行することはできません。

⑥ボタン

インク残量モニタを表示します。インク残量の確認をすることができます。

⑦状態表示部

印刷中の書類の名称や進行状況などを表示します。

⑧スプールファイルリスト

印刷待ちの書類を表示します。

⑨項目情報を隠す / 表示

項目情報（画面下部の表示）の表示 / 非表示を切り替えます。

⑩項目情報

状態表示部またはスプールファイルリストから選択した書類の名称やプリンタドライバの設定状況などを表示します。「印刷時刻指定」では、［至急］［通常］［保留］［印刷時刻指定］を選択でき、印刷の順番を指定することができます。

至急　：プリントキュー[*1]内の他の印刷データより優先して印刷します。
通常　：プリントキューに記憶された順番に印刷します。
印刷時刻指定　：印刷を実行する日時を指定することができます。
保留　：印刷データをプリントキューに記憶された状態のままにして、印刷しません。

*1 プリントキュー：印刷データを一時的に記憶しておくソフトウェア。

印刷の中止方法

印刷は、通常次の方法で中止します。

- **ロール紙をご使用の場合は、下記の手順を実行した後、次の手順に従ってください。**
  ☞本書「ロール紙への印刷」-「ロール紙の切り離し」35 ページ
- **何らかの理由により印刷を強制終了させたい場合は、まず始めにプリンタの電源をオフにして印刷文書を削除してください。ロール紙をご使用の場合はプリンタの電源をオンにしてから次の手順に従ってください。**
  ☞本書「ロール紙への印刷」-「ロール紙の切り離し」35 ページ

バックグラウンドプリント使用時の場合

アプリケーションメニューから「EPSON Monitor3」を選択します。

①クリックして

②クリックします

印刷中の印刷文書をクリックし、🗑 ボタンをクリックします。
画面上に印刷キャンセルに関するダイアログが表示される場合は、画面の表示に従ってください。
これで印刷が正常に中止されます。

①クリックして　②クリックします

バックグラウンドプリント未使用の場合

コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（.）キーを押します。
画面上に印刷キャンセルに関するダイアログが表示される場合は、画面の表示に従ってください。
これで印刷が正常に中止されます。

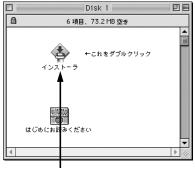
プリントを中止するときは、⌘（コマンド）キーを押しながら .（ピリオド）キーを押してください。

プリンタドライバの削除

Mac

プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行う場合は、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）してください。

Macintoshを起動した後、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをセットします。

［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックして開き、［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。
インストーラが起動します。

ダブルクリックします

開始画面で 続ける ボタンをクリックします。

クリックします

4

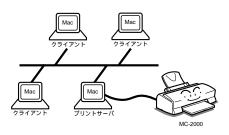
ポップアップメニューから［アンインストール］を選択します。

選択します

アンインストール ボタンをクリックします。
プリンタドライバの削除が実行されます。

クリックします

ネットワーク上でプリンタを共有するには

ネットワーク環境が整っている場合は、本機をネットワークプリンタ（共有プリンタ）としてお使いいただくことができます。
このように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタを共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。

以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築され、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にある場合です。

プリントサーバ側の設定

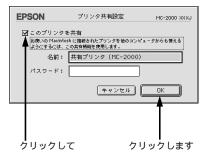
ピアトゥピア接続では、共有するプリンタを接続するコンピュータがサーバ[*1]の役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

*1 サーバ：ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能をもつハードウェアやソフトウェア。（クライアント=サービスを受ける側のコンピュータ。）

画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。

［MC-2000］アイコンをクリックしてから設定ボタンをクリックします。

［Apple Talk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。

[このプリンタを共有]のチェックボックスをクリックして、OKボタンをクリックします。
共有名は、ネットワーク上で表示される名称です。パスワードを入力すると、他のコンピュータから共有プリンタに接続する際にパスワードの入力が必要になります。

画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

クライアント側の設定

画面左上のアップルメニューから[セレクタ]をクリックして選択します。

［MC-2000］アイコンをクリックして、[ポートを選択]の一覧に表示されたMC-2000をクリックして選択します。

- [Apple Talk] の設定が [使用] になっていることを確認してください。
- プリンタの名称が変更されている可能性があります。プリンタを直接接続しているコンピュータで名称を確認してください。
- 以下の画面が表示された場合は、パスワードを入力して OK ボタンをクリックします。

Mac

3 画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

上の画面で 情報 ボタンをクリックすると、プリンタを接続している Macintosh にインストールされているフォントのうち、お使いの Macintosh にインストールされていないフォントが表示されます。
印刷するデータによってはフォントが置き換わり、レイアウトなど見た目が変わることがあります。解消するためには、置き換わってしまったフォントをご利用のコンピュータにインストールする必要があります。

第５章

ユーティリティの使い方

Utility

MC-2000

ここでは、各種ユーティリティの使い方とその内容について説明しています。

EPSONプリンタウィンドウ!3（Windows）

EPSON プリンタウィンドウ!3 とは

EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。プリンタの詳しい情報を知るには、［プリンタ詳細］ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればエラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。また、プリンタのプロパティやWindowsのタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ
プリンタの状態やインクの残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、対処方法ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。

プリンタのプロパティからEPSONプリンタウィンドウ!3を呼び出すことができます。

タスクバーの呼び出しアイコンからEPSONプリンタウィンドウ!3を呼び出すことができます。

タスクバーの呼び出しアイコンからモニタの設定画面を開くことができます。

環境設定からモニタの設定画面を開くことができます。

［モニタの設定］ダイアログ
どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSONプリンタウィンドウ!3を設定することができます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSONプリンタウィンドウ!3でプリンタの状態を確かめるために、2通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報を表示します。

☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」次ページ

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［EPSONプリンタウィンドウ!3］アイコンをクリックします。

クリックします

［方法 2］

モニタの設定で呼び出しアイコンを設定した場合、Windowsのタスクバーにある EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてから［EPSON MC-2000］をクリックします。

☞本書［モニタの設定］129ページ

または

Win

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSONプリンタウィンドウ!3の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときに 閉じる ボタンをクリックします。

④インク残量

インク残量の目安を表示します。
カラーインクの残量は、一番少ないインクに合わせて5色同じレベルで表示されます。
また、最後に印刷したページを、あと何枚印刷できるか表示します。

⑤ カートリッジ情報

インクカートリッジに関する情報を表示します。

⑥対処方法

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合に表示されます。
対処方法 ボタンをクリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。

モニタの設定

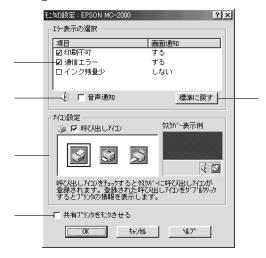
Win

EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。

［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2通りあります。

［方法 1］
プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の 環境設定 ボタンをクリックします。表示された［環境設定］ダイアログ内の モニタ設定 ボタンをクリックします。

［方法 2］
上記［方法 1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windows のタスクバーにあるEPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ

①エラー表示の選択

プリンタがどのような状態のときに画面通知するかを選択します。画面通知が必要な項目は、クリックしてチェックマークを付けます。

②音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すには、 標準に戻す ボタンをクリックします。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］をクリックしてチェックマークを付けると、EPSON プリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。EPSON プリンタウィンドウ!3 を削除する場合は、［呼び出しアイコン］のチェックを外してください。

⑤共有プリンタをモニタさせる

クリックしてチェックマークを付けると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。
☞本書「ネットワーク上でプリンタを共有するには」79 ページ

EPSON プリンタウィンドウ!3 のインストール

Win

EPSONプリンタウィンドウ!3はプリンタドライバのインストール終了後、引き続きインストールされます。
プリンタドライバのインストール時にEPSONプリンタウィンドウ!3をインストールされなかった方は、以下の手順に従ってインストールをしてください。

EPSONプリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。

［EPSONプリンタウィンドウ!3のインストール］をダブルクリックします。

OK ボタンをクリックします。

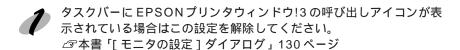
OK ボタンをクリックします。

これで EPSON プリンタウィンドウ!3 のインストールは終了です。
Windows を再起動すると、EPSON プリンタウィンドウ!3 が使用できるようになります。

Win

EPSON プリンタウィンドウ!3 の削除

ポイント

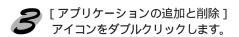
他のソフトウェア（ウイルス検知プログラムなど）が起動している場合は、各ソフトウェアを停止させてから削除を行ってください。

1 **タスクバーに EPSONプリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンが表示されている場合はこの設定を解除してください。**
☞本書「[モニタの設定］ダイアログ」130 ページ

2 **画面左下の スタート ボタンをクリックし、[設定]にカーソルを合わせ、[コントロールパネル］をクリックします。**

3 **[アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

ダブルクリックします

4 **「EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ」をダブルクリックします。**

①クリックして　②クリックします

5 **プリンタドライバのアイコン表示のない余白部分をクリックしてから［ユーティリティ］タブをクリックします。**

②クリックします　①クリックして

6 **[EPSONプリンタウィンドウ!3（EPSON MC-2000用)］のチェックボックスをクリックしてチェックを付けてから、OK ボタンをクリックします。**
この後は、画面の指示に従って削除を進めます。

①チェックして　②クリックします

EPSONプリンタウィンドウ(Macintosh)

EPSON プリンタウィンドウとは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを Macintosh のディスプレイ上に表示するユーティリティです。

エラーメッセージ(プリンタのエラー)は、EPSON プリンタウィンドウの画面を開いていなくても、エラーが発生すると自動的に画面上に表示されます。インク残量を確認するとき以外は、プリンタウィンドウの画面を開いている必要はありません。

Mac

インク残量を確認するには

インク残量を確認するために、3通りの方法で[インク残量]モニタを開くことができます。

[方法 1]

[印刷]ダイアログを開いてボタンをクリックします。

クリックします

[方法 2]

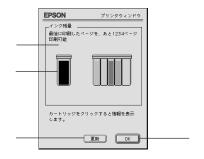
[印刷]ダイアログまたは[用紙設定]ダイアログのボタンをクリックし、[ユーティリティ]ダイアログを開きます。[EPSONプリンタウィンドウ]アイコンをダブルクリックします。

ダブルクリックします

[方法 3]

バックグラウンドプリントを[入]に設定してあると、印刷実行時に[EPSON Monitor3]が起動します。[EPSON Monitor3]のボタンをクリックします。

クリックします

インク残量モニタ

①	印刷可能枚数	最後に印刷したページをあと何枚印刷できるかを表示します。
②	インク残量	インク残量の目安を表示します。 カラーインク残量は、一番少ないインクに合わせて5色同じレベルで表示されます。 インクタンクをクリックすると、インクカートリッジに関する情報を提供します。
③	更新	最新のプリンタの状態を取得して画面を更新します。
④	OK	EPSON プリンタウィンドウを終了します。

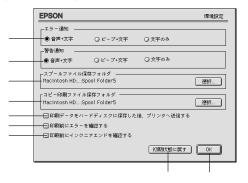
Mac

モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウのモニタ機能を設定します。エラーの通知方法や、印刷実行前に確認する項目などを設定することができます。

モニタの設定を行うために、[環境設定]ダイアログを開きます。

[ユーティリティ]ダイアログを開いて、環境設定ボタンをクリックします。

[環境設定]ダイアログ

①	エラー通知	プリンタで発生したエラーの通知方法を選択します。
②	警告通知	警告の通知方法を選択します。
③	スプールファイル 保存フォルダ	印刷データを一時的に保存しておくためのフォルダを変更する場合は選択ボタンをクリックしてください。
④	コピー印刷ファイル 保存フォルダ	同じ印刷データを複数枚印刷する際に、一時的に印刷データを保存しておくためのフォルダを変更する場合は、選択ボタンをクリックしてください。
⑤	印刷データをハードディスクに保存した後、プリンタへ送信する	印刷データを一旦ハードディスクに保存してから、プリンタに送信します。同じデータを複数部印刷する場合に印刷速度が向上することがあります。また、動作の遅いMacintoshでご使用いただくと、印字中一時的にプリントヘッドが停止するようなことが回避され、印字品質の低下を防ぐことができます。
⑥	印刷前にエラーを確認する	印刷を実行する前に、プリンタでエラーが発生していないかどうかを確認する場合は、チェックしてください。
⑦	印刷前にインク ニアエンドを確認する	印刷を実行する前に、インク残量が少ないかどうか確認する場合は、チェックしてください。
⑧	初期状態に戻す	設定値を初期の状態に戻します。
⑨	OK	環境設定を保存して終了します。

ノズルチェック

Win

Mac

*1 プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

*2 ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

ノズルチェックとは、プリントヘッド[*1]のノズル[*2]に目詰まりがないか確認するためのパターンを印刷する機能です。
ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間があく場合は、ヘッドクリーニングを実行して、プリントヘッドの目詰まりを除去してください。

ポイント
- **ノズルチェックの手順は、Windows、Macintoshともにほぼ同じです。ここでは、Windows98 の画面を例にしています。**
- **プリンタの［給紙/排紙（ ）］スイッチを押したまま［電源］スイッチをオンにすることでもノズルチェックを実行することができます。**
- **インクエンドランプの点滅または点灯中は実行できません。**

1 「ユーティリティ」ダイアログを開きます。

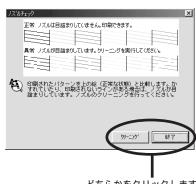
Windows　：プリンタドライバの設定画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。（58 ページ）

Macintosh：用紙設定ダイアログ、または印刷ダイアログで ボタンをクリックします。（95, 98 ページ）

2 ［ノズルチェック］ボタンをクリックします。

3 プリンタの［電源］スイッチをオンにし、A4（縦）サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。

4 ［印刷］ボタン（Macintosh は［実行］ボタン）をクリックします。

5 印刷されたパターンの線がかすれたり消えたりしていないかを確認して、問題がない場合は［終了］ボタンをクリックします。問題があった場合は［クリーニング］ボタンをクリックしてプリントヘッドをクリーニングします。

ヘッドクリーニング

Win

Mac

*1 プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッド[*1]の表面を清掃する機能です。文字や画像がかすれたり、画像が意図しない色で印刷されるなどの症状が出る場合、次の手順に従ってヘッドクリーニングをしてください。

ポイント

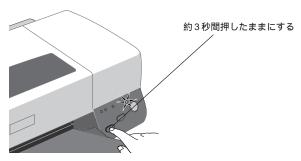
- **ヘッドクリーニングは、インクエンドランプ（黒またはカラー）が点滅、または点灯しているときは行えません。まずインクカートリッジを交換してください。**
  インクカートリッジを交換すると自動的にインク充てん処理が行われるため、かすれなどが直る場合があります。ノズルチェックを行ってください。
  ☞本書「インクカートリッジの交換」149 ページ
- **ヘッドクリーニングは黒とカラーのインクを同時に使います。文字や画像がかすれたり、画像が意図しない色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。**
- **ヘッドクリーニングした後は、必ずノズルチェックを行い、クリーニング結果を確認してください。**

パネル操作でのヘッドクリーニング方法

インクエンドランプ（黒またはカラー）が点滅、または点灯していないことを確認します。

インクエンドランプが点滅または点灯している場合は、ヘッドクリーニングは行えません。インクカートリッジを交換して、エラー表示を解除してください。

インクメンテナンス（ ）スイッチを 3 秒間押したままにします。

ヘッドクリーニングが実行されます。ヘッドクリーニングは約 1 分間続き、その間、電源ランプが点滅します。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

クリーニングは約 1 分間続きます

ポイント

ヘッドクリーニング後は、ノズルチェックパターンを印刷して線がかすれたりしていないか確認してください。
線がかすれたり抜けている場合は、再度クリーニングを実行してください。
プリンタの給紙/排紙（ ）スイッチを押したまま電源スイッチをオンにするとノズルチェックパターンを印刷することができます。

ユーティリティでのヘッドクリーニング方法

Win

Mac

ポイント **クリーニングの手順は、Windows、Macintoshともにほぼ同じ手順です。ここでは、Windows98の画面を例にしています。**

「ユーティリティ」ダイアログを開きます。

Windows　: プリンタドライバの設定画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。（58 ページ）

Macintosh : 用紙設定ダイアログ、または印刷ダイアログで ボタンをクリックします。（95, 98 ページ）

ヘッドクリーニング ボタンをクリックします。

ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ(D)
印刷がかすれたり汚れたら行って下さい

クリックします

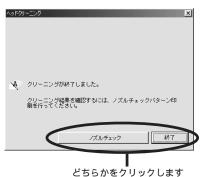
スタート ボタンをクリックします。

プリンタの電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きます。

電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

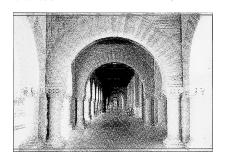
クリックします

ノズルチェック ボタンをクリックし、印刷結果を確認します。終了の場合は 終了 ボタンをクリックします。

どちらかをクリックします

ギャップ調整

双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。
本機では、黒印刷とカラー印刷のための2種類のギャップ調整を行います。
ギャップ調整を行うためには、普通紙とMCマット紙が必要です。

印刷結果がピントがぼけたようになる

ポイント

- **ギャップ調整の手順は、Windows、Macintoshともにほぼ同じです。ここでは、Windows98の画面を例にしています。**
- **アジャストレバーの設定が＜＋＞位置になっていると、ぼけたような印刷結果になる場合があります。アジャストレバーが＜0＞位置になっていることを確認してください。**

プリンタの電源をオンにします。

「ユーティリティ」ダイアログを開きます。

Windows　：プリンタドライバの設定画面で「ユーティリティ」タブをクリックします。（58ページ）

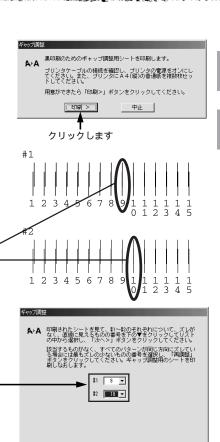
Macintosh　：用紙設定ダイアログ、または印刷ダイアログで ボタンをクリックします。（95, 98ページ）

ギャップ調整 ボタンをクリックします。

クリックします

実行 ボタンをクリックします。

クリックします

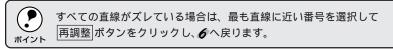
プリンタにA4サイズの普通紙を縦方向に複数枚セットします。

6 **印刷** ボタンをクリックします。
黒印刷のためのギャップ調整用シートが印刷されます。

7 **印刷されたシートを見て、#1、#2 それぞれズレのない直線に見える番号（1～15）を探します。**

8 **最も直線に見えた番号をリストの中から選択し、次へ> ボタンをクリックします。**

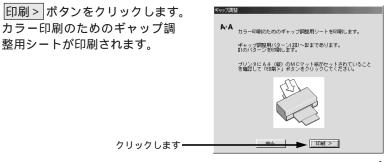
これで黒印刷のためのギャップ調整は完了です。

ポイント

すべての直線がズレている場合は、最も直線に近い番号を選択して 再調整 ボタンをクリックし、6 へ戻ります。

9 **次にカラー印刷のためのギャップ調整を行います。普通紙の代わりにA4 サイズの MC マット紙を縦方向に複数枚セットします。**
MC マット紙は給紙補助シートが必要です。先に給紙補助シートをセットし、その上に MC マット紙を重ねてセットします。

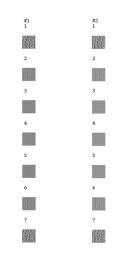
10 **印刷>** **ボタンをクリックします。**
カラー印刷のためのギャップ調整用シートが印刷されます。

Win

Mac

11 **画面の指示に従い、印刷された用紙をもう一度同じ向きに、プリンタにセットします。**

12 **用意ができたら 印刷> をボタンをクリックします。**
再度、カラー印刷のためのギャップ調整用シートが印刷されます。

クリックします

13 **印刷されたシートを見て、#1、#2ごとに最もざらつきが少ないパターンの番号（1～7）を探します。**
☞ 本書巻末「カラー調整のためのギャップ調整用シート印刷例」

14 **最もざらつきの少ないパターンの番号をリストの中から選択し、終了 ボタンをクリックします。**

① 最もざらつきが少ないパターンの番号を選択して

②クリックします

これでカラー印刷のためのギャップ調整は完了です。

ポイント

すべてのパターンにざらつきがある場合は、最もざらつきの少ないパターンの番号を選択して 再調整 ボタンをクリックし、10へ戻ります。

排紙ローラのクリーニング

Win

Mac

次のような印刷を行うと、排紙ローラにインクが付着し、印刷面に直線状の汚れが付くことがあります。
このような場合には、同梱のクリーニングキットを使用して排紙ローラのクリーニングを行ってください。

- 誤って専用紙の裏面に印刷してしまった場合
- エプソン指定用紙以外の特殊用紙を使用した場合
- 印刷枚数が多い場合

クリーニングキットには、次の部品が含まれています。

- クリーニングパッド
  先端のスポンジは何度でも洗って使用可能です。
- クリーニングシート
  クリーニングシートは普通紙でも代用できます。同梱のクリーニングシートがなくなったら普通紙を使用してください。

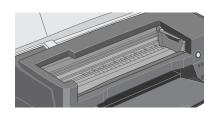
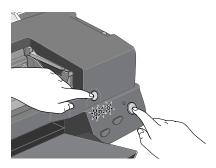
プリンタの電源をオフにします。

クリーニングパッドのスポンジが柔らかくなるまでたっぷり水を含ませ、水が滴らなくなるまで軽く絞ります。

- **スポンジを乾燥したまま使用すると排紙ローラ表面を傷つける恐れがあります。**
- **ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。**
- **プリンタメカニズムや電気部品に水がかからないように、スポンジの水を絞ってください。**

Win

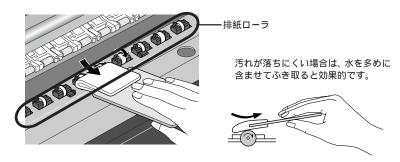
Mac

プリンタカバーを開けます。

インクカートリッジ交換 スイッチを押しながら、電源 スイッチをオンにします。
用紙チェックランプ、インクエンド（黒）ランプ、インクエンド（カラー）ランプが点滅したらスイッチを離します。

5 プリンタの初期動作が行われます。
いったん用紙チェックランプ、インクエンド（黒）ランプ、インクエンド（カラー）ランプが消灯する場合もあります。この場合は、再度点滅が開始されるまでお待ちください。

6 クリーニングシートをプリンタにセットします。
クリーニングシートに裏表の区別はありません。

7 給紙/排紙 スイッチを押します。クリーニングシートがゆっくり排紙されます。排紙されている間に 8 に従って汚れている排紙ローラをクリーニングします。

排紙ローラにクリーニングパッドを軽く押し当て、排紙ローラを回転させるように汚れをふき取ります。

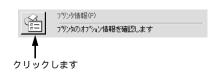
- クリーニングシートに汚れや水分が付かなくなるまで作業を続けてください。
  排紙ローラに水分が付いた状態で印刷すると、印刷面に汚れが付くことがあります。
- 排紙ローラに汚れが残る場合がありますが、クリーニングシートに汚れが付かなくなれば問題ありません。
- 十分に汚れをふき取る前にクリーニングシートが排紙されてしまった場合は、6に戻ってクリーニングを繰り返してください。

クリーニングシートに汚れや水分が付かなくなったらプリンタの電源をオフにします。

クリーニングシートが自動的に排紙されます。
これで排紙ローラのクリーニングは終了です。使用したクリーニングパッドは洗って乾かしてから保管してください。

プリンタ情報（Windows）

色の再現性を向上させるためにプリンタID情報を取得します。プリンタ情報はEPSON プリンタウィンドウ!3 をインストールしている場合、自動的に取得されます。手動の場合も、一度設定すれば設定し直す必要はありません。

プリンタの電源をオンにし、[ユーティリティ] ダイアログを開きます。

プリンタ情報 ボタンをクリックします。

現在の状態を確認します。

状態①：「情報印刷実行後、オプション情報を入力してください。」
→次のステップに進みます。

状態②：「オプション情報は既に設定されています。入力の必要はありません。」
→ OK ボタンをクリックして設定を終了します。

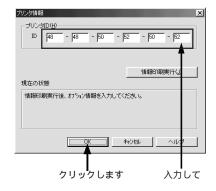
確認します

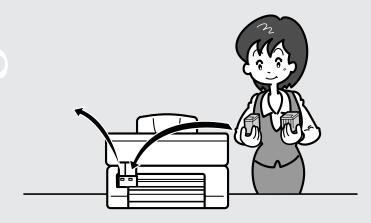
プリンタにA4サイズの用紙をセットして 情報印刷実行 ボタンをクリックします。
プリンタ ID が印刷されます。

印刷例

```
Printer ID : 48-48-50-52-50-52
```

印刷されたプリンタIDを半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。
これで、プリンタ ID 情報が取得できました。

第６章

インクカートリッジの交換

MC-2000 Ink Cartridge

ここでは、インクカートリッジの交換方法と、プリントヘッドの保護について説明しています。

インクカートリッジについて

インクカートリッジを交換する前に、インクカートリッジの使用上の注意を確認します。

インクカートリッジの種類

使用できるインクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

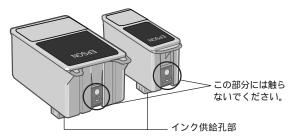
黒	MC1BK01
カラー	MC5CL01

注 意

- **本製品に添付のWindows/Macintosh用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。**
- **純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。**
- **初めてお使いの際は同梱のカートリッジをご使用ください。**

使用上のご注意

●インクカートリッジは、取り付け直前に開封してください。開封した状態で長時間放置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。
また、開封後は 6 カ月以内に使いきってください。

●インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

●インクカートリッジは分解しないでください。

●本製品で使用するインクカートリッジはICチップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、途中で抜いても再使用可能です。ただし、再装着の際にはプリンタの信頼性を確保するため、インクが消費されます。

●使用途中で取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にほこりが付かないように注意して、プリンタと同じ環境下[*1]で保管してください。袋などに入れていただく必要はありません。良好な印刷結果を確保するために、上図のように必ずインク供給孔部が下になるように置いてください。なお、インク供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をしていただく必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないようにご注意ください。

●インクカートリッジのインク供給孔部には触らないでください。

●インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合、3時間以上室温に放置してから使用してください。

*1 同じ環境下：プリンタと同じ環境下については本書「プリンタの仕様」-「総合仕様」164 ページを参照してください。

●インクカートリッジは、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものをご使用になると、印刷品質に影響を与える場合があります。
●インクカートリッジは強く振らないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
●インクは飲まないでください。また、インクが手などに付いてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなるので、すぐに石けんや水で洗い流してください。インクが目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

保管上のご注意

●良好な印刷結果を確保するためにインクカートリッジは、インク供給孔部が下になるように置いてください。個装箱に入っている場合には、右図のように置いてください。

●インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
●インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、インクは飲まないでください。

インク消費について

各インクカートリッジは、印刷時以外にも次の場合に消費されます。
1. 電源投入時などに定期的に実施されるセルフクリーニング[*1]時
2. プリントヘッドのクリーニング時
3. インクカートリッジ装着時

*1 セルフクリーニング：プリントヘッドの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

交換時の注意

●インクカートリッジへのインクの補充はしないでください。
インクカートリッジはICチップにインク残量を記憶しています。このため、インクを補充してもICチップ内の残量値が書き換わることはなく、使用できるインク量は変わりません。
●プリンタの電源が入っていない状態で無理にインクカートリッジを交換しないでください。
●プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
●インクカートリッジを取り外したままプリンタを放置しないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
●交換作業中はプリンタの 電源 スイッチをオフにしたり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
●インクカートリッジは、黒、カラー両方ともセットしてください。どちらか片方だけセットされた状態では、プリンタは動作しません。

●充てん中は、電源スイッチをオフにしないでください。充てんが完全に行われず、印刷ができなくなる場合があります。
●使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合があります。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、リサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

インクカートリッジのリサイクルについて

弊社では環境保全活動の一環として、使用済みインクカートリッジの回収を行っております。このため「使用済みカートリッジ回収ポスト」を回収協力販売店とエプソン販売（株）の営業拠点に設置し、集まった使用済みカートリッジを定期的に回収して再資源化しております。使用済みカートリッジはぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

インクカートリッジの交換

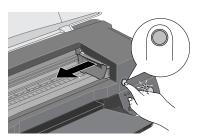
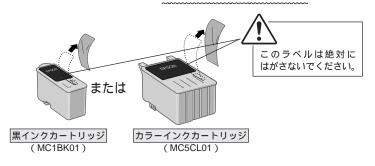
インクエンドランプの点滅は、インクが残り少ないことを示しています。
インクがなくなるまで印刷できますが、早めに交換してください。

インクカートリッジを交換する前に、インクカートリッジについての注意を必ずご確認ください。
☞本書「インクカートリッジについて」146 ページ

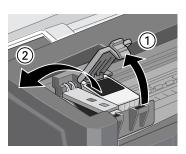
⚠注意

インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異状がある場合は、すぐに医師にご相談ください。

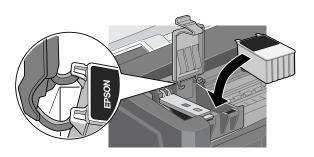
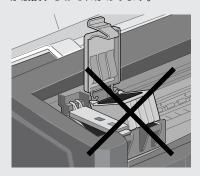
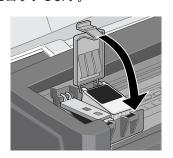
プリンタカバーを開けます。

インクカートリッジ交換 スイッチを押します。
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置まで移動し、電源ランプが点滅します。

新しいインクカートリッジを袋から取り出し、EPSONマークの印刷されたラベルをはがさないようにして、黄色いテープをはがします。

- **インクカートリッジは取り付ける直前に袋から出し、黄色いテープを必ずはがしてください。はがさないままセットすると印刷できません。また、そのインクカートリッジは使用できなくなります。**
- **EPSON マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。ラベルをはがしたインクカートリッジを使用すると、インクの粘度が増し、プリントヘッドが目詰まりして印刷できなくなる場合があります。**

（以降、カラーインクカートリッジを交換する例です。）

インクカートリッジを交換する側の固定カバーを引き上げ、古いインクカートリッジを取り出します。

新しいカートリッジをセットします。

カートリッジのEPSONマークを固定カバー側に向け、固定カバーのツメの上にインクカートリッジのツメを載せるようにして置きます。

注意

- **インクカートリッジは、無理に押し込まないでください。**
- **インクカートリッジのツメを固定カバーの下にもぐらせないでください。固定カバーが破損するおそれがあります。**

インクカートリッジが確実にセットされるように、固定カバーを手前に倒し、しっかりとロックします。

インクカートリッジ交換 スイッチを押してインクを充てんします。
プリントヘッドが右へ移動して、インクの充てんが始まります。

約 1 分後、電源ランプの点滅が点灯に変わったら充てんは終了です。

注 意

電源ランプが点滅中は、電源 スイッチをオフにしないでください。充てんが完全に行われず、印刷ができなくなる場合があります。

プリンタカバーを閉じます。

ポイント

使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合があります。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、リサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

本書「インクカートリッジのリサイクルについて」148 ページ

プリントヘッドの保護

本プリンタには、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

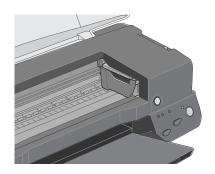
セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、プリンタの電源投入時（ウォーミングアップ時）などに定期的に行われます。（6色すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。）

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

●印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき

●印刷停止状態になったとき

プリントヘッドが図のように右端近くにあれば、キャッピングされています。

注意

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま［電源］スイッチをオフにした場合は、再度［電源］スイッチをオンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で［電源］スイッチをオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源がオンの状態で、コンセントを抜かないでください。キャッピングされない場合があります。

第７章

付録

Win

Mac

MC-2000 Appendix

ここでは、本製品をお使いいただくうえで知っておいていただきたいことなどについても説明しています。

インターフェイスケーブルについて

コンピュータとプリンタを接続するためのケーブルには2種類あります。
コンピュータや目的に応じて適切なケーブルをご用意ください。

パラレルインターフェイスケーブル

2000年5月1日現在

	メーカー	機　種	接続ケーブル	備　考
DOS/V系	EPSON	DOS/V仕様機	PRCB4N	──
	IBM、富士通、東芝、他各社			
	NEC	PC-98NXシリーズ		
98系	EPSON	EPSON PCシリーズデスクトップ	＃8238	※1
		EPSON PCシリーズNOTE	市販品（ハーフピッチ20ピン）をご使用ください。	※1
	NEC	PC-9821シリーズ（ハーフピッチ36ピン）	PRCB5N	──
		PC-9801シリーズデスクトップ（14ピン）	＃8238	※1　※2
		PC-9801シリーズNOTE（ハーフピッチ20ピン）	市販品（ハーフピッチ20ピン）をご使用ください。	※1　※2

※1：Windows95/98の双方向通信機能及びEPSONプリンタウィンドウ!3は、コンピュータの機能制限により対応できません。

※2：ハーフピッチ36ピンのPCにはPRCB5Nをご使用ください。

ポイント

- **推奨ケーブル以外のケーブルを使用したり、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などをコンピュータの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。**
- **ECPモード対応のDOS/V系コンピュータをECPモードで接続する（DMA転送をする）場合は、必ずPRCB4Nをご使用ください。**

Win

Mac

USB ケーブル

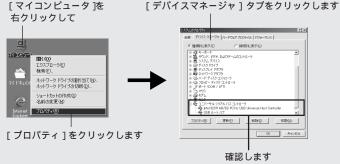
USBインターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のケーブルを使用してください。

- **EPSON USB ケーブル（型番：USBCB1）**

本機を USB ケーブルで接続するための OS およびコンピュータの条件

Windows	以下の 3 つの条件を満たしている必要があります。 • Windows98/2000 がプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでにWindows98/2000がインストールされているコンピュータ） Windows98 がプレインストールされていて、Windows 2000 にアップグレードされているコンピュータ • USB に対応したコンピュータ • コンピュータメーカーによりUSBポートの動作が保証されているコンピュータ
Macintosh	アップル社により USB ポートの動作が保証されているコンピュータと OS の組み合わせによるシステム

ポイント

- **Windows95/NT4.0 ではご使用になれません。**
- **コンピュータの USB ポートに関しては、コンピュータメーカーにお問い合わせください。**
- **パラレルインターフェイスの機能であるEPSONプリンタポートおよび DMA 転送は、USB ケーブル接続時はご利用いただけません。**
- **USB に対応したコンピュータであるか確認するには、以下の手順に従ってください（Windows98 の場合）。**

〈ユニバーサルシリアルバスコントローラ〉の下にUSBのホストコントローラと〈USB ルートハブ〉が表示されていれば、USB に対応しています。
Windows 2000 の場合は、［プロパティ］をクリックし、「システムのプロパティ」画面で［ハードウェア］タブ、「デバイスマネージャ」をクリックします。

- **パラレルインターフェイスケーブルから USB ケーブルへ接続ケーブルを変更する場合などは、以下のページを参照して設定を変更してください。**
  本書「ケーブルを変更する場合の設定について」156 ページ
  本書「プリンタ接続先の設定」86 ページ

ケーブルを変更する場合の設定について（Windows98/2000）

パラレルケーブルとUSBケーブルでは、印刷のために必要なドライバや、印刷先の設定が異なります。ケーブルを変更して印刷する場合は、以下の手順に従ってください。

Win

パラレルケーブルをUSBケーブルに変更する場合

アプリケーションソフトを起動している場合は終了させます。

MC-2000プリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3を一旦削除する必要があります。

☞本書「ドライバの削除」71ページ

プリンタの電源がオフになっていることを確認して、プリンタ、コンピュータそれぞれにUSBケーブルを接続します。

この後は「セットアップガイド」の手順に従って、プリンタドライバなどをインストールします。

ポイント

- **パラレルケーブルを外すときは、プリンタ、コンピュータそれぞれの電源をオフにしてから外してください。**
- **インストールは、必ず「セットアップガイド」の手順に従って行ってください。それ以外の手順では正常にインストールできません。**

USBケーブルをパラレルケーブルに変更する場合

印刷先のポートを、［EPUSB:（MC-2000）］（Windows98）/［USB MC-2000］（Windows 2000）から［LPT1］に変更します。

☞本書「プリンタ接続先の設定」86ページ

選択します

ポイント

- **印刷先のポートを変更するだけでも印刷できますが、より良い環境でお使いいただくために、一旦プリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3を削除してから、プリンタとコンピュータの電源をオフにしてケーブルを接続し直し、「セットアップガイド」の手順に従って再度プリンタドライバなどのインストールを行っていただくことをお勧めします。**
- **インストールは、必ず「セットアップガイド」の手順に従って行ってください。それ以外の手順では正常にインストールできません。**

プリンタドライバのバージョンアップ

Win

Mac

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。数字が同じ場合は、数字の後ろについているアルファベットが後のもの（A より B、B より C...）が新しいバージョンになります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

*1 BBS：（Bulletin Board System）パソコン通信上の電子掲示板サービス。

*2 ダウンロード：ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

●パソコン通信をご利用の方は、下記BBS*1よりダウンロード*2が可能です。
@ nifty パソコン通信サービス ： EPSON Information Forum
（コマンド GO␣FEPSONI）
␣は、半角スペースです。
※ @nifty（アット・ニフティ）会員のうち、旧NIFTY SERVE会員のみ利用可能。

●インターネットの場合は、次のWWWサーバーでダウンロードできます。
【サービス名】 ソフトウェアダウンロードサービス
【アドレス】 http://www.i-love-epson.co.jp

●CD-ROMでの郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

＊ 各種ドライバの最新バージョンについては、EPSON FAX インフォメーションにてご確認ください。
FAXインフォメーションの詳細については、本書の裏表紙にてご案内しております。

Win

Mac

インストール手順

ダウンロードした最新プリンタドライバは圧縮[*1]ファイルとなっていますので、次の手順でファイルを解凍[*2]してからインストールしてください。

*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

☞ 本書「プリンタドライバの削除」
Windows ☞71ページ
Macintosh ☞120ページ

ドライバをハードディスク内のディレクトリへダウンロードします。

[ダウンロード方法・インストール方法はこちら]をクリックし、表示されるページを参照して、解凍とインストールを実行してください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

プリンタのお手入れ

プリンタから用紙を取り除きます。
用紙がプリンタ内に残っている場合は 給紙/排紙（ ） スイッチを押して排紙します。オートシートフィーダにセットされている用紙があれば、取り除きます。

電源 スイッチをオフにして、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。

柔らかいブラシを使って、ほこりや汚れを注意深く払います。
プリンタ外面の汚れがひどい時は、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に、乾いた柔らかい布で水気をふきとります。

注意

プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉めた状態でふいてください。
プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。

プリンタ内部がインクで汚れた場合は

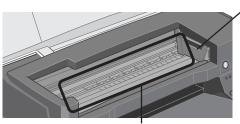
●排紙ローラの汚れ

誤って専用紙の裏面に印刷すると、排紙ローラにインクが付着し印刷面に直線状の汚れが付くことがあります。
このような場合には排紙ローラのクリーニングを行ってください。
☞本書「排紙ローラのクリーニング」141 ページ

●その他の汚れ

プリンタの 電源 スイッチがオフになっていることを確認してから、よく絞った布でふきとります。このとき、キャリッジ周辺部分は絶対にふかないでください。また手を触れないでください。

⚠注意

- **プリンタ内部のプリントヘッドまわりは絶対にふかないでください。故障の原因になります。**
- **プリンタ内部の用紙送り部分をふく場合には、突起物がありますので、けがをしないよう注意してふいてください。**

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形するおそれがあります。
- プリンタメカニズムや電気部品に水がかからないように、注意深く扱ってください。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタ表面を傷つけることがあります。
- プリンタ内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタメカニズムが故障するおそれがあります。潤滑油が必要と思われる場合は、エプソンの修理窓口にご相談ください。
  エプソンの修理窓口に関する詳細は同梱の「サービス・サポートのご案内」を参照してください。

プリンタを長期間使用しない場合のご注意

●プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。
ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。また、印刷されない場合でも、月に1回はプリンタの 電源 スイッチをオンにして、数分（1～2分）おいてください。

●長期間使用していないプリンタをお使いになる場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。
☞本書 「ノズルチェック」135 ページ
「ヘッドクリーニング」136 ページ

●長期間使用していないプリンタの場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ヘッドクリーニングを 5 回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、プリンタの 電源 スイッチをオフにして一晩以上経過した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してみてください。

- ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、インフォメーションセンターへお問い合わせください。インフォメーションセンターのお問い合わせ先は本書の裏表紙をご覧ください。

プリンタを輸送するときは

プリンタを輸送するときは、プリンタを衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

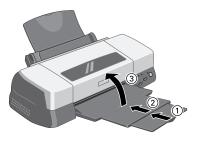
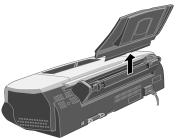
プリンタから用紙を取り除きます。

用紙がプリンタ内に残っている場合は、[給紙/排紙（）]スイッチを押して排紙します。オートシートフィーダにセットされている用紙は取り除きます。

プリンタカバーを開け、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。

☞本書「プリントヘッドの保護」152 ページ

インクカートリッジは、取り外さないでください。

排紙サポートを収納し、排紙トレイを閉じ、用紙サポートを取り外します。

電源プラグをコンセントから抜き、インターフェイスケーブルを取り外します。

梱包材を取り付け、プリンタを水平に梱包箱に入れます。

- **プリンタの輸送時には、上下を逆にしないでください。**
- **輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。**
  ☞本書「ヘッドクリーニング」136 ページ

プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載しています。

基本仕様

印字方式	インクジェット
ノズル配列	黒インク ： 48 ノズル カラー ： 48 ノズル x 5 色
印字方向	双方向最短距離印刷（ロジカルシーキングつき）
解像度	1440dpi x 720dpi（最大）
コントロールコード	ESC/P ラスター
紙送り方式	オートシートフィーダ
入力データバッファ	256KByte

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
型番	黒インクカートリッジ：MC1BK01 カラーインクカートリッジ：MC5CL01
有効期限	個装箱に記載されている期限 開封から 6ヵ月以内
保存温度	保存時 ：－ 30℃～ 40℃（40℃の場合 1ヵ月以内） 輸送時 ：－ 30℃～ 60℃（60℃の場合 120 時間以内、40℃の場合 1ヵ月以内） 本体装着時 ：－ 20℃～ 40℃（40℃の場合 1ヶ月以内）
カートリッジ外形寸法	黒インクカートリッジ ： 幅 20.1mm ×奥行き 66.85mm ×高さ 38.5mm カラーインクカートリッジ ： 幅 49.1mm ×奥行き 84.05mm ×高さ 41.8mm
寿命	黒インクカートリッジ ： 520 ページ（A4, テキスト印刷時） ※この数値は黒インクカートリッジを交換後、連続印刷*した場合の値です。
	カラーインクカートリッジ ： 250 ページ（A4, 各色紙面占有率 5% で印刷時） ※この数値はカラーインクカートリッジを交換後、連続印刷 * した場合の値です。

* 連続印刷：電源スイッチのオン・オフ操作およびヘッドクリーニング操作などで動作を中断することなく、印刷し続けること。

- **インクは－ 15℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。**
- **インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。**

用紙仕様

（単票用紙）

種類	品質	サイズ	用紙厚	用紙重量	備考
専用紙	上質普通紙	A4			*1 *2
	MC 光沢紙	A4/A3/A3 ノビ			
	MC マット紙	A4/A3/A3 ノビ			
	MC 写真用紙〈半光沢〉	A4/A3/A3 ノビ			
	MC 画材用紙	A3 ノビ			
普通紙	複写機等に使用される事務用普通紙	A6/A5/B5/A4/B4/ A3/A3 ノビ / レター / リーガル	0.08mm ～0.11mm	64g/m^2 ～90g/m^2 (55kg ～78kg)	*1
再生紙					*1 *3

*1　：丸まっていたり、しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。
*2　：一般の室温環境下（温度 15 ～ 25℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。
*3　：紙質によってはにじむことがありますので試し印刷をしてから購入されることをお勧めします。

（ハガキ）

種類	品質	サイズ	備考
普通紙	官製ハガキ	通常ハガキ 100mm × 148mm 往復ハガキ 200mm × 148mm	*4

*4
- 一般の室温環境下（温度 15 ～ 25℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。
- 折り曲げたり、丸めたりしたハガキは使用しないでください。
- ハガキは、必ず縦方向にセットしてください。
- 往復ハガキのみ横方向にプリンタにセットします。
- ハガキの反りは 5mm 以下のものを使用してください。

（封筒）

種類	品質	サイズ	用紙重量	備考
普通紙	定形封筒	長形 3 号・4 号	50g/m^2 ～ 70g/m^2（43kg ～ 60kg）	*5
		洋形1号･2号･3号･4号	50g/m^2 ～ 100g/m^2（43kg ～ 86kg）	

*5
- 一般の室温環境下（温度 15 ～ 25℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。
- 試し印刷をしてから購入されることをお勧めします。
- 封筒に印刷する場合の注意事項については 23 ページを参照してください。

（ロール紙）

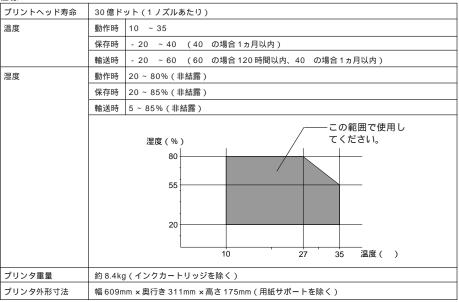
種類	品質	サイズ	用紙厚	用紙重量	備考
ロール紙	MC マット紙ロールタイプ	89mm × 7m			*6
		100mm × 8m			
	MC 写真用紙〈半光沢〉ロールタイプ	89mm × 7m			
		100mm × 8m			
		210mm × 10m			
		329mm × 10m			

*6　：ロール紙に印刷する場合の注意事項については 24 ページを参照してください。

電気関係仕様

項目	仕様
定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90～110V
定格周波数	50～60Hz
入力周波数範囲	49.5～60.5Hz
定格電流	0.4A（最大0.5A）
消費電力	連続印刷時平均約18W（ISO/IEC 10561 レターパターン印刷時）待機時3.5W
絶縁抵抗	10MΩ以上（DC500VにてACラインとシャーシ間）
絶縁耐力	AC1.0kVrms 1分またはAC1.2kVrms 1秒 （ACラインとシャーシ間）
漏洩電流	0.25mA以下［社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合］
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波抑制対策ガイドライン、VCCIクラスB

総合仕様

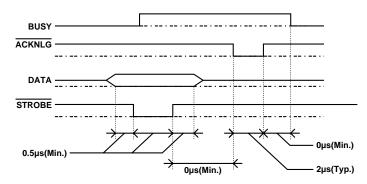
項目		仕様
プリントヘッド寿命	30億ドット（1ノズルあたり）	
温度	動作時	10℃～35℃
	保存時	－20℃～40℃（40℃の場合1ヵ月以内）
	輸送時	－20℃～60℃（60℃の場合120時間以内、40℃の場合1ヵ月以内）
湿度	動作時	20～80%（非結露）
	保存時	20～85%（非結露）
	輸送時	5～85%（非結露）
プリンタ重量	約8.4kg（インクカートリッジを除く）	
プリンタ外形寸法	幅609mm×奥行き311mm×高さ175mm（用紙サポートを除く）	

パラレルインターフェイス仕様

項目	仕様
データ転送方式	8ビットパラレル
同期方式	外部供給STROBEパルス信号
ハンドシェイク	ACKNLGおよびBUSY信号
ロジックレベル	入力データおよびコントロール信号はTTLレベルコンパチブル
適合コネクタ	57-30360（アンフェノール）の36ピンプラグまたは同等品（インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）

（入力信号<コネクタ端子の信号配列と信号の説明>フォワードチャンネル）

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	STROBE	コンピュータ	データを読み込むためのストローブパルス。パルス幅は0.5μs以上必要。定常状態はHIGHであり、LOWになった後にデータを読み込む。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	コンピュータ	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表す。HIGHはデータ1であり、LOWはデータが0であることを示す。
10	28	ACKNLG	プリンタ	LOWは、プリンタがデータを受け取る準備ができていることを表すパルス信号。パルス幅は約1μsまたは3μs。
11	29	BUSY	プリンタ	HIGHは、プリンタがデータを受け取れない 状態であることを示す。LOWは、データを受け取れる状態であることを示す。HIGHになるのは次の場合である。 1）データエントリー中 2）エラー状態
12	28	PE	プリンタ	HIGHは、プリンタに用紙がないことを示す。（ERROR=Lowの場合に有効）
13	28	SLCT	プリンタ	常にHIGH状態。1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
14	30	AUTO FEED XT	コンピュータ	未使用
15	－	NC	－	未使用
16	－	GND	－	ツイストペアリターン用グランド
17	－	Chassis	－	プリンタシャーシのグランド
18	－	Logic H	－	3.9kΩで+5Vにプルアップされている。
19～30	－	GND	－	ツイストペアリターン用グランド
31	30	INIT	コンピュータ	パルス幅50μs以上のLOWパルスの入力でプリンタは初期状態にセットされる。
32	29	ERROR	プリンタ	LOWはプリンタがエラー状態であることを示す。
33	－	GND	－	ツイストペアリターン用グランド
34	－	NC	－	未使用
35	－	+5V	－	常にHIGH状態。1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
36	30	SLCTIN	－	未使用

- **リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側も必ず結線します。更にこのケーブルにはシールドを行い、コンピュータとプリンタのそれぞれシャーシグランドに接続することがノイズ対策上有利になります。**
- **インターフェイス条件はすべてTTLレベルを基準とします。各信号の立ち上がり、立ち下がり時間を0.2μs以下とします。**
- **各信号のタイミングの詳細は、タイミングチャートを参照してください。**
- **ACKNLGまたはBUSY信号を無視してデータ転送を行わないでください（プリンタへのデータ転送はACKNLGを確認するか、またはBUSYがLOW状態のときに行う必要があります）。**
- **LOWアクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。**

（タイミングチャート）

（リバースチャンネル転送方式 IEEE-1284 ニブルモード）

（入力信号＜コネクタ端子の信号配列と信号の説明＞リバースチャンネル）

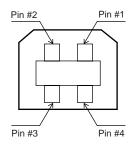
ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	コンピュータ	ホスト側のクロック信号
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	コンピュータ	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から 8 ビット目までの情報を表す。HIGH はデータ 1 であり、LOW はデータが 0 であることを示す。
10	28	PtrClk	プリンタ	プリンタ側のクロック信号
11	29	PtrBusy	プリンタ	プリンタ側の BUSY 信号およびリバースチャネルでのデータビット 3 またはデータビット 7。
12	28	AckDataReq	プリンタ	Acknowledge データ要求信号およびリバースチャネルでのデータビット 2 またはデータビット 6。
13	28	Xflag	プリンタ	X-flag 信号およびリバースチャネルでのデータビット 1 またはデータビット 5。
14	30	HostBusy	コンピュータ	ホスト側の BUSY 信号
15	―	NC	―	未使用
16	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
17	―	Chassis	―	プリンタシャーシのグランド
18	―	Logic H	プリンタ	常時 "HIGH" レベル 3.9k Ωで +5V にプルアップされている。
19 ～ 30	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	コンピュータ	未使用
32	29	$\overline{\text{Data Avail}}$	プリンタ	Data available信号およびリバースチャネルでのデータビット 0 またはデータビット 4。
33	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
34	―	NC	―	未使用
35	―	+5V	プリンタ	常時 "HIGH" レベル 1.0k Ωで +5V にプルアップされている。
36	30	1284-Active	コンピュータ	1284 active 信号

USB（Universal Serial Bus）インターフェイス仕様

1）仕様

規格	："Universal Serial Bus Specification Revision 1.0 "
	："Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Devices Version 1.0"
転送速度	：12Mbps（Full Speed Device）
データフォーマット	：NRZI
適合コネクタ	：USB Series B
許容ケーブル長	：2［m］

2）入力コネクタにおける信号の配列及び信号の説明

ピン番号	信号名	入力 / 出力	機能
1	VCC	-	ケーブル電源、最大電流 100mA
2	-Data	双方向	データ
3	+Data	双方向	データ、1.5k Ωの抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
4	Ground	-	ケーブルグランド

初期化

プリンタは次の 3 つの方法で、初期化（イニシャライズ）されます。

プリンタの種類	方法
ハードウェア	電源投入時の初期化です。 プリンタのメカニズムやソフトウェア設定をすべて初期化し、入力データバッファをクリアします。
ソフトウェア	ソフトウェアにより、ESC ＠ （プリンタ初期化）コマンドが送られたときの初期化です。 コントロールコードにより選択された機能や設定された値を、電源投入時と同じ状態にします。 プリンタのメカニズムは初期化しないで、入力データバッファもクリアしません。
パネル操作	電源スイッチを切断してから10秒以内に再投入したとき、またはプリンタがINIT信号を受信したときの初期化です。 用紙を排出してからプリントヘッドをキャッピングします。さらに、入力データバッファをクリアします。プリンタのメカニズムは初期化しません。

プリンタドライバのシステム条件

付属のプリンタドライバを使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。
システム条件については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Windows

Windows95	オペレーティングシステム	： Windows95 日本語版
	CPU	： i486SX® 以上
	主記憶メモリ	： 8MB 以上
	ハードディスク空き容量	： 50MB 以上
	ディスプレイ	： VGA（640 × 480）以上の解像度
Windows98	オペレーティングシステム	： Windows98 日本語版
	CPU	： i486DX®66MHz 以上
	主記憶メモリ	： 16MB 以上
	ハードディスク空き容量	： 50MB 以上
	ディスプレイ	： VGA（640 × 480）以上の解像度
WindowsNT4.0	オペレーティングシステム	： WindowsNT4.0 日本語版
	CPU	： i486（25MHz）以上 X86 系または Pentium®
	主記憶メモリ	： 16MB 以上
	ハードディスク空き容量	： 50MB 以上
	ディスプレイ	： VGA（640 × 480）以上の解像度
Windows 2000	オペレーティングシステム	： Windows 2000 日本語版
	CPU	： Pentium® 133MHz 以上
	主記憶メモリ	： 32MB 以上
	ハードディスク空き容量	： 50MB 以上
	ディスプレイ	： VGA（640 × 480）以上の解像度

Macintosh

動作可能コンピュータ	USBポートを標準装備し、アップルコンピュータ株式会社よりUSBポートの動作が保証されている機種
動作可能環境	システムソフトウェア： Mac OS 8.1 以上 * メモリ ： A4 サイズの用紙へ印刷する場合 フォアグラウンドプリント時 ：7MB 以上の空きメモリ容量（16MB 以上を推奨） バックグラウンドプリント時 ：10MB 以上の空きメモリ容量（27MB 以上を推奨） A3 サイズの用紙へ印刷する場合 フォアグラウンドプリント時 ：9MB 以上の空きメモリ容量（23MB 以上を推奨） バックグラウンドプリント時 ：12MB 以上の空きメモリ容量（38MB 以上を推奨）

* 初期の iMac（ボンダイブルー）で MacOS8.1 をお使いの場合は、[iMac アップデート 1.0] を使って MacOS ROM をアップデートする必要があります。[iMac アップデート 1.0] は、アップルコンピュータ株式会社のホームページからダウンロードしてください。

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

A

AppleTalk（アップルトーク）
Macintosh の、ネットワーク用通信規約とそのソフトウェア。

A3 297mm（横）× 420mm（縦）の用紙サイズ。

A3 ノビ 329mm（横）× 483mm（縦）の用紙サイズ。

A4 210mm（横）× 297mm（縦）の用紙サイズ。

A5 148mm（横）× 210mm（縦）の用紙サイズ。

A6 105mm（横）× 148mm（縦）の用紙サイズ。

B

BBS（Bulletin Board System/ビービーエス）
パソコン通信上の電子掲示板サービス。

Bit（ビット） コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位で「2 進数（BInary digiT」の略。実数を 2 つの数字（0 または 1）で表す。

BIOS（Basic Input/Output System/バイオス）
コンピュータの基本的な動作を命令するプログラム。

BMP（ビーエムピー）
画像データを保存する際のファイル形式の1つ。Windows上でもっとも一般的に使用されている。

Byte（バイト） コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位。
1Byte=8 Bit（ビット）で構成され、1Byte で英数カナ文字 1 文字、2Byte で漢字 1 文字を表現する。

B4 257mm（横）× 364mm（縦）の用紙サイズ。

B5 182mm（横）× 257mm（縦）の用紙サイズ。

C

ColorSync（カラーシンク）
アップルコンピュータ社が提供する、Macintosh 用のカラーマネジメント機能の 1 つ。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSync の機能を 100% 発揮させるためには、使用する機器とソフトウェアの全てが、ColorSync に対応している必要がある。

CPI（Characters Per Inch/シーピーアイ）
25.4mm ｛1 インチ｝の範囲に印字できる文字数を表す単位。
文字ピッチを示す単位として使う。

D

dpi（Dot Per Inch/ディーピーアイ）
解像度の単位で、25.4mm ｛1 インチ｝幅に印字できるドット数を示す。

DMA（Direct Memory Access/ディーエムエー）
CPUを介さずに直接メインメモリと周辺装置、あるいは周辺装置内でデータをやりとりする機能。

E

ECP（Extended Capability Port/イーシーピー）
パラレルポートの拡張仕様の 1 つ。

ESC（Escape/エスケープ）
拡張用の制御コード。次に続くコードと組み合わせて 1 つの機能を実現する。コードの 27（〈1B〉H）。

ESC/P（EPSON Standard Code for Printer/イーエスシーピー）
セイコーエプソンが標準化した、ターミナルプリンタ用コントロールコード体系。

EtherTalk（イーサトーク）
Macintosh を Ethernet（イーサネット）に接続するための、AppleTalk の通信規約。
LocalTalk より通信速度が速い。

F

FG 線
プリンタとコンピュータとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続するコード。通常、インターフェイスケーブルのプリンタ側コネクタの横にケーブルから出ているが、インターフェイスケーブルによっては FG 線がないものもある。

I

ICM（Image Color Matching/ アイシーエム）
Windows のカラーマネージメントシステム。
ICM 機能を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタでの印刷結果の色合いを合わせることができる。

J

JIS（Japanese Industrial Standard/ジス）
日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードの規格。

K

KB（Kilo Byte/ キロバイト）
データ量の単位。1KB=1024 Byte。

L

Legal（リーガル）
216mm（横）× 356mm（縦）の用紙サイズ。

Letter（レター）
216mm（横）× 279mm（縦）の用紙サイズ。

LocalTalk（ローカルトーク）
Macintosh に装備されている、AppleTalk ネットワークシステムの 1 つ。
データの転送速度は、EtherTalk などと比べてきわめて遅い。

M

MB（Mega Byte/ メガバイト）
データ量の単位。1MB=1024 KB=1024 × 1024 Byte。

O

OHP シート
オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。

OS（Operating System/オーエス）
コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。

P

PICT（ピクト）
画像データを保存する際のファイル形式の 1 つ。Macintosh でもっとも一般的に使用されている。

R

RAM（Random Access Memory/ ラム）
データなどを読み書きできるメモリ。

ROM （Read Only Memory/ロム）
データなどの読み出し専用のメモリ。

RS-423（アールエス 423）
シリアルインターフェイスの規格の 1 つ。

S

sRGB（エスアールジービー）
Microsoft 社とヒューレットパッカード社が共同で制定した RGB の色の規格。
今後増えてくる sRGB 対応の画像を、sRGB 対応の機器（スキャナ・ディスプレイ・プリンタなど）を使って入出力する場合、それぞれの機器同士でカラーマッチング（色合わせ）を行うことができる。

U

USB（Universal Serial Bus/ ユーエスビー）
中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つ。
コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。

Ⓥ VGA（ヴイジーエー）

もともと、IBM PS/2のグラフィックス制御用チップの名称で、解像度・色数などのディスプレイへの表示能力を示す。VGA を拡張した SVGA という規格もある。

VGA　：　640 × 480 ドット 16 色
SVGA　：　800 × 600 ドット 256 色
　　　　　1024 × 768 ドット 256 色

* コンピュータのグラフィックアクセラレータの性能により、更に高解像度・多色表示が可能。

アイウエオ

㋐ アイコン　コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類,フォルダなどを象徴する図柄。マウスでこの図柄をクリックなどすることにより、さまざまな命令をコンピュータに指示する。

圧縮（データ圧縮）　1 つ、または複数のファイルを 1 つにまとめて、データ容量を小さくすること。圧縮されたデータは展開して、元のデータに戻して使用する。（これを「解凍」と言う。）

アプリケーションソフトウェア

コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。
ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

㋑ インクカートリッジ　印刷用のインクが入った容器。

インクジェットプリンタ

プリントヘッドのノズル部分（インク吐出孔）からインクを用紙に吹きつけて印刷するプリンタ。

インストーラ　CD-ROMやフロッピーディスクで供給されるデータやソフトなどを自分のコンピュータのハードディスクにコピーし、更に、使用できる状態に環境を自動的に整えるソフト。

印刷領域　印刷内容が欠落することなく用紙に印刷されることを保証する領域。この領域を超えて作成されたデータは、印刷されないか、2 ページにまたがって印刷される。

インターフェイス　異なる機器が接続される接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやりとりするためのハードウェアやソフトウェアの接続仕様。

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されているインターフェイス以外に、更にインターフェイスを増やしたい場合にプリンタに取り付けるカード。目的に合わせて、さまざまなカードが用意されている。（本機はインターフェイスカードを装着できません。）

インターフェイスケーブル

プリンタとコンピュータを接続するケーブル。接続するコンピュータの種類によって、使用するケーブルが異なる。

インターフェイスコネクタ

インターフェイスケーブルを差し込む端子。

インチ　長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

㋔ オートシートフィーダ

セットされている用紙を自動的に 1 枚ずつ給紙する装置。

オプション　本書では、別売りのプリンタ関連用品を意味する。

㋕ 改行　印刷位置を次行の左マージン位置に移動すること。

解像度　画質の細かさを表す指標で、一般に dpi（Dot Per Inch; 25.4mm{1 インチ} あたりのドット数）の単位で表わす。
解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、コンピュータで処理しなければならないデータの容量も多くなり、印刷に時間がかかる。

解凍　圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

改頁 印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印字開始位置）に移動すること。

カラーマッチング 原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

キ

起動 コンピュータやアプリケーションソフトウェアを、使用可能な状態にすること。

キャッピング プリントヘッドの乾燥を防ぐために、プリンタが自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

ギャップ調整 黒 / カラーインクの吐出位置を調整する機能。この機能を実行することにより、双方向印刷時の縦罫線のズレや、黒インクとカラーインクの印刷位置のズレを補正する。

キャリッジ プリントヘッドやインクカートリッジを左右に移動させる部分。

給紙 オートシートフィーダにセットされている用紙を、ページ先頭位置まで紙送りすること。

ク

クライアント ネットワーク環境下において、サーバから各種サービスを受ける側となるコンピュータ。

グラデーション 画像の色合いや濃淡が徐々に変わること。

グラフィックアクセラレータ
Windows や Macintosh が動作するパソコンにおいてグラフィックス表示を高速化する専用ビデオアダプタ。

クリック マウスのボタンを“ カチッ ”と1回押すこと。「右クリック」はマウスの右ボタンでクリックすること。

クリーニング プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの詰まりを解消する機能。

コ

誤差拡散 印刷時に中間色、階調などを表現するための手法の1つ。写真などの印刷時に、最も自然な感じに印刷できる。

コネクタ インターフェイスケーブルの先端と、その先端を差し込むところ。

コントロールコード プリンタの機能を制御するためにコンピュータからプリンタ側へ送られるコード（命令符号）。

サ

サーバ ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

シ

充てん プリントヘッドインクを満たして、印刷できる状態にすること。

初期設定値 電源スイッチをオンしたときに選択される設定。

初期動作 電源スイッチをオンにしたときに行われる、プリンタのウォーミングアップ。プリントヘッドが左右に動き、インクエンドなどのエラー状態を検査する。

ス

スーパーファイン印刷
スーパーファイン専用紙などに、720dpi の解像度で印刷する機能。

スプール プリンタ出力などで印刷データを一時的にディスクに保存してからプリンタに送信する出力の手法。

スプールマネージャ
印刷データを一時的に蓄えるアプリケーションソフト。
スプールマネージャが印刷処理を実行するため、印刷中でもコンピュータは別の作業をすることが可能となる。

セ

セルフクリーニング
プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

ソ

双方向印刷 プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷する方法で、より高速に印刷できます。ただし、印刷品質が多少低下する場合があります。

タ

ダウンロード ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

ダブルクリック マウスのボタンを、速い操作で 2 回連続して “ カチカチッ ” と押すこと。

チ **チェックボックス** ダイアログボックスやウィンドウ内で、項目（機能）の有効 / 無効を指定するための四角いマーク。クリックで有効⇔無効を切り替える。有効の場合は四角の中に×や✔が表示され、無効の場合は四角の中が空白になっている。

テ **ディレクトリ** 大量のファイルを整理および管理するために考え出された概念。ディレクトリ名は、記憶装置（ハードディスクや CD-ROM など）のどこにファイルが記憶されているかを示す「住所」のような働きをする。

デバイス CPU に接続する全てのハードウェア装置の意味。

ト **ドライブ** CD-ROM、ハードディスク、フロッピーディスクなどの駆動装置。Windows の場合、管理のために各ドライブにアルファベットを割り振り、ドライブ名としている。

ドラッグ マウスのボタンをクリックすることにより対象となるアイコンやオブジェクトを掴み、マウスのボタンを押したままマウスを動かして、アイコンやオブジェクトを移動させること。

ノ **ノズル** インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。プリントヘッドにはこのインク吐出孔がたくさんあり、そこからインクを用紙に吹き付けている。インクが乾燥したりしてこの孔が詰まると、印刷品質が悪くなる。

ノズルチェックパターン
プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。格子状のパターンの中に印刷されない箇所（線が途切れている箇所）がある場合は、ノズルが詰まっているので、プリントヘッドのクリーニングを行う必要がある。

ハ **排紙** 用紙をプリンタから排出すること。

バッファ コンピュータから送られてきた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

パラレルインターフェイス
データ転送を 8 ビットずつ行う転送方式のインターフェイス。

フ **ファイン印刷** 360dpi の解像度で印刷する機能。

フィットページ 設定した用紙サイズに合わせて、データを自動的に拡大 / 縮小して印刷する機能。

フォーマット ハードディスクやフロッピーディスクなどを、利用するOSにあわせて初期化すること。

フォト印刷 最高品質で印刷する機能。

フォルダ ディレクトリと同義語。画面上ではディレクトリといわずフォルダと呼ばれる場合が多い。

フォント（書体） 字体のこと。明朝体・ゴシック体などがある。

プラグアンドプレイ Windows95/98/2000で提供される、コンピュータにハードウェア（プリンタなど）を接続するだけで自動的に動作環境が設定されてすぐに使用可能状態になる機能。

フラップ 封筒の、封を閉じる折り返しの部分。

プリセットメニュー あらかじめ用意されている、用途別の選択肢。

プリンタドライバ アプリケーションソフトウェアの命令をプリンタのコマンドに変換する、システムの一部に組み込むもの（またはソフトウェアの一部）。

プリンタバッファ コンピュータから送られた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

プリントキュー 印刷データを一時的に記憶しておくソフトウェア。

プリントヘッド 用紙にインクを吹き付けて印刷する部分（ノズル先端部分）。外部からは見えない位置にある。

プログレスメータ 印刷の進行状況やインク残量などを表示するダイアログボックス。

プロファイル 各機種固有の色情報が記された、色補正用データ。

ヘ **ページ先頭位置** 用紙の一番初めに印刷される位置。

ホ **ポイント**　マウスカーソルをメニューの項目に合わせて、クリックせずにその先の階層メニューを自動的に表示させること。この機能はWindows95/98/NT4.0/2000で提供されている。

ポート　プリンタやモデムなどの周辺機器をコンピュータに接続するために使うコネクタやソケット。

ポップアップメニュー
枠内をクリックすることにより、複数の選択肢が表示されるメニュー。

マ **マージン**　余白のことで、物理的に印刷不可能な用紙上の領域を言う。

マイクロウィーブ機能
行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する、エプソン独自の機能。

マルチサイズドット
インクの吐出量を3段階に吹き分けることによってムラのない写真品質のグラフィックスイメージを提供するEPSON独自の機能。

ミ **右クリック**　マウスの右ボタンを“カチッ”と１回押すこと。

メ **メモリ**　情報（データ）を保存する部分。プログラムのような固定された情報を保持するROM（Read Only Memory－読み出し専用メモリ）や、一時的に情報を格納するRAM（Random Access Memory－読み書き可能メモリ）などがある。

ラ **ラジオボタン**　ディスプレイ上に表示されるダイアログボックスやウィンドウの中で、複数の選択肢の中から１つを選択するための丸いボタン。選択されていない状態は○、選択されて有効になっている状態は◉で表示される。

リ **リストボックス**　複数の項目が、一覧となって表示される窓。複数の候補の中から、特定のものを選択するために表示される。

リセット　バッファをクリアし、各設定値を初期設定値に戻すこと。

レ **連続印刷**　電源スイッチのオン・オフ操作およびヘッドクリーニング操作などで動作を中断することなく、印刷し続けること。

ロ **ローカルプリンタ**　コンピュータのポートと直接インターフェイスケーブルで接続されているプリンタを意味する。

ロジカルシーキング　双方向最短距離印字機能。次の行の印字位置への移動が最短距離になるように判断して改行する。

第 8 章

困ったときにお読みください

MC-2000 Trouble Shooting

「故障かな？」と思ったときは、

エプソンインフォメーションセンターにお問い合わせいただく前に、

まず、この「困ったときにお読みください」をよくお読みいただき、対処方法が記載されているかを必ずご確認ください。

故障かな？と思ったら

※ 操作パネルのエラー表示（ランプの点滅/点灯）については、「エラー表示」（8ページ）をご覧ください。

1

電源ランプが点灯しない

178 ページ

2

電源ランプが点灯しているのに給紙しない／給紙したのに何も印刷しない

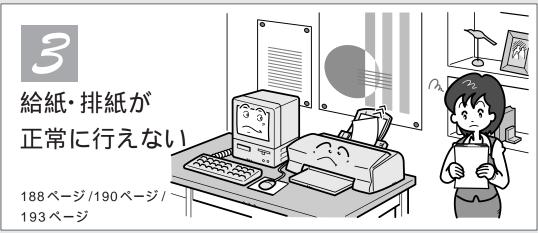
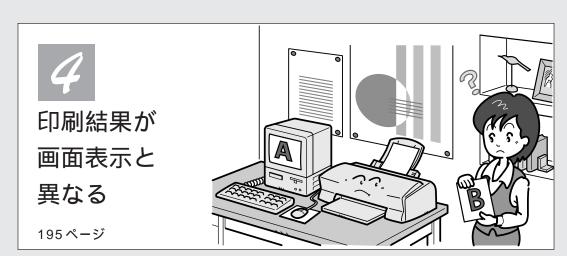
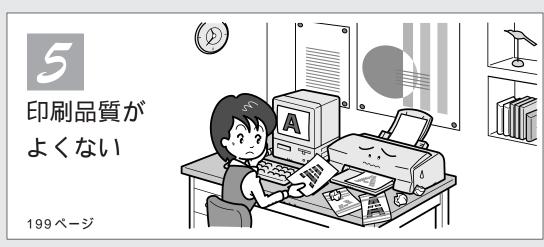
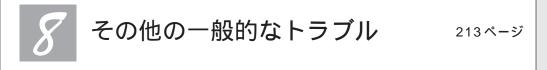
179 ページ

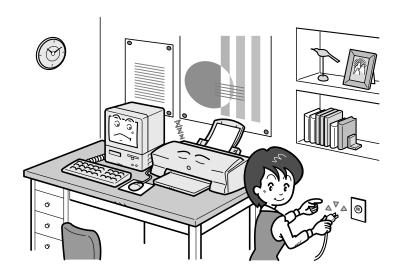
3

給紙・排紙が正常に行えない

188 ページ /190 ページ /
193 ページ

A
B

A
A

1 電源ランプが点灯しない

電源 スイッチをオンにしても操作パネルのランプが 1 つも点灯しない。

次の 2 点を確認してください。

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？
他の電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

以上の 2 点を確認の上で 電源 スイッチをオンにしても電源ランプが点灯しない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
エプソンの修理窓口に関する詳細は同梱の「サービス・サポートのご案内」を参照してください。

2 電源ランプが点灯しているのに給紙しない／給紙したのに何も印刷しない

プリンタのエラーを確認しましょう

プリンタにエラー(正常でない状態)が発生したときは、操作パネルのランプ表示で知らせます。
☞本書「エラー表示」8 ページ

プリンタとコンピュータの接続を確認しましょう

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタ[*1]とコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているかを確認してください。
また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。
（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。）

*1 コネクタ：インターフェイスケーブルの先端と、その先端を差し込むところ。

コネクタのピンが折れたりしていませんか？
コネクタ部分のピンが折れてたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
☞本書「インターフェイスケーブルについて」154 ページ

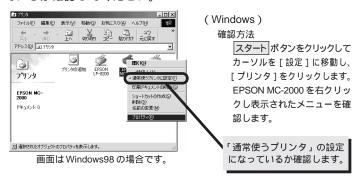
コンピュータとプリンタはケーブルで直結していますか？
プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファ[*2]および延長ケーブルを使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できません。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。

*2 プリンタバッファ：コンピュータから送られた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

プリンタドライバが正しくインストールされているか確認しましょう

MC-2000用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

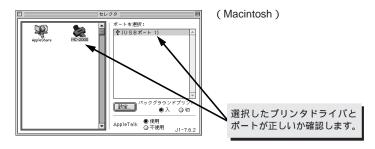
MC-2000用のWindowsプリンタドライバが、コントロールパネルやアプリケーションソフトで、通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

画面は Windows98 の場合です。

チェック Mac

MC-2000用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

MC-2000 用の Macintosh プリンタドライバ「MC-2000」がセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。

（Macintosh）

チェック Win

Windowsにおいて、プリンタドライバからの印字テストは正常に行えますか？

プリンタドライバからの印字テストを行うことにより、プリンタとコンピュータの接続、およびプリンタドライバの設定が正しいかどうかを確認できます。

1. プリンタが印刷可能状態であること（電源ランプのみが点灯）を確認し、プリンタにA4の用紙を複数枚セットします。
2. スタート から［設定］-［プリンタ］のフォルダを開きます。
3. ［EPSON MC-2000］のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］を選択します。
4. プロパティ画面でWindows95/98の場合は［情報］または［全般］のタブを選択し右下の 印字テスト をクリック、WindowsNT4.0/2000の場合は［全般］のタブを選択し、右下の テストページの印刷 をクリックします。

しばらくすると、「Windows95PrinterTestPage」、「Windows98プリンタの印字テスト」、「WindowsNTプリンタテストページ」、「Windows 2000 プリンタテストページ」の印刷がはじまります。下図を参考にして印刷結果が正常かどうかを確認してください。

※ テストページに記載されている「ドライババージョン」とはWindows内部のドライバのバージョンであり、お客様がインストールされた当社のプリンタドライバのバージョンとは異なります。

Windows98の例　　**WindowsNT4.0の例**

Windows 98
プリンタの印字テスト

EPSON MC-2000 のインストールが完了しました。

プリンタ ドライバとポートの設定は、次のとおりです。

プリンタ名 : EPSON MC-2000
プリンタ モデル : EPSON MC-2000
ドライバ名 : EPIJNL30.DRV
ドライバ バージョン : 4.00
カラー印刷 : あり
ポート名 : EPUSB2:
データ フォーマット: RAW

ドライバで使用されるファイル :
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIFLN50.TFA
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIFLN51.DLL (1.0.8)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIFLN52.DLL (1.0.8)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIJNL30.DRV (2.0.5)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIREP30.DLL (2.0.4)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIBBL10.EXE (1.0.0)

Windows NT
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃｽﾄ ﾍﾟｰｼﾞ

おめでとうございます!

この情報を読めるということは、EPSON MC-2000 (HSAT90 上) が正しくｲﾝｽﾄｰﾙされたことを意味します。

以下の情報は、ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾄﾞﾗｲﾊﾞとﾎﾟｰﾄ設定の説明です。

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名: HSAT90
ﾌﾟﾘﾝﾀ名: EPSON MC-2000
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾓﾃﾞﾙ: EPSON MC-2000
色ｻﾎﾟｰﾄ: 有効
ﾎﾟｰﾄ名: LPT1:
ﾃﾞｰﾀ形式: RAW
共有名: MC-2000
場所:
ｺﾒﾝﾄ:
ﾄﾞﾗｲﾊﾞ名: E_DMAI01.DLL
ﾃﾞｰﾀ ﾌｧｲﾙ: E_DM01SJ.VIF
構成ﾌｧｲﾙ: E_DU01SE.DLL
ﾄﾞﾗｲﾊﾞのﾊﾞｰｼﾞｮﾝ: 4.01
環境: Windows NT x86
既定のﾃﾞｰﾀの種類: RAW

このﾄﾞﾗｲﾊﾞが使うﾌｧｲﾙ:
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥E_DMAI01.DLL (0.2.0.8)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥E_DJNL01.DLL (0.1.0.2)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥E_DKOT01.DLL (0.1.0.2)

※ **印刷されるページは1枚のみです。A4サイズなどの用紙の場合、用紙の下端において印刷が途切れますが、異常ではありません。**

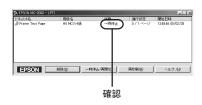
テストページが正しく印刷された場合は、プリンタとコンピュータの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。

テストページが正しく印刷されない場合は、本書のここまでの項目を再度確認してください。

☞ 本書「電源ランプが点灯しているのに給紙しない/給紙したのに何も印刷しない」179ページ

コンピュータ、システムを確認しましょう

EPSON スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

（Windows95/98 その 1）

① タスクバー上の EPSON MC-2000 をクリックしてスプールマネージャを開きます。

② 印刷データの［状態］が［一時停止］になっている場合は、印刷データをクリックして 一時停止 / 再開 ボタンをクリックしてください。

- 印刷の必要のないデータは削除してください。

（Windows95/98 その 2）

① スタートメニューの［設定］にカーソルを合わせて［プリンタ］をクリックします。

②「MC-2000」を右クリックして、表示されたメニューの［一時停止］にチェックが付いている場合は、クリックして「✔」を外します。

（WindowsNT4.0/2000）

① スタートメニューの［設定］にカーソルを合わせて［プリンタ］をクリックします。

②「MC-2000」をダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は、［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックして「✔」を外します。

プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先の設定が合っていますか？

通常プリンタの接続先は、パラレルインターフェイスの場合「LPT1」/USBインターフェイスの場合「EPUSB」に設定されています。Windows98をご利用の場合は、ご使用のインターフェイスケーブルに応じて印刷先のポートを変更してください。また、WPS[*1]プリンタをインストールしている場合、接続先が「File：」に変更されていることがあるので注意が必要です。

☞本書「プリンタ接続先の設定」86ページ

*1 WPS：Microsoft Windows Printing Systemの略。

Macintoshのシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh用プリンタドライバは、Macintosh本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルのRAMキャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

印刷時に必要な空きメモリ容量については、以下のページを参照してください。

☞本書「プリンタドライバのシステム条件」168ページ

● Macintoshでのメモリの設定

① アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、その中の「メモリ」を起動します。

② メモリのウィンドウで「ディスクキャッシュ」や「仮想メモリ」の設定を変更します。

EPSON Monitor3のステータスが「プリントキュー停止中」になっていませんか？

EPSON Monitor3の［プリンタ］メニューで［プリントキューの停止］を選択すると、停止が解除されるまで印刷は行われません。

確認

① 画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択します。

② ステータスが「プリントキューの停止中」の場合は、画面上部の［プリンタ］メニューから［プリントキューの開始］を選択します。

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」「用紙がありません。」と表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタのランプがエラーを示していないか確認してください。

アプリケーションソフトを確認しましょう

ここでは、トラブルが特定のアプリケーションソフトまたは特定のデータだけで起こるものなのかどうかについて判断します。

違うデータを印刷した場合、またはデータ量が少ない場合は正常に印刷が可能ですか？

データが壊れているなどの理由により、特定のデータだけ印刷ができないという可能性があります。他のデータを印刷することで確認してください。

また、データ量が大きな場合はデータ量を少なくして確認してください。データ量が大きいときにだけ印刷ができない場合は、アプリケーションソフトとメモリの関係、コンピュータのシステムなどに問題がある可能性がありますので、続いて本書の次の確認項目へ進んでください。

アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては適切ですか？

メモリの空き容量を確保した上で、以下の方法で使用するアプリケーションソフトへのメモリの割り当てサイズを増やして、正常な印刷が行えるかどうかを確認してください。

1. ハードディスクの中から、メモリの割り当てサイズの変更を行いたいアプリケーションソフトのフォルダをダブルクリックして開きます。
2. 開いたフォルダの中の、アプリケーションソフトを起動させるファイル（起動ファイル）をクリックして選択した状態で、画面左上の［ファイル］から［情報を見る］を選択します。
3. 画面上に選択したアプリケーションソフトの情報が表示されますので、そのウィンドウの［メモリ使用条件］の項目の［最小サイズ］と［使用サイズ］を増やしてください。

インクカートリッジの状態を確認しましょう

プリントヘッドは動くが印刷しない場合は、まず、プリンタの動作確認を行います。

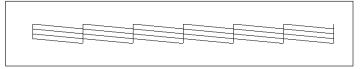
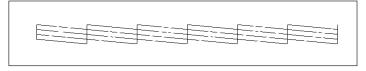
MC-2000は、プリンタ内部で持っているノズルチェックパターンを印刷する機能をもっています。

コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷状態を確認できます。

1. 電源 スイッチをオフにし、プリンタケーブルを外します。
2. A4サイズの用紙（事務用普通紙など）を複数枚プリンタにセットします。
3. 給紙/排紙（ ） スイッチを押したまま 電源 スイッチをオンにします。
   印刷が始まるまで 給紙/排紙（ ） スイッチを押したままにしてください。（約3秒間）

チェック

ノズルチェックパターンは正常に印刷されましたか？

＜良い例＞

＜悪い例＞

ノズルチェックパターンが欠けている場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。クリーニングの方法は、2通りあります。

【方法1】プリンタ本体パネル上の インクメンテナンス（ ） スイッチを3秒間押したままにします。

【方法2】プリンタドライバの[ユーティリティ]ダイアログ内の ヘッドクリーニング をクリックします。

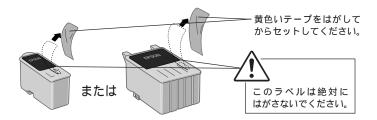
☞本書「ヘッドクリーニング」136ページ

インクカートリッジは、黄色いテープをはがしてからセットしましたか？

インクカートリッジは、必ず黄色いテープをはがしてからプリンタにセットしてください。黄色いテープをはがさずにセットすると、印刷できなくなります。

黄色いテープをはがさずにセットしてしまった場合は、新しいインクカートリッジを用意し、黄色いテープをはがしてからプリンタにセットし直してください。

なお、黄色いテープをはがさずにセットしたインクカートリッジは、再使用できません。

☞本書「インクカートリッジの交換」149 ページ

プリンタを、長期間使用せずにいませんでしたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。

プリンタを長期間使用しなかった場合の処置については、以下のページを参照してください。

☞「プリンタを長期間使用しない場合のご注意」160 ページ

もう一度コンピュータを確認します

システム条件を確認しましょう。

お使いのコンピュータのシステム条件によっては、MC-2000をご利用になれない場合もあります。もう一度システム条件の確認をしてください。

☞本書「プリンタドライバのシステム条件」168ページ

BIOSの設定を確認してください。

コンピュータのBIOS[*1]システムセットアップのパラレルポートのモード設定がEPPなどとなっている場合には、Bi-Directional、Compatible、ECPなどに変更してください。

BIOSシステムセットアップの方法は各社、各機種により異なりますので、コンピュータの取扱説明書などを参照して、設定の確認、変更を行ってください。

*1 BIOS：（Basic Input / Output System）コンピュータの基本的な動作を命令するプログラム。

OSは正常に動作していますか？

以下の方法で、簡単なOSのチェック、修復ができます。詳しい方法はそれぞれの取扱説明書などを参照してください。

Windows95/98の場合

スタート から［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［スキャンディスク］を起動し、Windows95/98が入っているドライブのチェック、修復を行ってください。

WindowsNT4.0/2000の場合

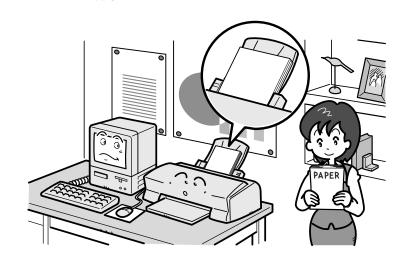
［マイコンピュータ］の中から、WindowsNT4.0/2000が入っているドライブを選択し、［プロパティ］-［ツール］-［エラーチェック］を行ってください。

Macintoshの場合

Mac OSに添付の［DiskFirstAid］を実行することにより、OSのチェック、修復が行えます。詳しくは、Mac OSの取扱説明書を参照してください。

プリンタドライバを再度インストールしてみましょう。

以上のことを確認しても、まったく印刷が行えない場合、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。MC-2000プリンタドライバを再度インストールしてみましょう。Windowsの場合は、一度削除（アンインストール）してから再度インストールしてください。

給紙・排紙が正常に行えない(給紙編)

給紙がうまくできないときは、まず設置場所を確認し、次に用紙を正しくセットし直してください。

各種用紙のセット可能枚数と詳細については、以下のページを参照してください。
☞本書「使用できる用紙の種類」10 ページ

左のエッジガイドをセットした用紙の側面に合わせていますか？
エッジガイドの幅が狭すぎると、用紙が動きにくくなって、用紙を給紙しない原因となります。また、エッジガイドの幅が広すぎると、斜めに給紙されたり、重なって給紙される原因となります。セットした用紙の側面に正しく合わせてください。

プリンタにセットしてある用紙が多すぎませんか？
一度にセットできる用紙の量は、用紙の種類によって異なります。用紙の量が多すぎると、正常に給紙できない場合があります。
☞本書「使用できる用紙の種類」10 ページ

用紙の先端が、プリンタ内部に押し込まれていませんか？
用紙の先端がプリンタ内部に押し込まれていると、重なって給紙される原因となります。

MCマット紙に給紙補助シートを添えずにセットしていませんか？
MC光沢紙、MC写真用紙〈半光沢〉(A3 サイズ以上)、MC画材用紙、MC マット紙（A3 サイズ以上）を複数枚まとめてセットしていませんか？
MC マット紙は、プリンタに給紙補助シートをセットして、その上にセットしてください。MC光沢紙、MC写真用紙〈半光沢〉(A3サイズ以上)、MC画材用紙、MC マット紙（A3サイズ以上）の場合は1枚ずつセットし、印刷データも1ページ単位に分けてプリンタへ送ってください。

用紙が正しくセットされている場合は、使用している用紙の状態を確認しましょう。

用紙にシワや折り目がありませんか？
古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。

一般の室温環境下で使用していますか？
各種専用紙と封筒は、一般の室温環境下(温度：15～25°C、湿度40～60%)で使用してください。

用紙が湿気を含んでいませんか？
湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、専用紙は、お使いになる分だけ袋から出して使用してください。長期間放置しておくと、専用紙が反ったり、湿気を含んで正常に給紙できない原因となります。

用紙はよくさばきましたか？
用紙は、よくさばいてからプリンタにセットしてください。
用紙をよくさばかないと、重なって給紙される原因になります。

用紙が反っていませんか？
用紙が反っていると正常に給紙できません。用紙の反りを直してからプリンタにセットしてください。

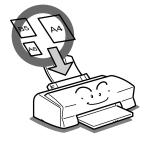
給紙・排紙が正常に行えない(排紙編)

1ページ分の印刷がすべて終わっても用紙が排出されなかったり、紙詰まりなどで排紙が正常に行えない場合は、次の項目を確認します。

左のエッジガイドはきつすぎませんか？またはすき間が開いていませんか？
エッジガイドを用紙の側面にきつく押しつけると、正しく紙送りができません。またすき間が開いていると、正しく紙送りができません。

用紙にシワや折り目がありませんか？
カールしたり、折り目のある用紙は紙詰まりの原因となります。

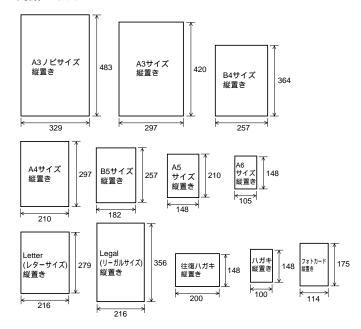
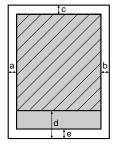
用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？
EPSON 純正品以外の用紙の厚さは 0.08 ～ 0.11mm 坪量 64 ～ 90g/ ㎡の範囲内のものをお使いください。
ハガキの場合は 0.23mm 以下です。

プリンタに用紙が横方向にセットされていませんか？
用紙はすべて縦方向にセットしてください。
往復ハガキのみ横方向にセットしてください。

チェック
アプリ

設定した用紙サイズ・印刷領域と実際の用紙は合っていますか？

設定と実際の用紙サイズが異なると、正しく排紙されないことがあります。設定と実際に印刷する用紙のサイズは必ず揃えてください。
また、使用できる用紙サイズと印刷領域は以下の通りです。印刷可能領域以外への印刷はできません。
印刷可能な封筒のサイズと印刷領域については、以下のページを参照してください。

☞本書「封筒への印刷」20 ページ

●用紙サイズ

●印刷領域

プリンタドライバで設定されているマージン（余白）の値は、以下の通りです。

プリンタドライバで［印刷領域］を［通常］に設定している場合（＝印刷推奨領域に印刷します。）
左端 a：3mm または 0mm
右端 b：3mm または 0mm
上端 c：3mm
下端 d：14mm
※ 180 度回転印刷時は上端 14mm、下端 3mm

プリンタドライバで［印刷領域］を［最大］に設定している場合（＝印刷可能領域に印刷します。）
左端 a：3mm
右端 b：3mm
上端 c：3mm
下端 e：3mm

チェック

改ページ命令がコンピュータから送られていますか？

ご使用のアプリケーションソフトによっては印刷後に排紙を行わないものもあります。この場合は、操作パネルの 給紙/排紙（）スイッチを押すと排紙されます。

※ 改ページ命令についての詳細は、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書をご参照いただくか、メーカーにお問い合わせください。

プリンタ内部に用紙が詰まっていませんか？

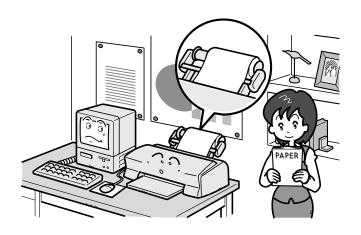
プリンタのカバーを開き、プリンタ内部に異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。
もし紙詰まりが発生している場合は、以下の手順で用紙を取り除いてください。

電源 スイッチをオフにし、プリンタカバーを開けます。

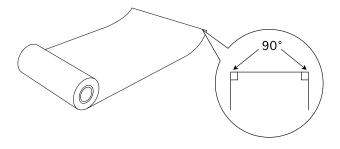
用紙を静かに引き抜きます。

プリンタカバーを閉じ、電源 スイッチをオンにして、用紙をセットし直します。

用紙は強い力で引き抜かないでください。強い力で引き抜くと、プリンタ内部のメカニズムを損傷するおそれがあります。
用紙が切れてプリンタ内部に残り、取れなくなってしまった場合は、無理に取ろうとしたりプリンタを分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口までご相談ください。

給紙・排紙が正常に行えない(ロール紙)

ロール紙を正常に給紙したり排紙したりできない場合は、次の点を確認してください。

給紙が正常に行えない

ロール紙の切断面が直角にカットされていますか？
ロール紙をご使用の場合、以下の図のように、用紙の端面に対して切断面が直角になっていないと斜めに給紙する原因となります。定規とカッターを使用して直角になるようにカットしてから、プリンタにセットしてください。
☞本書「ロール紙のカットと反りの修正」27 ページ

用紙が反っていませんか？
用紙が反っていると正常に給紙できません。用紙の反りを直してからプリンタにセットしてください。
反り修正用フィルムまたは薄手の冊子を使用して、必ず用紙の反りを修正してください。
☞本書「ロール紙のカットと反りの修正」27 ページ

ロール紙を給紙させる際に、用紙に手を添えて 給紙/排紙 スイッチを押しましたか？

ロール紙をご使用の場合、手を添えずに 給紙 / 排紙 スイッチを押して用紙を給紙させると、斜めに給紙する原因となります。必ず、手を軽く添えて 給紙 / 排紙 スイッチを押してください。

ロール紙へ印刷する際、プリンタドライバの［給紙方法］/［給紙装置］の項目が［オートシートフィーダ］/［オートシートフィーダ（左右余白無し）］になっていませんか？

プリンタドライバの［給紙方法］/［給紙装置］に［オートシートフィーダ］を選択したままロール紙に印刷を実行すると、プリンタは余分な用紙を給紙してエラー状態になります。ロール紙に印刷を実行する場合は、必ず［給紙方法］/［給紙装置］に［ロール紙］または[ロール紙(左右余白無し]を選択してください。誤って実行してしまった場合は、プリンタの後部で用紙を切り離し、プリンタの電源をオフにしてください。

排紙が正常に行えない

ロール紙へ印刷する際、排紙サポートは縮めた状態にしてありますか？

ロール紙をご使用の場合、排紙サポートは一番縮めた状態（2 段目、3 段目を収納した状態）にしてご使用ください。

ロール紙が斜めに給紙されていませんか？

ロール用紙が斜めに給紙されてしまった場合は、 給紙 / 排紙 スイッチを 3 秒以上押したままにします。用紙が取り除ける位置まで戻りますので、一度用紙を抜き取ります。 給紙 / 排紙 スイッチを押して、操作パネルの用紙チェックランプの点滅を消灯させてから、再度用紙を給紙し直してください。

印刷後 15 秒程度経過していますか？

ロール紙印刷後、最大 15 秒は 給紙 / 排紙 スイッチが効かないことがあります。
これはインクが乾くのを待っているためです。しばらくしてから押し直してください。

印刷結果が画面表示と異なる

印刷される文字が画面表示と異なる

Windows/Macintoshのアプリケーションソフトをご使用になっていますか？

MC-2000はWindows/Macintosh専用プリンタです。DOSのアプリケーションソフトでは正しく印刷できません。

MC-2000用のWindowsプリンタドライバが選択されていますか？

MC-2000用のWindowsプリンタドライバが、Windowsのプリンタの設定ダイアログボックスやアプリケーションソフトで、「通常使うプリンタ」として設定されているか確認してください。MC-2000用以外のプリンタドライバをご使用になると、正しく印刷されない場合があります。

☞ 本書「プリンタドライバが正しくインストールされているか確認しましょう」180ページ

印刷に失敗したり、中止したデータがスプールマネージャまたはプリントマネージャに残っている可能性があります。

プリンタの電源をオフにして、スプールマネージャまたはプリントマネージャに残っているデータを削除します。

☞本書「印刷の中止方法」47ページ

MC-2000用のMacintoshプリンタドライバが選択されていますか？

MC-2000用のMacintoshプリンタドライバ［MC-2000］がセレクタ画面で正しく選択されているか、また、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。

☞ 本書「プリンタドライバが正しくインストールされているか確認しましょう」180ページ

チェック
スタンプマークなどの印刷機能を使用すると、印刷結果と画面表示が異なります。プリンタドライバの設定を確認してください。
☞本書「便利な印刷機能について」
Windows 65 ページ
Macintosh 109 ページ

印刷位置が画面表示と異なる

チェック
アプリケーションソフトでページレイアウトの設定をしましたか？
ページレイアウトの設定で用紙サイズと余白（マージン）を確認してください。用紙サイズに対して印刷設定が適切か、見直してください。

チェック
プリンタドライバで設定した用紙サイズと、実際に使用している用紙サイズは同じですか？
プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログでの設定と実際の用紙サイズが合っていなければ正しい位置に印刷されません。設定と実際に印刷する用紙のサイズは合わせてください。
☞本書　Windows「用紙設定」54 ページ
Macintosh「用紙設定の手順」92 ページ

カラー印刷ができない

チェック
アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていますか？
アプリケーションソフト上でカラーデータになっているかどうか確認してください。
例）アプリケーションソフト「Adobe　Photoshop」の場合は［モード］がカラーになっているかどうかを確認します。

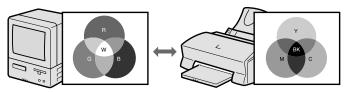
チェック
プリンタドライバのインクの設定が[カラー]になっていますか？
プリンタドライバ［基本設定］ダイアログ（Windows）/［印刷］ダイアログ（Macintosh）内のインクの設定が［黒］に設定されていると、カラー印刷ができません。設定が［カラー］になっているか確認してください。
☞本書　Windows「基本設定」51 ページ
Macintosh「印刷ダイアログ」98 ページ

画面表示と色合いが異なる

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3色すべてが光っている状態が白となります。

一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・マゼンタ（M）・黄（Y）の“色の三原色”を組み合わせています。まったく色を付けないのがもちろん白で、3色を均等に混ぜた状態が黒になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画(CMY)→ディスプレイ(RGB)→印刷(CMY)の変更が必要になり、更に一致させることが難しくなります。Macintoshでは、このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせこみ）をColorSync機能で行うことができます。

プリンタドライバのオートフォトファイン!4機能を有効にしていませんか？

オートフォトファイン!4は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン!4を有効にしてあると、表示画面と出力結果の色合いが異なる場合があります。

☞本書　Windows「手動設定」60ページ
Macintosh「詳細設定ダイアログ」104ページ

システム特性の設定を行いましたか？(ColorSync)

ColorSyncが正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションソフトがColorSyncに対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

☞本書「ColorSyncについて」115ページ

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。目的に応じて用紙(専用紙と普通紙など)を使い分けていただくことをお勧めします。

罫線がずれる

チェック

アジャストレバーの設定が＜＋＞位置になっていませんか？

通常は、＜０＞位置へ戻して印刷してください。

☞本書「厚紙へ印刷するときは」37 ページ

チェック

ドライバ

ギャップ調整された状態で双方向印刷（高速印刷）をしていますか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷を行います。この時、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷される場合があります。

双方向印刷をしていて、縦の罫線がガタガタにずれたときは、ギャップ調整をしてください。ギャップ調整は、プリンタドライバ[ユーティリティ]ダイアログの[ギャップ調整]ボタンをクリックして起動してください。

☞本書「ギャップ調整」138 ページ

5 印刷品質がよくない

印刷品質がよくないときは、まず、次の 4 点を確認してください。

チェック 1

アジャストレバーが＜ 0 ＞位置に設定されていますか？

封筒へ印刷するとき、および厚い用紙に印刷する際に印刷面が汚れる場合にのみアジャストレバーを＜＋＞位置に設定してください。

☞本書「厚紙へ印刷するときは」37 ページ

チェック 2

プリンタを、長期間使用せずにいませんでしたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。

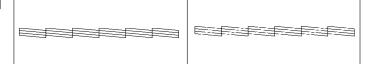
プリンタを長期間使用しなかった場合の処置については、以下のページを参照してください。

☞本書「プリンタを長期間使用しない場合のご注意」160ページ

チェック 3

ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか？

ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

＜良い例＞　＜悪い例＞

ノズルチェックパターンは、プリンタドライバ[ユーティリティ]ダイアログの ノズルチェック ボタンをクリックして印刷します。

☞本書「ノズルチェック」135 ページ

ノズルチェックパターンが欠けている場合は、次ページを参照してプリントヘッドのクリーニングを行ってください。

長期間使用していないプリンタで、ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、以下のページを参照してください。

☞本書「プリンタを長期間使用しない場合のご注意」160 ページ

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングの方法は、2通りあります。

【方法1】プリンタ本体パネル上の インクメンテナンス( ) スイッチを3秒間押したままにします。

【方法2】プリンタドライバ[ユーティリティ]ダイアログ内の ヘッドクリーニング ボタンをクリックします。

☞本書「ヘッドクリーニング」136ページ

クリーニングと印刷を5回くり返しても正常に印刷されない場合は、新しいインクカートリッジに交換してください。

☞ 本書「インクカートリッジの交換」149ページ

クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを本書巻頭カラーページに掲載していますので参照してください。
☞本書巻頭カラーページ「トラブルチェック用印刷サンプル」Ⓐ（16）ページ

ギャップ調整がされていますか？

画像がぼけたときは、ギャップ調整ユーティリティを起動して、プリントヘッドのギャップ調整をしてください。

ギャップ調整ユーティリティは、プリンタドライバ[ユーティリティ]ダイアログの ギャップ調整 ボタンをクリックして起動してください。

☞本書「ギャップ調整」138ページ

ギャップ調整が必要な場合の印刷サンプルを本書巻末に掲載していますので参照してください。
☞本書巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」Ⓔ

プリンタは水平な場所に設置されていますか？プリンタの下に、挟まれている物はありませんか？
また、プリンタを「プリンタ底面より小さい台」の上に設置していませんか？

設置場所が水平でなかったり、何か物が挟まれていたり、プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出していると、内部機構に無理な力がかかり、印刷品質に悪影響を及ぼします。

設置面が水平であること、ゴム製の脚のすべてが正しく接地していることをご確認ください。

印刷にムラがある、薄い、または濃い

以下のチェック項目が原因だと思われる印刷サンプルを本書巻頭カラーページに掲載していますので参照してください。
☞本書巻頭カラーページ「トラブルチェック用印刷サンプル」Ⓑ（16）ページ

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？
インクカートリッジは、プリンタに取り付けてから6ヵ月以内に使い切ってください。古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください（未開封のインクカートリッジは、インクカートリッジ個装箱に記載されている期限までに使い切ってください）。
☞本書「インクカートリッジの交換」149ページ

プリンタドライバで設定した用紙種類の設定と実際に使用している用紙種類は同じですか？
プリンタドライバ［基本設定］ダイアログ（Windows）/［印刷］ダイアログ（Macintosh）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響をおよぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

双方向印刷(高速印刷)をしていませんか？
双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、より高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、双方向印刷の設定を解除してください。

プリンタドライバでカラー調整をしましたか？（Windows95/98/2000/Macintosh）
出力装置(この場合はディスプレイとプリンタ)の違いによって、カラー出力の色合いが多少違うことがあります。このような場合に、ディスプレイの色をより忠実に再現するためのカラー調整の機能が用意されています。こうした機能を使って、カラー調整をしてみてください。
☞本書　Windows「手動設定」60ページ
Macintosh「詳細設定ダイアログ」104ページ

印刷がきたない、汚れる、にじむ

以下のチェック項目が原因だと思われる印刷サンプルを本書巻頭カラーページに掲載していますので参照してください。
☞本書巻頭カラーページ「トラブルチェック用印刷サンプル」ⒸⒹ（16）ページ

用紙仕様外の厚い用紙、または薄い用紙を使用していませんか？
プリンタで使用できるEPSON純正品以外の用紙の厚さは、単票用紙で0.08〜0.11mm、ハガキでは0.23mm以下です。仕様に合った用紙を使用してください。
ただし、ハガキや封筒などの厚い用紙を使用するとプリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。
このような場合には、アジャストレバーを＜＋＞位置にセットしてください。
☞本書「厚紙へ印刷するときは」37ページ

厚紙や封筒に印刷する際に、アジャストレバーが＜＋＞位置にセットされていますか？
厚紙や封筒へ印刷する場合は、アジャストレバーを＜＋＞位置にセットしてください。＜0＞位置では用紙とプリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。
☞本書「厚紙へ印刷するときは」37ページ

普通紙を使用していませんか？
普通紙には、インクがにじみやすい種類もあります。カラー画像を印刷する場合や、より良い印刷品質をお求めになる場合は、専用紙のご使用をお勧めします。

MC光沢紙、MC写真用紙〈半光沢〉、MC画材用紙に印刷後、すぐに印刷面に触れていませんか？
上記の専用紙はインクの乾きが普通紙などと比べて遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れることがあります。印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから1枚ずつ取り去って十分乾かしてください。

プリンタの内部は汚れていませんか？
用紙の上端および裏面が汚れる場合は、プリンタ内部の用紙の通過経路が汚れている可能性があります。給紙/排紙 ボタンを押して、通紙を数枚分行ってください。それでも改善されない場合は、プリンタの内部の汚れをきれいにしてください。
☞本書「プリンタのお手入れ」159 ページ

プリンタの排紙ローラは汚れていませんか？
排紙ローラが汚れていると、印刷面に直線状の汚れが付くことがあります。
☞本書巻頭カラーページ「トラブルチェック用紙印刷サンプル」Ⓓ（16）ページ
このような場合には排紙ローラのクリーニングを行ってください。
☞本書「排紙ローラのクリーニング」141 ページ

プリンタに用紙を横方向でセットしていませんか？
用紙はすべて縦方向にセットしてください。
往復ハガキのみ横方向にセットしてください。

印刷可能領域に印刷していませんか？
印刷領域を［最大］に設定して印刷すると、紙送りの機構上、印刷の内容によっては用紙の下端3mm〜14mmの間で印刷品質の低下が生じる場合があります。また、プリントヘッドが用紙下端とこすれることにより、用紙の最下端部分がまれに汚れることがあります。この場合は、用紙の反りを修正してプリンタにセットし直してください。それでも汚れが発生するときは、アジャストレバーを＜＋＞位置にセットしてください。

インクカートリッジは推奨のもの（当社純正品）をお使いですか？
純正品以外のインクカートリッジをお使いの場合は、ときに印刷の色合いが異なったり、プリントヘッドの目詰まりを起こしたりする可能性があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず製品に合った型番のものを使用してください。

- 黒インクカートリッジ　MC1BK01
- カラーインクカートリッジ　MC5CL01

チェック

プリンタ情報を取得していますか？（Windows）
色の再現性を向上させるためにプリンタのヘッド情報が必要です。プリンタドライバの［ユーティリティ］の プリンタ情報 を起動して確認してください。
☞本書「プリンタ情報」144 ページ

6 USB ケーブル接続時のトラブル

インストールできない（Windows98）

チェック
1

ご利用のコンピュータは、USB接続するためのシステム条件を備えていますか？

Windows98環境下でUSBケーブルを接続するためには、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- Windows98 がプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows98 がインストールされているコンピュータ）
- USB に対応したコンピュータ
- コンピューターメーカーによりUSBポートの動作が保証されているコンピュータ

USB に対応したコンピュータであるか確認するには

USBに対応したコンピュータであるかを確認しましょう。

（ユニバーサルシリアルバスコントローラ）の下に USB ホストコントローラと（USB ルートハブ）が表示されていればUSB に対応したコンピュータです。

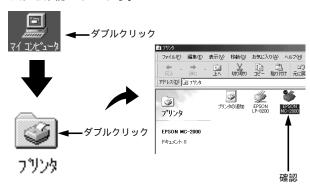
ご利用のコンピュータがUSBを使用できるかどうかは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。

■ USB に対応したコンピュータの場合
→次のチェック項目 チェック 2 へ進みます。

■ USB に対応していないコンピュータの場合
→ USB 接続はご利用いただけません。
パラレル接続をご利用ください。

チェック 2

本当にインストールできないか確認しましょう。
[MC-2000]アイコンがなければプリンタドライバはインストールされていません。

[プリンタ]フォルダを開いて、[MC-2000]アイコンがあるかを確認しましょう。

■ [MC-2000]アイコンがある場合
→プリンタドライバはインストールされています。
次のステップ2へ進み、[印刷先のポート]を確認します。

■ [MC-2000]アイコンがない場合
→プリンタドライバが正常にインストールされていません。
次のチェック項目3へ進みます。

プリンタの電源をオンにして、印刷先のポートを確認しましょう。

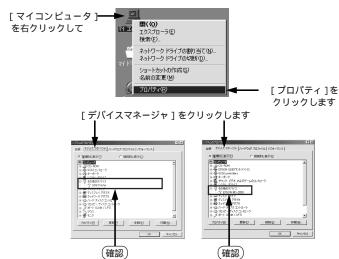
■ [EPUSBx]の表示がない場合（x は数字）
→ USB デバイスドライバが正しくインストールされていません。
次のチェック項目3へ進みます。

■ [EPUSBx]の表示がある場合
→ドライバは正常にインストールされています。
テスト印刷を実行して、印刷できるかご確認ください。

チェック 3

[不明なデバイス]として登録されていないか確認しましょう。

プリンタの電源をオンにして、プリンタ、コンピュータそれぞれに USB ケーブルを接続します。

[デバイスマネージャ]の状態を確認します。

ご確認いただいた表示が上記のどれにも当てはまらない場合は、一度 USB ケーブルを抜き差ししてみてください。

■ [その他のデバイス]として表示されている場合
　→次のステップ 3 へ進みます。
■ [その他のデバイス]として表示されていない場合
　→次のチェック項目 4 へ進みます。

[その他のデバイス]として登録されたドライバを削除します。

プリンタの電源をオフにしてから、再度インストールを実行してください。

セットアップガイド「プリンタドライバをインストールします！」（Windows）7 ページ

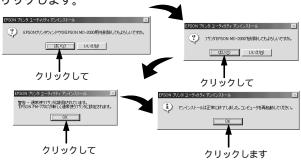
チェック 4

インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。プリンタドライバと USB デバイスドライバを一旦削除してみましょう。

コントロールパネルを開き、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

[EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ]をダブルクリックし、[MC-2000]をクリックして OK ボタンをクリックします。

[EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ]の項目がない場合は、ステップ4へ進んでください。

はい ボタンをクリックして、最後に OK ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3が削除されました。

[アプリケーションの追加と削除]の画面に戻り、[EPSON USB プリンタデバイス]をダブルクリックします。

[EPSON USB プリンタデバイスの項目がない場合は、チェック項目 5 へ進んでください。

はい ボタンをクリックします。Windows が再起動します。このときプリンタの電源をオフにします。

Windows が再起動したら、再度インストールを実行してください。

セットアップガイド「プリンタドライバをインストールします！」（Windows）7 ページ

チェック 5

チェック 1 ～ 4 の各項目を確認しても、インストールできない場合は、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM内の[EPUSBUN.exe]ファイルを実行します。

EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして、CD-ROMに収録されているファイルを表示させます。

[ＷＩＮ９Ｘ]フォルダをダブルクリックして開き、[EPUSBUN.exe]を実行します。

この後の手順は、チェック項目 4 のステップ 5 の説明を参照してください。

チェック 1 ～ 5 の手順を実行しても、まだインストールできない場合は、インフォメーションセンターへお問い合わせください。お問い合わせ先は裏表紙をご覧ください。

印刷できない（Windows98/2000）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？
新たにUSB対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートを確認してください。

プリンタ、コンピュータそれぞれにUSBケーブルを接続し、プリンタの電源をオンにします。

スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて［プリンタ］をクリックします。

MC-2000アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

［詳細］タブをクリックして印刷先のポートを確認します。
USB 接続で本機をご利用の場合は［EPUSBx:（MC-2000）］（Windows98）/［USBx MC-2000］（Windows 2000）と表示されていることを確認します。（x は数字）

- Windows98の場合EPUSBxの表示がない場合は、USBデバイスドライバがインストールされていません。USBデバイスドライバをインストールしてください。
- USB デバイスドライバをインストールする前に、一旦プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ!3 を削除してください。

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？
プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにしてUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

USBハブに接続すると正常に動作しない

本機はUSBハブの1段目までに接続されていますか？
USBは仕様上、USBハブを5段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合はコンピュータに直接接続された1段目のUSBハブに接続してください。

USBハブが正しく認識されていますか？
Windowsの［デバイスマネージャ］の〈ユニバーサルシリアルバス〉の下に、USBハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータのUSBポートから、USBハブをすべて外してから、本機のUSBコネクタをコンピュータのUSBポートに直接接続してみてください。
USBハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合わせください。

7 EPSONプリンタウィンドウ!3でのトラブル

ステータス詳細シートに「通信エラーが発生しました」と表示される

チェック

プリンタの電源が入っていますか？
コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの 電源 スイッチをオンにします。

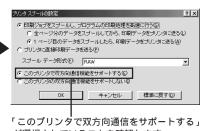
チェック

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか、コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないかを確認してください。
（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。）

チェック

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
☞本書「インターフェイスケーブルについて」154ページ

チェック

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？
EPSON プリンタウィンドウ!3 は、双方向通信機能を利用して動作可能なユーティリティです。通常は、インストールすることで自動的に設定されますが、プリンタが監視できない場合などに確認が必要です。

「このプリンタで双方向通信をサポートする」が選択されていることを確認します。

チェック

お使いのコンピュータ（またはケーブル）は、双方向通信に対応していますか？
お使いのコンピュータが双方向通信に対応しているかをコンピュータのメーカーに確認してください。EPSON PCシリーズ全機種、およびNEC PC-9800シリーズ、各社DOS/V系の一部の機種は対応しておりません。また、お使いのケーブルがエプソン製プリンタケーブルPRCB5の場合も双方向通信機能は使用できませんので、PRCB5**N**をご使用ください。

Windows98/2000 をご利用の場合、接続に使用しているインターフェイスケーブルと印刷先のポートの設定が合っていますか？

パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は「LPT1」を、USB ケーブルをご利用の場合は「EPUSB」（Windows98）/「USB」（Windows 2000）を印刷のポートに設定します。

☞本書「プリンタ接続先の設定」86 ページ

プリンタにエラーが発生していませんか？

プリンタにエラーが発生していると、コンピュータとプリンタが通信できなくなる場合があります。

プリンタにエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示を確認してください。

☞本書「エラー表示」8 ページ

画面の表示とプリンタの状態が異なる

EPSON プリンタウィンドウ!3 では、「環境設定」画面で設定した間隔でプリンタの状態を調査しています。画面の表示と実際の状態が異なるのは、プリンタの状態が変化してから次の調査を行うまでにわずかな時間差が生じるためです。

調査の間隔は、最長設定で 1 分です（初期設定 10 秒）。EPSON プリンタウィンドウ!3が次の調査を行うまで少しお待ちください。

その他の一般的なトラブル

NEC製98版Windows 95を使用して印刷ができない

NEC PC-9821シリーズに変換コネクタ（ハーフピッチ36ピン→14ピン）が装着されていませんか？
変換コネクタ（ハーフピッチ36ピン→14ピン）を取り外して、エプソン製ケーブルPRCB5Nで接続してください。

Macintoshで印刷に時間がかかる、印刷が始まらない

Macintosh本体のシステムの空きメモリ容量が少ないと、印刷に時間がかかる（または印刷がなかなか始まらない）場合があります。この場合は、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどしてメモリの空き容量を増やすか、Macintoshのメモリを増設してください。

- システムの空きメモリ容量とは、アップルメニューから［このコンピュータについて...］を選択したときのウィンドウに表示される「最大未使用ブロック：」の値です。
- 印刷に必要な空きメモリ容量については、以下のページを参照してください。
  ☞本書「プリンタドライバのシステム条件」168ページ
- 必要な空きメモリ容量が得られない場合は、暫定的にMacintoshの仮想メモリを使用してください。(［システムが使用するメモリ］+［印刷に必要な空きメモリ容量］以上の値を割り当ててください。)

ご使用の環境にもよりますが、以上の措置により、より快適にご使用になれる場合があります。

Macintoshのセレクタ画面にプリンタドライバが表示されない

本製品に同梱のプリンタドライバは漢字Talk7.5以上に添付されているQuickDrawGXには対応しておりませんので、QuickDrawGXがインストールされているMacintoshのセレクタ画面には、本製品のプリンタドライバ（MC-2000）は表示されません。
この場合、QuickDrawGXを使用停止にしてから、セレクタ画面を開いてください。

Windowsでプリンタドライバのコピーができてしまったら?

Windowsにおいて、MC-2000のプリンタドライバがインストールされている状態で新たにMC-2000のプリンタドライバをインストールすると、プリンタフォルダ（スタートから［設定］-［プリンタ］）の中に［EPSON MC-2000（コピー2）］、［EPSON MC-2000（コピー3）］というように、コピーという名称でアイコンが増えていきます。
この場合は、インストールされたMC-2000のプリンタドライバの中で最も新しいバージョンのプリンタドライバがコンピュータに登録されます。プリンタフォルダの中にはコピーも含めていくつかのMC-2000のアイコンが存在することになりますが、どれを使用しても同じく印刷が可能です。
したがって、［EPSON MC-2000］のアイコンを残して、コピーのアイコンは削除しても何ら問題はありません。
プリンタフォルダ内に［EPSON MC-2000］のアイコンが1つでも残っていれば、他の［EPSON MC-2000］のアイコンを削除しても、MC-2000のプリンタドライバ自体が削除されることはありません。

最新のプリンタドライバを入手したい

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。
そのような場合は、以下のページを参照し、プリンタドライバを入手してください。
☞本書「プリンタドライバのバージョンアップ」157ページ

コンピュータ、マウスがまったく動かなくなってしまったら？

コンピュータを再起動させてください。
コンピュータ、マウスがまったく動かなくなった場合には、以下の方法でコンピュータを再起動させ、印刷をはじめから行ってください。
コンピュータを再起動させると保存していないデータは失われます。
※ 通常、プリンタドライバが原因でコンピュータやマウスが動かなくなってしまうことはありません。このようなことが頻繁に起こる場合には、原因の１つとして、コンピュータのシステムや OS の環境によることが考えられます。OS やコンピュータにインストールされているユーティリティなどの取扱説明書を参照して確認を行ってください。

DOS/V機をご使用の場合
「Ctrl」キー、「Alt」キー、「Delete」キーの３つのキーを同時に押してください。

NEC98シリーズ、EPSON PCシリーズをご使用の場合
「CTRL」キー、「GRPH」キー、「DEL」キーの３つのキーを同時に押してください。

Macintoshをご使用の場合
「コマンド」キー、「Control」キー、「パワー」キーの３つのキーを同時に押してください。

※ USB 接続のキーボードを使用している Macintosh の場合、上記の方法でコンピュータを再起動させることができない場合があります。
この場合は、コンピュータのリセットボタンを押し、Macintosh を再起動させてください。

カラーの DTP データを印刷したい

Macintoshの代表的なDTPソフト、QuarkXPress、PageMakerなどで作成したデータは、通常はPostScriptプリンタでしか印刷できません。そして、カラーのPostScriptプリンタは、非常に高価です。
MC-2000にはオプションで「CPSソフトリッパー4（R4.8）」が用意されており、これを使用することで、カラーDTPデータが印刷できます。デザインのカンプや出来上がりの配色の確認などに使用すると、非常に便利です。
ただし、PostScriptプリンタの場合と同様に、CPSソフトリッパー4にインストールされていないPostScriptフォントは印刷できません。通常のPostScriptプリンタと同様に、CPSソフトリッパー4に対してフォントをインストールする必要があります。

インターネットで取得した画像がきれいに印刷できない

インターネット上の画像は、コンピュータの画面で見るために作成されたものがほとんどで、通常はプリンタで印刷してもあまりきれいに印刷できません。
インターネット上の画像の解像度は72～96dpiぐらいです。一方、プリンタできれいに印刷するために必要な解像度は、最低180dpiは必要ですので、画面で表示される大きさで印刷すると、解像度が足りないために粗さが目立ってしまうのです。
粗さを目立たなくするには、画面で表示されるサイズの1/2以下に縮小して印刷するとよいでしょう。例えば、1024×768ドットの画面いっぱいに表示される画像をきれいに印刷するには、ハガキサイズぐらいの大きさで印刷すると、満足のいく印刷品質が得られるでしょう。
なお、オートフォトファイン!4機能を使用して印刷すると、きれいに印刷できる場合があります。

余白のない写真のように印刷したい

定形紙を使用し、プリンタドライバで［給紙方法］（Windows）/［給紙装置］（Macintosh）に［オートシートフィーダ（左右余白無し）］を選択すると、左右の余白のない印刷をすることができます。左右の余白なしで印刷可能な用紙サイズはハガキ、A4、A3ノビです。
またプリンタの構造上どうしても上下の余白は残ります。
ロール紙を使用し、プリンタドライバで［給紙方法］/［給紙装置］に［ロール紙（左右余白無し）］を選択し、複数ページや複数部を印刷すると、全面印刷が可能になります。ロール紙への印刷方法については、24ページを参照してください。

漏洩電流について

本機は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。しかし、多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。
このようなときには、本機または本機を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。
本機からアースを取る場合には、インフォメーションセンターまたはエプソンの修理窓口までお問い合わせください。エプソンの修理窓口に関する詳細は同梱の「サービス・サポートのご案内」を参照してください。

お問い合わせいただく前に

「故障かな？ と思ったら」の内容を確認しても、現在の症状が改善されない場合は、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断します。→プリンタの動作確認

本機（MC-2000）は、プリンタ内部で持っているノズルチェックパターンを印刷する機能をもっています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷機能に問題がないかを確認できます。

電源 スイッチをオフにし、インターフェイスケーブルを外します。

A4 サイズの用紙（事務用普通紙など）を、2 枚以上プリンタにセットします。

給紙 / 排紙（⎙） スイッチを押したまま 電源 スイッチをオンにします。

プリントヘッドが動き出すまで (約 3 秒間)、スイッチを押したままにしてください。
自動的に用紙を給紙し、ノズルチェックパターンの印刷を開始します。印刷しない場合は、1 からもう一度やり直してください。

正常に印刷ができない

正常に印刷できる

お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口までご相談ください。
エプソンの修理窓口に関する詳細は同梱の「サービス・サポートのご案内」を参照してください。

プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。

Windows 標準添付のワードパッド、および Macintosh 標準添付の Simple Text で簡単な印刷が行えるかどうかを確認します。

Windows

[ファイル] メニュー内の [印刷] を実行します。

Macintosh

[ファイル] メニュー内の [プリント] を実行します。

正常に印刷ができない

プリンタドライバのインストール・設定・バージョンに問題があると考えられます。「セットアップガイド」を参照して、プリンタドライバをインストールし直してください。

正常に印刷できる

- ご使用のアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。この場合は、各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合せ先へご相談ください。
- プリンタドライバをバージョンアップさせることにより、正常に印刷できるようになる場合があります。プリンタドライバをバージョンアップしてみてください。

☞ 本書「最新のプリンタドライバの入手方法」157ページ

それでもトラブルが解消できない場合は、エプソンインフォメーションセンターへご相談ください。

＊ インフォメーションセンターのご相談先は裏表紙にあります。

ポイント

お問い合せの際は、ご使用の環境(コンピュータの型番、アプリケーションソフトウェアの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など)と、本機の名称(MC-2000)、製造番号をご確認のうえ、ご連絡ください。

索引

参照ページがＳxxとなっているものは「セットアップガイド」、Axxとなっているものは「安全にお使いいただくために」の該当ページを示します。数字のみのものは本書中のページを示します。

アルファベット

アイウエオ

EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
PC-9800シリーズ、PC-98XA/XL/XL2/RL/LT/DO、PC-9801LV/LX/LS/Nシリーズ、PC-9821シリーズ、PC-98 NXシリーズは日本電気株式会社の商標です。
IBM PC、IBMはInternational Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、iMac、PowerBook、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、漢字Talk、TrueType、ColorSync は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。
セットアップガイドではアップルコンピュータ社のiMacを、接続の説明のためにイラストで例示しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

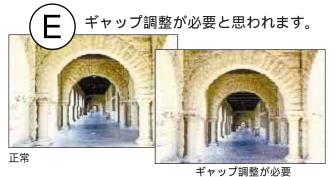
トラブルチェック用印刷サンプル 2

以下の印刷サンプルを参照して、現在の状態に当てはまるものがあれば、解説を確認してください。「トラブルチェック用印刷サンプル1」を本書の巻頭カラーページに掲載していますので参照してください。

E ギャップ調整が必要と思われます。

正常

ギャップ調整が必要

手順 ⇨ 本書「ギャップ調整」 138 ページ

解説 ⇨ 本書 200 ページ

カラー調整のためのギャップ調整用シート印刷例

このサンプルの場合は、それぞれ「4」がざらつきのないパターンです。

#1

1

2

3

4

5

6

7

#2

1

2

3

4

5

6

7